令　和　7　年　度　決　算

# 主　要　施　策　成　果　報　告　書

# 第七次鳴門市総合計画 実施計画

令和６年(2024年)度－令和８年(2026年)度

実績 兼 評価シート まとめ

鳴　　門　　市

# 目　次


**１．主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和７年度実績及び令和８年度行政評価について**

（１）主要施策成果報告書 ・・・・・・・・・・・・ 4

（２）鳴門市総合計画実施計画 令和７年度実績 ・・・・・・・・・・・・ 4

（３）令和８年度　鳴門市行政評価 ・・・・・・・・・・・・ 5

（４）総合計画体系図 ・・・・・・・・・・・・ 6

**２．令和７年度決算の概要**

（１）各会計の決算額の状況 ・・・・・・・・・・・・ 7

（２）普通会計決算の概要 ・・・・・・・・・・・・ 8

① 普通会計決算規模等 ・・・・・・・・・・・・ 8

② 各種財政指標の推移 ・・・・・・・・・・・・ 11

【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧 ・・・・・ 12

**３．実施計画兼評価シート**

（１）実施計画兼評価シートの見方 ・・・・・・・・・・・・ 13

（２）掲載事業一覧表 ・・・・・・・・・・・・ 15

（３）各実施計画兼評価シート ・・・・・・・・・・・・ 17

基本目標１　豊かな人を育むまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 17

基本目標２　持続発展可能なまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 40

基本目標３　安全安心のまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 63

基本目標４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり ・・・ 75

基本目標５　活力あふれるまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 89

基本目標６　みんなで創る自立したまちづくり ・・・・・・・ 104

# １.主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和７年度実績及び令和８年度行政評価について

## （１）主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第七次鳴門市総合計画に基づき、令和７年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

## （２）鳴門市総合計画実施計画　令和７年度実績

本市では、第七次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和７年度末時点の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価
　事業担当課が総合計画実施計画兼評価シートを作成する。
②総合計画策定委員会による内部評価
　総合計画実施計画兼評価シートを策定委員会において審議し、内部評価の最終決定とする。
③総合計画審議会による外部評価
　策定委員会を経た後、総合計画審議会において外部の視点からの評価を受ける。
④市議会への報告による外部評価
　市議会において外部評価を受ける。
⑤最終的な評価の決定
　策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

## （3）令和８年度　鳴門市行政評価

### ◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

**＜鳴門市行政評価の4つのねらい＞**
①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
③事業の効果的で効率的な執行
④職員の意識改革による政策形成能力の向上

### ◆令和８年度実施方針

① 公正の確保と透明性向上のため、市民との情報の共有化を推進する。
② 鳴門市自治基本条例第２５条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
ⅰ 評価の対象：事務事業
ⅱ 評価の機関：内部
ⅲ 評価の時期：令和７年度に実施した事務事業に対する事後評価

### ◆評価対象となる事務事業

令和７年度総合計画実施計画に掲載されている事務事業　　４５事業

### ◆令和９年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和９年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

### ◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

## （４） 総合計画体系図

将来都市像

**ひとが輝き　持続可能な未来をひらく　あらたな なると**

| 基本目標 | 基本方針 | 主要施策 |
|---|---|---|
| 基本目標 1 豊かな人を育むまちづくり | 1 子育てしやすいまちづくり | ①出会いから結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援の充実 ②子育て支援の充実 ③子育て環境の充実 |
| | 2 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実 | ①自ら学ぶ力を育む教育の推進 ②おもいやりの心を育む教育の推進 ③健やかな身体を育む教育の推進 ④教育環境の充実 ⑤生涯にわたる学習環境の充実 |
| | 3 スポーツの推進 | ①スポーツ活動の推進 ②スポーツ施設の充実 |
| | 4 芸術･文化の振興 | ①特色ある鳴門文化の発掘･発信と活用 ②文化･芸術に接する機会の提供 |
| | 5 国際･国内交流の推進 | ①国際･国内交流の推進 |
| 基本目標 2 持続発展可能なまちづくり | 1 計画的な土地利用と都市拠点整備の充実 | ①計画的な土地利用の促進 |
| | 2 持続可能な公共交通網の実現 | ①運行効率の改善による持続可能な公共交通体系の構築 ②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供 ③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進 |
| | 3 快適で暮らしやすい都市環境の整備 | ①住環境の整備 ②景観の保全 ③公園･河川の整備 ④安全で強靭な水道の持続 ⑤生活排水処理の促進 ⑥道路網の整備 |
| | 4 移住･定住の促進 | ①移住交流の促進 ②定住の促進 |
| | 5 環境にやさしいまちづくり | ①環境保全の促進 ②循環型社会の形成 |
| 基本目標 3 安全安心のまちづくり | 1 災害などに強いまちづくり | ①防災減災対策の推進 ②総合的な危機管理の推進 |
| | 2 消防･救急体制の充実 | ①消防体制の充実 ②救急体制の充実 |
| | 3 市民安全対策の充実 | ①交通安全の推進 ②消費者保護の充実 ③防犯対策の充実 |
| 基本目標 4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり | 1 健康づくりの推進と医療体制の確保 | ①健康づくりの推進 ②医療体制の充実及び地域医療の確保 |
| | 2 地域福祉の充実 | ①支え合い助け合うまちづくり ②安心して暮らせる環境づくり ③ネットワークの強化 |
| | 3 高齢者が暮らしやすいまちづくり | ①地域包括ケアシステムの深化･推進 |
| | 4 障がい者が暮らしやすいまちづくり | ①障がい者の自立支援の充実 ②障がい者の社会参加の促進 |
| | 5 社会保障の確保 | ①社会保障の充実 |
| 基本目標 5 活力あふれるまちづくり | 1 活力ある商工業の振興 | ①地場産業の育成振興 ②新たな産業の振興 ③企業誘致の推進 ④就業支援対策の充実 |
| | 2 魅力ある農林水産業の振興 | ①農業の振興 ②畜産業の振興 ③林業の振興 ④水産業の振興 |
| | 3 地域資源を活かした観光のまちづくり | ①観光交流のまちづくり ②戦略的な情報発信 ③観光客の受入環境整備 |
| 基本目標 6 みんなで創る自立したまちづくり | 1 地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり | ①地域コミュニティの活性化 ②市民活動の支援と協働の推進 ③広聴広報の充実 |
| | 2 お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり | ①人権に関する教育と、誰もが活躍できる社会づくり ②男女共同参画の推進 |
| | 3 効率的･効果的な行財政運営の推進 | ①効率的な行財政運営の推進 ②開かれた市政の推進と個人情報の保護 ③組織力の強化 |

# ２．令和７年度決算の概要

令和７年度は、長引く物価高騰やエネルギー価格の高騰による、市民生活への負担を軽減するための支援策に取り組んできた。

物価高騰対応支援事業については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、高齢者施設や医療機関等に対する支援を実施した。国策である、調整給付金の「不足額給付金給付事業」については、専決予算による緊急的な予算措置により実施するなど、迅速な事業実施に努めた。

また、０歳児からの保育料無償化実施や、紙おむつの無償宅配事業など、『なると まるごと 子育て応援パッケージ事業』について新たな取り組みを加えるなど内容を進化させ、これまでにない規模で子育て支援事業を推進することで、子育て世代の定住人口の確保を図った。

決算規模については、モーターボート競走事業からの収益事業収入の増加、ボートレース鳴門まちづくり基金及び生活支援未来応援基金への積立金の増加、文化会館耐震改修事業及び健康福祉交流センター改修事業にかかる事業費が増加したことなどが大きく影響し、歳入、歳出ともに過去最大の決算規模となった。

## （１）各会計の決算額の状況

（単位：千円）

| 年度 ＼ 会計区分 | 令和７年度 | | | 令和６年度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残高 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残高 |
| 一般会計 | 37,679,018 | 35,847,098 | 1,831,920 | 30,984,870 | 29,882,244 | 1,102,626 |
| 特別会計 | 23,579,873 | 22,964,097 | 615,776 | 23,587,475 | 22,955,719 | 631,756 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 6,406,306 | 6,388,164 | 18,142 | 6,704,224 | 6,656,785 | 47,439 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1,259,357 | 1,184,890 | 74,467 | 1,182,980 | 1,144,035 | 38,945 |
| 介護保険事業特別会計 | 7,353,875 | 6,830,708 | 523,167 | 7,347,499 | 6,802,127 | 545,372 |
| 光熱水費等支出特別会計 | 799,429 | 799,429 | - | 802,679 | 802,679 | - |
| 給与費等管理特別会計 | 5,166,305 | 5,166,305 | - | 4,996,306 | 4,996,306 | - |
| 公債費管理特別会計 | 2,594,601 | 2,594,601 | - | 2,553,787 | 2,553,787 | - |
| 合　計 | 61,258,891 | 58,811,195 | 2,447,696 | 54,572,345 | 52,837,963 | 1,734,382 |

## （２）普通会計決算の概要

### ① 普通会計決算規模等

令和７年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約３７６億７千万円であり、前年度に比べて約６６億９千万円の増となった。その主な要因については、地方税の増（約８億８千万円増）、地方交付税の増（約６億６千万円増）、県支出金の増（約３億７千万円増）、諸収入の増（約５８億９千万円増）などが挙げられる。

歳出決算額は、約３５８億４千万円であり、前年度に比べて約５９億６千万円の増となった。その主な要因は、ボートレース鳴門まちづくり基金及び生活支援未来応援基金への積立金の増（約３０億２千万円増）、文化会館耐震改修事業費の増（約６億２千万円増）、健康福祉交流センター改修事業費の増（約３億円増）などの影響が挙げられる。

以上の要因により、歳入決算額と歳出決算額との差引額である形式収支は約１８億３千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である実質収支は約１４億２千万円の黒字となった。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である単年度収支は約８億５千万円の黒字となっており、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である実質単年度収支は、約７億９千万円の黒字となった。

積立金残高は約１４２億６千万円であり、前年度に比べて約４３億９千万円の増となった。その一方で、地方債現在高は文化会館耐震改修事業等の大規模事業に係る借入の影響により、約３３７億３千万円で約１１億７千万円の増、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約２６０億７千万円であり、約２０億５千万円の増となった。

（単位：千円）

| 区　分 | 令和７年度 | 令和６年度 | 令和５年度 |
|---|---|---|---|
| 歳入決算額（A） | 37,673,894 | 30,979,898 | 36,487,418 |
| 歳出決算額（B） | 35,841,974 | 29,877,272 | 35,111,694 |
| 歳入歳出差引額【形式収支】（C）<br>（A）－（B） | 1,831,920 | 1,102,626 | 1,375,724 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源（D） | 412,275 | 537,881 | 328,710 |
| 実質収支（E）<br>（C）－（D） | 1,419,645 | 564,745 | 1,047,014 |
| 単年度収支（F）<br>（E）－前年度（E） | 854,900 | ▲ 482,269 | 170,532 |
| 財政調整基金への積立（G） | 900,238 | 668,118 | 3,008,250 |
| 地方債繰上償還金（H） | - | - | 64,308 |
| 財政調整基金からの取崩（I） | 963,085 | 936,473 | 1,223,452 |
| 実質単年度収支<br>（F）＋（G）＋（H）－（I） | 792,053 | ▲ 750,624 | 2,019,638 |
| 積立金残高（年度末時点） | 14,255,686 | 9,863,174 | 10,443,292 |
| 地方債現在高（年度末時点） | 33,726,558 | 32,558,167 | 31,677,980 |
| ※臨時財政対策債除く | 26,073,658 | 24,025,344 | 22,306,784 |

## ◆普通会計歳入決算額

（単位：千円）

| 区　分 | 令和７年度 A | 構成比 | 令和６年度 B | 差引増減額 A－B＝C | 増減率 C／B×100 |
|---|---|---|---|---|---|
| 地　方　税 | 8,505,714 | 22.6% | 7,629,619 | 876,095 | 11.5% |
| 地方譲与税 | 211,004 | 0.6% | 207,484 | 3,520 | 1.7% |
| 利子割交付金 | 17,108 | 0.0% | 4,437 | 12,671 | 285.6% |
| 配当割交付金 | 105,996 | 0.3% | 103,773 | 2,223 | 2.1% |
| 株式譲渡所得割交付金 | 154,237 | 0.4% | 136,677 | 17,560 | 12.8% |
| 地方消費税交付金 | 1,442,606 | 3.8% | 1,335,855 | 106,751 | 8.0% |
| ゴルフ場利用税交付金 | 55,506 | 0.1% | 50,833 | 4,673 | 9.2% |
| 自動車税環境性能割交付金 | 18,702 | 0.1% | 19,288 | ▲ 586 | ▲ 3.0% |
| 法人事業税交付金 | 135,269 | 0.4% | 123,830 | 11,439 | 9.2% |
| 地方特例交付金等 | 35,968 | 0.1% | 256,170 | ▲ 220,202 | ▲ 86.0% |
| 地方交付税 | 5,117,471 | 13.6% | 4,459,948 | 657,523 | 14.7% |
| うち普通交付税 | 4,618,920 | 12.3% | 3,968,800 | 650,120 | 16.4% |
| うち特別交付税 | 498,551 | 1.3% | 491,148 | 7,403 | 1.5% |
| 交通安全対策特別交付金 | 5,272 | 0.0% | 5,738 | ▲ 466 | ▲ 8.1% |
| 分担金及び負担金 | 38,424 | 0.1% | 33,006 | 5,418 | 16.4% |
| 使　用　料 | 135,849 | 0.4% | 140,875 | ▲ 5,026 | ▲ 3.6% |
| 手　数　料 | 97,732 | 0.3% | 96,994 | 738 | 0.8% |
| 国庫支出金 | 5,064,490 | 13.4% | 5,076,154 | ▲ 11,664 | ▲ 0.2% |
| 県支出金 | 2,538,363 | 6.7% | 2,169,465 | 368,898 | 17.0% |
| 財産収入 | 198,509 | 0.5% | 270,890 | ▲ 72,381 | ▲ 26.7% |
| 寄　附　金 | 726,872 | 1.9% | 797,349 | ▲ 70,477 | ▲ 8.8% |
| 繰　入　金 | 1,829,746 | 4.9% | 2,722,377 | ▲ 892,631 | ▲ 32.8% |
| 繰　越　金 | 1,102,626 | 2.9% | 1,375,724 | ▲ 273,098 | ▲ 19.9% |
| 諸　収　入 | 6,607,530 | 17.5% | 721,712 | 5,885,818 | 815.5% |
| 地方債 | 3,528,900 | 9.4% | 3,241,700 | 287,200 | 8.9% |
| 合　計 | 37,673,894 | 100.0% | 30,979,898 | 6,693,996 | 21.6% |

## ◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

| 区　分 | 令和７年度 A | 構成比 | 令和６年度 B | 差引増減額 A－B＝C | 増減率 C／B×100 |
|---|---|---|---|---|---|
| 義務的経費 | 14,965,488 | 41.7% | 14,864,081 | 101,407 | 0.7% |
| 人件費 | 5,195,754 | 14.5% | 4,978,867 | 216,887 | 4.4% |
| 扶助費 | 7,175,133 | 20.0% | 7,331,427 | ▲ 156,294 | ▲ 2.1% |
| 公債費 | 2,594,601 | 7.2% | 2,553,787 | 40,814 | 1.6% |
| 物件費 | 4,773,335 | 13.3% | 4,270,724 | 502,611 | 11.8% |
| 維持補修費 | 422,489 | 1.2% | 394,366 | 28,123 | 7.1% |
| 補助費等 | 2,348,654 | 6.6% | 2,054,023 | 294,631 | 14.3% |
| うち水道事業会計への繰出金 | 25,426 | 0.1% | 2,180 | 23,246 | 1,066.3% |
| うちモーターボート競走事業会計への繰出金 | 5,377 | 0.0% | 1,878 | 3,499 | 186.3% |
| うち下水道事業会計への繰出金 | 403,085 | 1.1% | 440,518 | ▲ 37,433 | ▲ 8.5% |
| 積立金 | 6,120,756 | 17.1% | 2,038,601 | 4,082,155 | 200.2% |
| うち財政調整基金への積立金 | 900,238 | 2.5% | 668,118 | 232,120 | 34.7% |
| うち減債基金への積立金 | 992,897 | 2.8% | 95,107 | 897,790 | 944.0% |
| 投資及び出資金・貸付金 | 551,800 | 1.5% | 918,400 | ▲ 366,600 | ▲ 39.9% |
| 繰出金 | 2,904,533 | 8.1% | 2,810,559 | 93,974 | 3.3% |
| 投資的経費 | 3,754,919 | 10.5% | 2,526,518 | 1,228,401 | 48.6% |
| うち普通建設事業費 | 3,754,919 | 10.5% | 2,526,518 | 1,228,401 | 48.6% |
| うち災害復旧事業費 | - | - | - | - | - |
| 合　計 | 35,841,974 | 100.0% | 29,877,272 | 5,964,702 | 20.0% |

**◆普通会計歳出決算額（目的別）**

（単位：千円）

| 区　分 | 令和７年度 A | 構成比 | 令和６年度 B | 差引増減額 A－B＝C | 増減率 C／B×100 |
|---|---|---|---|---|---|
| 議　会　費 | 233,437 | 0.7% | 237,148 | ▲ 3,711 | ▲ 1.6% |
| 総　務　費 | 10,567,661 | 29.5% | 5,922,591 | 4,645,070 | 78.4% |
| 民　生　費 | 11,574,929 | 32.3% | 10,979,057 | 595,872 | 5.4% |
| 衛　生　費 | 3,656,303 | 10.2% | 3,617,100 | 39,203 | 1.1% |
| 労　働　費 | 997 | 0.0% | 968 | 29 | 3.0% |
| 農林水産業費 | 585,710 | 1.6% | 566,806 | 18,904 | 3.3% |
| 商　工　費 | 464,193 | 1.3% | 255,690 | 208,503 | 81.5% |
| 土　木　費 | 2,206,780 | 6.2% | 2,069,127 | 137,653 | 6.7% |
| 消　防　費 | 1,298,375 | 3.6% | 1,174,047 | 124,328 | 10.6% |
| 教　育　費 | 2,653,611 | 7.4% | 2,499,073 | 154,538 | 6.2% |
| 災害復旧費 | - | - | - | - | - |
| 公　債　費 | 2,594,601 | 7.2% | 2,553,787 | 40,814 | 1.6% |
| 諸　支　出　金 | 5,377 | 0.0% | 1,878 | 3,499 | 186.3% |
| 合　計 | 35,841,974 | 100.0% | 29,877,272 | 5,964,702 | 20.0% |

**② 各種財政指標の推移**

| 区　分 | 令和７年度 | 令和６年度 | 令和５年度 |
|---|---|---|---|
| **経常収支比率**<br>（財政構造の弾力性。低いほど良い） | 97.7% | 97.3% | 92.0% |
| **財政力指数（３カ年平均）**<br>（財政力の強さ。高いほど良い） | 0.64 | 0.63 | 0.61 |
| **実質収支比率**<br>（財政の健全性。３～５％が望ましい） | 9.7% | 3.9% | 7.6% |
| **実質公債費比率（３カ年平均）**<br>（地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い） | 11.1% | 11.6% | 11.9% |
| **将来負担比率**<br>（地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い） | 54.9% | 95.6% | 95.2% |

# 【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

## ■入湯税

入湯税は地方税法第701条の規定により以下のような費用に充てるものとされています。

- 環境衛生施設の整備
- 鉱泉源の保護管理施設の整備
- 消防施設等の整備
- 観光施設の整備
- 観光振興

### 〈令和７年度　入湯税の使途状況〉

| 区　分 | 事　業　名 | 事　業　費 | 当　該　事　業　の　財　源　内　訳 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源等 | |
| | | | | | | 入湯税 | その他 |
| 観光施設の整備 | 観光情報センター管理費 | 24,244 | - | - | 419 | 11,627 | 12,198 |
| 観光振興 | 鳴門市うずしお観光協会補助金 | 18,000 | - | - | - | 9,000 | 9,000 |
| 合　計 | | 42,244 | - | - | 419 | 20,627 | 21,198 |

※「令和３年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」（令和３年１月２０日総務省事務連絡）により、入湯税の趣旨を踏まえ、「入湯税収の具体的事業費への充当について予算書、決算書の事項別明細書あるいは説明資料等において明示することにより、その使途を明確にすること」とあることから、使途を明示するものです。

## ■引上げ分の地方消費税交付金

引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる「社会保障４経費」、「その他社会保障施策に要する経費」については、次のとおりです。

（歳入）　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　799,511 千円

（歳出）　社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費　10,086,420 千円

### 〈令和７年度　引上げ分の地方消費税交付金の使途状況〉

（単位：千円）

| 事　業　名 | | 経　費 | 財　源　内　訳 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 特　定　財　源 | | | 一般財源 | うち引上げ分の地方消費税交付金 |
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | | |
| 社会福祉 | 障がい者福祉事業 | 1,947,667 | 1,459,683 | - | - | 487,984 | |
| | 高齢者福祉事業 | 73,465 | - | - | 11,879 | 61,586 | |
| | 児童福祉事業（母子父子福祉事業含む） | 3,602,958 | 2,628,247 | - | 7,509 | 967,202 | |
| | 生活保護扶助事業 | 1,258,994 | 980,399 | - | - | 278,595 | |
| | 小　計 | 6,883,084 | 5,068,329 | - | 19,388 | 1,795,367 | |
| 社会保険 | 国民健康保険事業 | 577,992 | 272,679 | - | - | 305,313 | |
| | 後期高齢者医療事業 | 1,293,288 | 199,427 | - | - | 1,093,861 | |
| | 介護保険事業 | 1,033,253 | 58,551 | - | - | 974,702 | |
| | 小　計 | 2,904,533 | 530,657 | - | - | 2,373,876 | |
| 保健衛生 | 救急医療対策事業 | 50,496 | 34,440 | - | - | 16,056 | |
| | 予防接種事業 | 121,188 | 128 | - | - | 121,060 | |
| | 母子保健事業 | 88,900 | 34,936 | - | - | 53,964 | |
| | 健康増進事業 | 38,219 | 1,444 | - | 5,719 | 31,056 | |
| | 小　計 | 298,803 | 70,948 | - | 5,719 | 222,136 | |
| 合　計 | | 10,086,420 | 5,669,934 | - | 25,107 | 4,391,379 | 799,511 |

※「引上げ分に係る地方消費税収の使途の明確化について」（平成２６年１月２４日総務省通知）により、消費税率の引上げにより増加した地方消費税交付金の充当について、使途を明示したものです。

# ３.実施計画兼評価シート

## （１）実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和７年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

### ①【計画ベース】の見方

**ⅰ　基本情報について**

基本目標や目指す姿など、事業の基本的な情報を示している。

**ⅱ　事業概要について**

事業の実施方針・内容・事業費等を示したもの。なお、令和８年度及び令和９年度の事業費は、実施計画策定時における事業費を示している。また、事業の評価指標となる成果指標等の目標値を示している。

### ②【実績ベース】の見方

**ⅰ　実施結果について**

令和７年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。

**ⅱ　進捗状況欄の評価区分について**

令和７年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

⑴ 前倒し実施
次年度以降の目標を前倒しで達成したもの

⑵ 計画どおり
当初の取組目標や計画内容が、達成されたもの
（事業全体の進捗状況については、「達成に向かっているもの」と読み替える）

⑶ ほぼ計画どおり
当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

⑷ 未達成
取組目標や計画内容が達成できなかったもの

⑸ 未着手
計画内容に着手できなかったもの

⑹ 完了
令和７年度で事業が完了したもの

⑺ 終了
事業の見直し等を行い、令和７年度で事業が終了したもの

**ⅲ　成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)**

A:目標を達成できた(１００％以上のもの)

B:概ね目標を達成できた(７０％を上回るもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(５０％～７０％のもの)

D:目標を達成出来なかった(５０％を下回るもの)

**ⅳ　今後の方向性について**

令和７年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう２年間の事業の方向性を下記の４区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が概ね適切であるもの。

4.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大又は充実すべきもの。

**令和７年度実績まとめ　掲載事業一覧表（体系順）**

| 総事業数（再掲事業除く） | 45事業 |
|---|---|
| 前倒し実施 | 0事業 |
| 計画どおり | 27事業 |
| ほぼ計画どおり | 16事業 |
| 未達成 | 2事業 |
| 未着手 | 0事業 |
| 完了 | 0事業 |
| 終了 | 0事業 |

| 総合評価（再掲事業除く） | | 成果指標に対する評価 |
|---|---|---|
| A | 18事業 | 30事業 |
| B | 25事業 | 34事業 |
| C | 2事業 | 6事業 |
| D | 0事業 | 0事業 |

| 今後の方向性（再掲事業除く） | |
|---|---|
| 廃止 | 0事業 |
| 要改善 | 1事業 |
| 現状維持 | 35事業 |
| 拡充 | 9事業 |
| 令和7年度完了（終了）事業 | 0事業 |

| NO | ページ | 基本目標 | 基本方針 | 事業番号 | 担当課 | 事務事業名 | R７年度事業費 計画ベース（円） | R７年度事業費 決算額（円） | 今年度の進捗状況 | 総合評価 | 成果指標に対する評価 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 17 | 1 | 1 | ① | 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・企画政策課・健康増進課・社会福祉課・商工政策課・教育総務課・学校教育課 | なるとまるごと子育て応援パッケージ事業 | 444,487,000 | 349,352,355 | ほぼ計画どおり | B | B<br>B<br>B<br>A<br>B<br>A<br>B | 拡充 |
| 2 | 20 | | | ② | こども保育教育課 | 就学前教育・保育環境の充実 | 174,544,000 | 137,109,350 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| 3 | 23 | | | ③ | 子育て支援課・こども保育教育課 | 子ども・子育て家庭の居場所づくり | 85,552,000 | 82,767,400 | 計画どおり | B | A<br>B | 現状維持 |
| 4 | 25 | | | ④ | こども家庭センター | 子育て世代包括支援事業 | 75,978,000 | 72,786,969 | 計画どおり | B | B | 拡充 |
| 5 | 26 | | 2 | ① | 学校教育課・教育支援室 | 学校教育充実事業 | 325,882,000 | 310,961,596 | 未達成 | C | C<br>C<br>C<br>A | 要改善 |
| 6 | 29 | | | ② | 社会教育人権室 | 生涯学習推進事業 | 106,900,000 | 105,311,370 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 7 | 31 | | 3 | ① | スポーツ推進課・ボートレース企画課・ボートレース事業課 | スポーツ活動推進事業 | 358,807,000 | 247,198,304 | ほぼ計画どおり | B | B<br>C<br>B | 現状維持 |
| 8 | 34 | | 4 | ① | 文化交流推進課・学校教育課 | 「なると第九」ブランド化推進事業 | 8,471,000 | 8,260,369 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| 9 | 36 | | | ② | 文化交流推進課 | 文化財保存活用事業 | 4,926,000 | 4,341,104 | 計画どおり | B | B<br>A | 現状維持 |
| 10 | 38 | | 5 | ① | 文化交流推進課 | 国際・国内交流事業 | 4,392,000 | 3,232,710 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 11 | 40 | 2 | 1 | ① | 未来デザイン総室・公共施設マネジメント課・まちづくり課 | 民間活力活用事業 | 5,589,000 | 5,525,870 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 12 | 42 | | 2 | ① | 地域交通推進課 | 公共交通対策事業 | 162,626,000 | 156,462,846 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 13 | 44 | | 3 | ① | まちづくり課 | 住環境整備事業 | 167,470,000 | 111,740,640 | ほぼ計画どおり | B | B | 拡充 |
| 14 | 46 | | | ② | 土木課 | 道路・河川整備事業 | 199,000,000 | 149,685,800 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 15 | 48 | | | ③ | 公園緑地課 | 公園活用整備事業 | 3,731,000 | 3,607,955 | ほぼ計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 16 | 50 | | | ④ | 水道企画課・水道事業課 | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業 | 3,773,887,000 | 1,708,267,000 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 17 | 52 | | | ⑤ | 市街地整備課 | 公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業 | 890,446,000 | 553,827,066 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 18 | 54 | | 4 | ① | 商工政策課・企画政策課 | 移住交流促進事業 | 12,716,000 | 11,582,348 | 計画どおり | A | A | 拡充 |
| 19 | 56 | | | ② | 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・企画政策課・健康増進課・社会福祉課・商工政策課・教育総務課・学校教育課 | なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（再掲） | | | | | | |
| 20 | 59 | | 5 | ① | 環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課 | 環境保全推進事業 | 15,524,000 | 9,457,584 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 21 | 61 | | | ② | 環境政策課 | ごみ対策事業 | 117,524,000 | 72,253,061 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 22 | 63 | 3 | 1 | ① | 危機管理局・教育総務課 | 災害対策事業 | 262,035,000 | 219,393,537 | 計画どおり | A | A<br>A | 拡充 |
| 23 | 66 | | | ② | 土木課 | 排水機場・樋門整備事業 | 444,950,000 | 237,686,200 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 24 | 68 | | | ③ | 特定事業推進課・市民協働推進課・文化交流推進課 | 新庁舎整備事業 | 329,500,000 | 312,696,600 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | | | | | | 文化会館改修事業 | 2,551,850,000 | 723,619,300 | | | A | |
| | | | | | | （仮称）大麻町総合防災センター整備事業 | 46,410,000 | 19,137,800 | | | A | |
| 25 | 71 | | 2 | ① | 消防総務課・警防課 | 消防・救急体制強化事業 | 163,792,000 | 162,365,969 | 計画どおり | A | A | 拡充 |
| 26 | 73 | | 3 | ① | 市民協働推進課 | 市民安全対策事業 | 20,490,000 | 19,297,440 | ほぼ計画どおり | C | C | 現状維持 |
| 27 | 75 | 4 | 1 | ① | 保険課 | 特定健診・特定保健指導事業 | 52,234,000 | 40,114,490 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 28 | 77 | | | ② | 健康増進課 | 市民の健康づくり対策事業 | 32,286,000 | 29,377,653 | 計画どおり | B | B | 拡充 |
| 29 | 79 | | | ③ | 健康増進課 | 地域医療確保事業 | 95,022,000 | 62,531,758 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 30 | 81 | | 2 | ① | 社会福祉課 | 包括的な支援体制整備事業 | 77,000 | 25,000 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 31 | 83 | | 3 | ① | 長寿介護課 | 地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業） | 239,031,000 | 213,284,500 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 32 | 85 | | 4 | ① | 社会福祉課 | 地域生活支援事業 | 99,093,000 | 92,476,158 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 33 | 87 | | 5 | ① | 社会福祉課 | 生活困窮者自立支援事業 | 30,087,000 | 29,243,000 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 34 | 89 | 5 | 1 | ① | 企画政策課・商工政策課 | 地域産業活性化推進事業 | 533,122,000 | 383,526,278 | ほぼ計画どおり | B | B<br>A | 拡充 |
| 35 | 92 | | | ② | 商工政策課 | 企業誘致推進事業 | 8,683,000 | 5,625,662 | 計画どおり | A | A<br>A | 拡充 |
| 36 | 94 | | 2 | ① | 農林水産課 | 鳴門ブランド強化事業（農業） | 99,446,000 | 87,972,435 | 未達成 | B | B<br>A | 現状維持 |
| 37 | 96 | | | ② | 農林水産課・水産振興室 | 鳴門ブランド強化事業（水産） | 69,056,000 | 48,213,512 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 38 | 98 | | 3 | ① | 観光振興課・スポーツ推進課・企画政策課 | 観光振興事業 | 37,252,000 | 33,243,236 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 39 | 101 | | | ② | スポーツ推進課 | サイクリング推進事業 | 11,729,000 | 6,895,480 | ほぼ計画どおり | B | B<br>C | 現状維持 |
| 40 | 104 | 6 | 1 | ① | 市民協働推進課 | 市民協働のまちづくり推進事業 | 19,982,000 | 19,699,900 | 計画どおり | A | A<br>B | 現状維持 |
| 41 | 107 | | | ② | 未来デザイン総室 | 広報戦略推進事業 | 42,667,000 | 39,969,352 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| 42 | 110 | | 2 | ① | 人権推進課・人権福祉センター | 人権啓発推進事業 | 2,430,000 | 1,587,597 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 43 | 112 | | | ② | 社会教育人権室 | 人権教育推進事業 | 3,446,000 | 2,563,552 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 44 | 114 | | | ③ | 人権推進課 | 男女共同参画推進事業 | 4,655,000 | 4,327,208 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 45 | 116 | | 3 | ① | 総務財政課・デジタル戦略課 | 「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業 | － | － | 計画どおり | A | A<br>A | 現状維持 |
| 46 | 119 | | | ② | 人事課 | 人材育成推進事業 | 11,716,000 | 9,134,690 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 合計 | | | | | | 45事業（再掲事業除く） | 12,149,493,000 | 6,907,740,004 | | | | |

※成果指標について、事業の取り組み内容の成果をより評価できると考えられるものは、複数の成果指標を設定している。

**令和７年度実績まとめ　掲載事業一覧表（組織機構順）**

| 総事業数（再掲事業除く） | 45事業 |
|---|---|
| 前倒し実施 | 0事業 |
| 計画どおり | 27事業 |
| ほぼ計画どおり | 16事業 |
| 未達成 | 2事業 |
| 未着手 | 0事業 |
| 完了 | 0事業 |
| 終了 | 0事業 |

| 総合評価（再掲事業除く） | | 成果指標に対する評価 |
|---|---|---|
| A | 18事業 | 30事業 |
| B | 25事業 | 34事業 |
| C | 2事業 | 6事業 |
| D | 0事業 | 0事業 |

| 今後の方向性（再掲事業除く） | |
|---|---|
| 廃止 | 0事業 |
| 要改善 | 1事業 |
| 現状維持 | 35事業 |
| 拡充 | 9事業 |
| 令和7年度完了（終了）事業 | 0事業 |

| | NO | ページ | 基本目標 | 基本方針 | 事業番号 | 担当課 | 事務事業名 | R7年度事業費 計画ベース（円） | R7年度事業費 決算額（円） | 今年度の進捗状況 | 総合評価 | 成果指標に対する評価 | 今後の方向性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 危機管理局 | 22 | 63 | 3 | 1 | ① | 危機管理局・教育総務課 | 災害対策事業 | 262,035,000 | 219,393,537 | 計画どおり | A | A<br>A | 拡充 |
| 未来戦略局 | 11 | 40 | 2 | 1 | ① | 未来デザイン総室・公共施設マネジメント課・まちづくり課 | 民間活力活用事業 | 5,589,000 | 5,525,870 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 41 | 107 | 6 | 1 | ② | 未来デザイン総室 | 広報戦略推進事業 | 42,667,000 | 39,969,352 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| | 46 | 119 | 6 | 3 | ② | 人事課 | 人材育成推進事業 | 11,716,000 | 9,134,690 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 34 | 89 | 5 | 1 | ① | 企画政策課・商工政策課 | 地域産業活性化推進事業 | 533,122,000 | 383,526,278 | ほぼ計画どおり | B | B<br>A | 拡充 |
| | 12 | 42 | 2 | 2 | ① | 地域交通推進課 | 公共交通対策事業 | 162,626,000 | 156,462,846 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 総務部 | 45 | 116 | 6 | 3 | ① | 総務財政課・デジタル戦略課 | 「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業 | － | － | 計画どおり | A | A<br>A | 現状維持 |
| 市民環境部 | 26 | 73 | 3 | 3 | ① | 市民協働推進課 | 市民安全対策事業 | 20,490,000 | 19,297,440 | ほぼ計画どおり | C | C | 現状維持 |
| | 40 | 104 | 6 | 1 | ① | 市民協働推進課 | 市民協働のまちづくり推進事業 | 19,982,000 | 19,699,900 | 計画どおり | A | A<br>B | 現状維持 |
| | 8 | 34 | 1 | 4 | ① | 文化交流推進課・学校教育課 | 「なると第九」ブランド化推進事業 | 8,471,000 | 8,260,369 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| | 9 | 36 | 1 | 4 | ② | 文化交流推進課 | 文化財保存活用事業 | 4,926,000 | 4,341,104 | 計画どおり | B | B<br>A | 現状維持 |
| | 10 | 38 | 1 | 5 | ① | 文化交流推進課 | 国際・国内交流事業 | 4,392,000 | 3,232,710 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 20 | 59 | 2 | 5 | ① | 環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課 | 環境保全推進事業 | 15,524,000 | 9,457,584 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 21 | 61 | 2 | 5 | ② | 環境政策課 | ごみ対策事業 | 117,524,000 | 72,253,061 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 健康福祉部 | 27 | 75 | 4 | 1 | ① | 保険課 | 特定健診・特定保健指導事業 | 52,234,000 | 40,114,490 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 28 | 77 | 4 | 1 | ② | 健康増進課 | 市民の健康づくり対策事業 | 32,286,000 | 29,377,653 | 計画どおり | B | B | 拡充 |
| | 29 | 79 | 4 | 1 | ③ | 健康増進課 | 地域医療確保事業 | 95,022,000 | 62,531,758 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 31 | 83 | 4 | 3 | ① | 長寿介護課 | 地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業） | 239,031,000 | 213,284,500 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 42 | 110 | 6 | 2 | ① | 人権推進課・人権福祉センター | 人権啓発推進事業 | 2,430,000 | 1,587,597 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 44 | 114 | 6 | 2 | ③ | 人権推進課 | 男女共同参画推進事業 | 4,655,000 | 4,327,208 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 30 | 81 | 4 | 2 | ① | 社会福祉課 | 包括的な支援体制整備事業 | 77,000 | 25,000 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 32 | 85 | 4 | 4 | ① | 社会福祉課 | 地域生活支援事業 | 99,093,000 | 92,476,158 | 計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 33 | 87 | 4 | 5 | ① | 社会福祉課 | 生活困窮者自立支援事業 | 30,087,000 | 29,243,000 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| こども未来創造部 | 1 | 17 | 1 | 1 | ① | 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター・企画政策課・健康増進課・社会福祉課・商工政策課・教育総務課・学校教育課 | なるとまるごと子育て応援パッケージ事業 | 444,487,000 | 349,352,355 | ほぼ計画どおり | B | B<br>B<br>B<br>A | 拡充 |
| | 19 | 56 | 2 | 4 | ② | | | | | | | B<br>A<br>B | |
| | 3 | 23 | 1 | 1 | ③ | 子育て支援課・こども保育教育課 | 子ども・子育て家庭の居場所づくり | 85,552,000 | 82,767,400 | 計画どおり | B | A<br>B | 現状維持 |
| | 2 | 20 | 1 | 1 | ② | こども保育教育課 | 就学前教育・保育環境の充実 | 174,544,000 | 137,109,350 | 計画どおり | B | B<br>B | 現状維持 |
| | 4 | 25 | 1 | 1 | ④ | こども家庭センター | 子育て世代包括支援事業 | 75,978,000 | 72,786,969 | 計画どおり | B | B | 拡充 |
| 都市建設部 | 13 | 44 | 2 | 3 | ① | まちづくり課 | 住環境整備事業 | 167,470,000 | 111,740,640 | ほぼ計画どおり | B | B | 拡充 |
| | 24 | 68 | 3 | 1 | ③ | 特定事業推進課・市民協働推進課・文化交流推進課 | 新庁舎整備事業 | 329,500,000 | 312,696,600 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | | | | | | | 文化会館改修事業 | 2,551,850,000 | 723,619,300 | | | A | |
| | | | | | | | （仮称）大麻町総合防災センター整備事業 | 46,410,000 | 19,137,800 | | | A | |
| | 17 | 52 | 2 | 3 | ⑤ | 市街地整備課 | 公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業 | 890,446,000 | 553,827,066 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 14 | 46 | 2 | 3 | ② | 土木課 | 道路・河川整備事業 | 199,000,000 | 149,685,800 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 23 | 66 | 3 | 1 | ② | 土木課 | 排水機場・樋門整備事業 | 444,950,000 | 237,686,200 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 15 | 48 | 2 | 3 | ③ | 公園緑地課 | 公園活用整備事業 | 3,731,000 | 3,607,955 | ほぼ計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 産業振興部 | 18 | 54 | 2 | 4 | ① | 商工政策課・企画政策課 | 移住交流促進事業 | 12,716,000 | 11,582,348 | 計画どおり | A | A | 拡充 |
| | 35 | 92 | 5 | 1 | ② | 商工政策課 | 企業誘致推進事業 | 8,683,000 | 5,625,662 | 計画どおり | A | A<br>A | 拡充 |
| | 38 | 98 | 5 | 3 | ① | 観光振興課・スポーツ推進課・企画政策課 | 観光振興事業 | 37,252,000 | 33,243,236 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 7 | 31 | 1 | 3 | ① | スポーツ推進課・ポートレース企画課・ポートレース事業課 | スポーツ活動推進事業 | 358,807,000 | 247,198,304 | ほぼ計画どおり | B | B<br>C<br>B | 現状維持 |
| | 39 | 101 | 5 | 3 | ② | スポーツ推進課 | サイクリング推進事業 | 11,729,000 | 6,895,480 | ほぼ計画どおり | B | B<br>C | 現状維持 |
| | 36 | 94 | 5 | 2 | ① | 農林水産課 | 鳴門ブランド強化事業（農業） | 99,446,000 | 87,972,435 | 未達成 | B | B<br>A | 現状維持 |
| | 37 | 96 | 5 | 2 | ② | 農林水産課・水産振興室 | 鳴門ブランド強化事業（水産） | 69,056,000 | 48,213,512 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| 消防本部 | 25 | 71 | 3 | 2 | ① | 消防総務課・警防課 | 消防・救急体制強化事業 | 163,792,000 | 162,365,969 | 計画どおり | A | A | 拡充 |
| 企業局 | 16 | 50 | 2 | 3 | ④ | 水道企画課・水道事業課 | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業 | 3,773,887,000 | 1,708,267,000 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| 教育委員会 | 6 | 29 | 1 | 2 | ② | 社会教育人権室 | 生涯学習推進事業 | 106,900,000 | 105,311,370 | 計画どおり | A | A | 現状維持 |
| | 43 | 112 | 6 | 2 | ② | 社会教育人権室 | 人権教育推進事業 | 3,446,000 | 2,563,552 | ほぼ計画どおり | B | B | 現状維持 |
| | 5 | 26 | 1 | 2 | ① | 学校教育課・教育支援室 | 学校教育充実事業 | 325,882,000 | 310,961,596 | 未達成 | C | C<br>C<br>C<br>A | 要改善 |
| | 合計 | | | | | | 45事業（再掲事業除く） | 12,149,493,000 | 6,907,740,004 | | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 子育てしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | なるとまるごと子育て応援パッケージ事業 | **担当部署** | こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター未来戦略局 企画政策課、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、産業振興部 商工政策課、教育委員会 教育総務課・学校教育課 |
| **実施方針** | 令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートしています。<br>本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：383,062<br>令和8年度：589,686<br>令和9年度： |

**事業内容（R7）**

**①住宅取得** ・なると定住促進住宅取得補助金
**②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産**
・地域婚活支援事業補助金 ・地域婚活支援重点事業 ・なると結婚新生活スタート支援補助金 ・なると新婚世帯家賃補助金
・一期一縁プロジェクト ・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト） ・子育て世代のライフプランニング応援事業
・新生児出産祝い金事業 ・不育症治療支援事業 ・多胎妊婦健康診査支援事業
・妊娠判定受診費用助成事業 ・不妊治療費助成事業 ・葉酸摂取サポート事業
**③就学前・小学生・中学生・高校生など**
・保育料無償化事業 ・保育士等人材確保推進事業（奨学金返還助成事業） ・おむつ粉ミルク等無償宅配事業 ・乳幼児ねんねケア事業
・就学前の障がい児発達支援無償化事業 ・病児・病後児保育広域利用助成事業 ・ファミリーサポートセンター利用料助成事業
・新1年生ランドセル無償化事業 ・小中学校等入学祝い金事業 ・市内企業おしごと体験事業 ・インフルエンザ予防接種費助成事業
・中学3年生応援給食費無償化事業 ・高校生等医療費助成事業 ・高校生授業料助成事業 ・鳴門市奨学金制度
**④子育て中** ・ママのための学び舎事業”ママビヤ”

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出生児童数 | 199 | 220 | 240 | 240 | 240 | 人 |
| なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | 99 | 100 | 100 | 100 | 100 | 世帯 |
| ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | 0 | 5 | 5 | 5 | 5 | 人 |
| 市内企業おしごと体験参加人数 | 95 | 92 | 90 | 90 | 90 | 人 |
| 婚姻件数 | 154 | 160 | 170 | 170 | 170 | 件 |
| 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | 95.8 | 95.0 | 95.2 | 95.4 | 95.6 | % |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | 34.1 | － | － | － | － | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 383,062 | 61,341 | 444,403 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金(82世帯)
②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産
・地域婚活支援事業補助金(2件・32名参加)　・地域婚活支援重点事業(1件・14名参加)　・なると結婚新生活スタート支援補助金(27世帯)　・なると新婚世帯家賃補助金(54世帯)　・一期一縁プロジェクト(10件・163名参加)　・赤ちゃん授業(未来のパパママ応援プロジェクト)(3回・296名参加)　・子育て世代のライフプランニング応援事業(2回・187名参加)　・新生児出産祝い金事業(給付率100%・197名)　・不育症治療支援事業(2名)　・多胎妊婦健康診査支援事業(0)　・妊娠判定受診費用助成事業(のべ4名)　・不妊治療費助成事業(のべ80名)　・葉酸摂取サポート事業(99名)
③就学前・小学生・中学生・高校生など
・保育料無償化事業(のべ3176月)　・保育士等人材確保推進事業(奨学金返還助成事業)(14名)　・おむつ・粉ミルク等無償宅配事業(給付率98.0%・対象349名のうち342名)　・乳幼児ねんねケア事業(のべ11名)　・就学前の障がい児発達支援無償化事業(36名)　・病児・病後児保育広域利用助成事業(のべ23名)　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業(373名)　・新1年生ランドセル無償化事業(配布率92.5%・対象308名のうち285名)　・小中学校等入学祝い金事業(給付率98.9%・対象791名のうち782名)　・市内企業おしごと体験事業(100名)　・インフルエンザ予防接種費助成事業(350名)　・給食費無償化事業(中学3年生12ヶ月、その他6ヶ月)　・高校生等医療費助成事業(0)　・高校生授業料助成事業(0)　・鳴門市奨学金制度(46名)
④子育て中　・ママのための学び舎事業"ママビヤ"(21名参加)

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出生児童数 | 213 | 215 | 220 | 240 | 250 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 89.6 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | 79 | 82 | 100 | 100 | 100 | 世帯 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 82.0 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 80.0 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 市内企業おしごと体験参加人数 | 92 | 94 | 90 | 90 | 90 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 104.4 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 婚姻件数 | 147 | 132 | 170 | 170 | 170 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 77.6 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | 95.6% | 98.7% | 97.0% | 97.0% | 97.0% | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 103.7 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合<br>（次回調査　令和10年度） | ― | ― | ― | ― | 30.0% | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 321,664,443 | 0 | 349,352,355 | 349,352,355 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 3,883,000 | 0 | 93,661,226 | 93,661,226 | 0 |
| | 県支出金 | 1,348,000 | 0 | 29,305,000 | 29,305,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 49,034,310 | 0 | 56,300,000 | 56,300,000 | 0 |
| | 一般財源 | 267,399,133 | 0 | 170,086,129 | 170,086,129 | 0 |

◎評価（CHECK）

| | 今年度の進捗状況 | | ほぼ計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 出生児童数 | | 成果指標に対する所見 | 目標値には達しなかったものの、全国的な少子化・晩婚化等による出生数の減少を食い止め、昨年度実績数（213名）より増加した。各施策の実施により直接的・間接的な経済的負担をカバーすることで、子育て世帯から高い評価を得ている。 |
| | | 目標 | 240 | 人 | | |
| | | 実績 | 215 | 人 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | | | 目標値には達しなかったものの、若年世代の経済的負担の軽減、住宅取得による市への移住・定住の促進を図った。さらに補助金に加算額を設けることで、子どもの増加、市内業者での住宅の建築、市への転入、親世帯または祖父母世帯との近居なども促進できた。 |
| | | 目標 | 100 | 世帯 | | |
| | | 実績 | 82 | 世帯 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | | | 子育て中のママが子育てだけでなく講座受講によりキャリアアップを図るとともに、隙間時間を活用した在宅ワークによる就業へと繋げ、多様な働き方を推進した。 |
| | | 目標 | 5 | 人 | | |
| | | 実績 | 4 | 人 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 市内企業おしごと体験参加人数 | | | 職業体験を通じ、小中学生の将来像や勤労観・職業観を深めることで将来の地元就職やキャリア形成のきっかけとなった。また、市内企業への関心を高めるとともに、市への愛着が深まった。 |
| | | 目標 | 90 | 人 | | |
| | | 実績 | 94 | 人 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 婚姻件数 | | | 多様な楽しみや単身生活の便利さが増大するほか、結婚や家族に対する価値観が変化していることなどを要因に全国的にも婚姻数は減少傾向にあるとはいえ、あまり目標を達成できていない。各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。 |
| | | 目標 | 170 | 件 | | |
| | | 実績 | 132 | 件 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | | | 健診時アンケート調査結果によると、子育て世帯からは各施策の評価をいただいている。市内だけでなく市外やその他ターゲット層へ的確に情報が届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。 |
| | | 目標 | 95.2 | % | | |
| | | 実績 | 98.7 | % | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | | | 5年ごとの調査であるため目標・実績が「－」となる。「なると まるごと 子育て応援パッケージ」は子育て世代を包括的にサポートする事業であることから、子育てに不安や負担を感じる人はより少なくあってほしいという期待を込めた評価である。 |
| | | 目標 | － | % | | |
| | | 実績 | ー | % | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | B:概ね目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | 給付金事業は9割を超える高い給付率を達成しているほか、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ており市民満足度の向上がみられる。しかし、依然として続く若者の転出超過等による人口減少や未婚・晩婚化の進展等による出生数減少などの重要な課題を解決するため、対象者のニーズを把握し、各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。また、ターゲット層へ的確に届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。 | | | |
| | 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | □ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | 令和8年度事業として追加・拡充<br>【追加】<br>①男性の育児休業取得支援奨励金②修学旅行無償化③就学援助制度（準用保護者の基準を拡大）<br>【拡充】<br>①不妊治療費助成事業（仕事と不妊治療の両立支援）②給食費無償化（中学3年生を就学前からへ） | | |
| | | 令和9年度 | これまで続けてきた切れ目のない子育て支援施策を継続するとともに、長期的な視点のもと、各事業の効果検証等を図り、庁内関係部署と連携しながら、現状の課題に即した施策展開を図る。 | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 子育てしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | 就学前教育・保育環境の充実 | **担当部署** | こども未来創造部　こども保育教育課 |
| **実施方針** | ①就学前教育・保育無償化の推進<br>②いきいき保育環境なるっと補助金事業<br>③保育所等巡回相談事業<br>④保育士人材確保推進事業<br>⑤小学校への円滑な接続 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：174,544<br>令和8年度：174,544<br>令和9年度：174,544 |
| **事業内容（R7）** | ①就学前教育・保育無償化の推進<br>・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に保育料完全無償化を実施。<br>②いきいき保育環境なるっと補助金事業<br>・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施。<br>③保育所等巡回相談事業<br>・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。<br>④保育士人材確保推進事業<br>・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に繋げる。<br>⑤小学校への円滑な接続<br>・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図る。 | | |

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前教育・保育施設利用率 | 75.7 | 78.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | % |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合<br>（次回調査　令和10年度） | 34.1 | ― | ― | ― | ― | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 174,544 | 0 | 174,544 |

## ◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①就学前教育・保育無償化の推進
・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に保育料完全無償化を実施した。
②いきいき保育環境なるっと補助金事業
・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施した。
③保育所等巡回相談事業
・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じた。6か所で実施した。
④保育士人材確保推進事業
・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に努めた。
⑤小学校への円滑な接続
・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前教育・保育施設利用率 | 76.8 | 77.3 | 80 | 80 | 80 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 96.6 | ― | ― | ― | % |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | ― | ― | ― | ― | 30.0 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 169,313,150 | 0 | 137,109,350 | 137,109,350 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 144,000 | 144,000 | 0 |
| | 県支出金 | 4,814,000 | 0 | 30,942,000 | 30,942,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 40,129,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 124,370,150 | 0 | 106,023,350 | 106,023,350 | 0 |

## ◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 就学前教育・保育施設利用率 | |
| 目標 | 80.0 | % |
| 実績 | 77 | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |
| 指標名 | 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | |
| 目標 | ― | % |
| 実績 | ― | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

少子化の影響で児童数が減少する一方、就学前教育・保育環境が充実することで、保育施設等の利用率は増加している。保育料無償化事業については市外からの問い合わせも多く、本市の子育て環境の充実を市内外にPRすることができている。

保育料無償化や巡回相談事業の実施により、保育施設利用保護者の経済的負担や育児不安の軽減に寄与した。

計

**総合評価**：B:概ね目標を達成できた

## ◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

①就学前教育・保育無償化の推進
・県も保育所・認定こども園等の認可保育施設に加えて、認可外保育施設の無償化を実施しているが、所得制限等があり、今後も市単独での事業推進が必要。国・県等の動向を注視し事業を継続する。
②いきいき保育環境なるっと補助金事業
・保育現場の環境変化や社会情勢に応じて補助メニューの変更・追加を行う必要がある。
③保育所等巡回相談事業
・保育施設と指導者である医師や臨床心理士との日程調整を工夫することで、保護者や施設のニーズに可能な限り対応できる体制を整える必要がある。
④保育士人材確保推進事業
・市内に勤務する保育士等については、事業が浸透しているが、潜在保育士が保育現場で働きたいと思えるような事業周知が必要。
⑤小学校への円滑な接続
・保育所、幼稚園、認定こども園といった施設形態によらず小学校との連携及び情報共有を図る機会に多くの施設が参加できるよう教育委員会と市長部局との連携を密にする必要がある。

**今後の方向性**：☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

**↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。**

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・継続して事業を行う。 |
| 令和9年度 | ・継続して事業を行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 子育てしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業③**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | 子ども・子育て家庭の居場所づくり | **担当部署** | こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課 |
| **実施方針** | ①地域子育て支援拠点事業<br>②子どもの居場所づくり事業<br>③子どもの居場所支援事業 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：83,648<br>令和8年度：83,648<br>令和9年度：83,648 |
| **事業内容（R7）** | ①地域子育て支援拠点事業<br>・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士等に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図る。<br>・4か月児がいる家庭を訪問する乳幼児全戸訪問事業を実施し、積極的に子育て支援事業や相談窓口の案内を行う。<br>・市内小中学校で赤ちゃん授業を実施し、児童の自己肯定感等を育む。<br>②子どもの居場所づくり事業<br>・子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした食事や団らん、学習支援等を提供する「子ども食堂」を運営する団体に、初期費用や運営に係る費用を補助することで、貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を進める。<br>③子どもの居場所支援事業（児童育成支援拠点事業）<br>・養育環境に課題を抱える子どもとその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポートなどを行うとともに、児童及び家庭の状況をアセスメントし、関係機関につなぐなど個々の児童の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図る。 | | |

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域子育て支援拠点事業実施箇所数 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | か所 |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | 34.1 | － | － | － | － | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 83,648 | 1,904 | 85,552 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③

**事業実施内容（R7）**

①地域子育て支援拠点事業
・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図った。
②子どもの居場所づくり事業
・「子ども食堂」や「学習支援」など子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを実施する3団体に、運営経費の補助を行った。
令和7年度延利用人数：6043名
③子どもの居場所支援事業
・養育環境に課題を抱える子どもたちに対し安心・安全な居場所を提供し、生活習慣の形成や学習のサポート、食事の提供等を行うなど個々の児童の状況に応じた支援を行った。
令和7年度登録人数：20名

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域子育て支援拠点事業実施箇所数 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | か所 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | ー | ー | ー | ー | 30.0 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ー | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 80,041,000 | 0 | 82,767,400 | 82,767,400 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 25,650,000 | 0 | 26,386,000 | 26,386,000 | 0 |
| | 県支出金 | 25,650,000 | 0 | 26,386,000 | 26,386,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 7,767,000 | 0 | 977,000 | 977,000 | 0 |
| | 一般財源 | 20,974,000 | 0 | 29,018,400 | 29,018,400 | 0 |

◎評価（CHECK）

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 地域子育て支援拠点事業実施箇所数 | |
| 目標 | 7 | か所 |
| 実績 | 7 | か所 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |
| 指標名 | 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | |
| 目標 | ー | % |
| 実績 | ー | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

人口減少に伴う利用者の減や施設の職員確保等の問題があり、今後実施個所数を維持することが課題。

子ども食堂は定着してきている。裾野を広げ、関わりがある子どもの数を増やすため「子ども食堂」が、誰でも利用できるものであると周知していく。課題を抱える子どもを支援につなげ保護者と子どもの不安を解消していく。なお、指標は5年ごとの調査であるため目標・実績が「ー」となる。

計　**総合評価**：B:概ね目標を達成できた

◎今後の方向性(ACTION)

**課題**

①地域子育て支援拠点事業
　保育所等を利用せずに在宅で育児をする家庭の交流や相談の場として、子育てに対する不安感や負担感の軽減に繋がっているが、少子化により利用児童数は減少傾向になっていくことが想定されるが、地域の子育て支援の要として支援が必要な家庭と関係機関への接続支援や子育て家庭が必要とする情報の提供等、きめ細やかな事業運営が必要。
②子どもの居場所づくり事業
　地域全体で子どもたちを見守る場所として子ども食堂の箇所数が増えてきていることは喜ばしいことであるが、一方で米などの食材の価格高騰により、食材費の負担が増え、開催頻度の検討や食事の内容を変更したりなど運営への影響も出てきている。今後においても、継続して実施できるよう、実施団体と活動においての困りごと等情報共有を図りながら、安心して子どもたちに過ごしてもらえる居場所づくりに繋げていく必要がある。
③子どもの居場所支援事業
　個々の児童の状況に応じた支援が必要となるため、今後も関係機関と連携しながら支援の在り方について検討していく必要がある。

**今後の方向性**：☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・継続して事業を行う。 |
| 令和9年度 | ・継続して事業を行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 子育てしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業④**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 子育て世代包括支援事業 | **担当部署** | こども未来創造部　こども家庭センター | | |
| **実施方針** | 安心して子どもを産み育てることができるよう母子保健と子育て支援を一体的に提供し、関係機関と連携を図りながら妊娠期から就学前まで切れ目のない相談支援を実施。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 45,779 | 45,779 | 45,779 |
| **事業内容（R7）** | ①妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援、及び全てのこどもと家庭に対して虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援まで、切れ目なく対応する利用者支援事業を実施。<br>②全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する妊婦等包括相談支援の実施。<br>③妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。<br>④育児支援者の不在や経済的困窮など生活上支援を要する場合や、子どもの発達支援を要する場合など、関係機関につなぎ連携して継続的な支援を実施。<br>⑤子育て世代に対しての情報発信（子育て支援に関する情報）を行う。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合 | 89.8 | 90.0 | 91.0 | 92.0 | 93.0 | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 45,779 | 30,199 | 75,978 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業④

| 事業実施内容（R7） | |
|---|---|
| | ①妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援、及び全てのこどもと家庭に対して虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援まで、切れ目なく対応する利用者支援事業を実施。<br>②全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する妊婦等包括相談支援の実施。<br>③妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。<br>④育児支援者の不在や経済的困窮など生活上支援を要する場合や、子どもの発達支援を要する場合など、関係機関につなぎ連携して継続的な支援を実施。<br>⑤子育て世代に対しての情報発信（子育て支援に関する情報）を行う。 |

| 成果指標<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合 | 84.8 | 82.0 | 87.0 | 88.0 | 89.0 | % |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 90.1 | ー | ー | ー | % |

| 事業費推移（円） | 年　度 | 令和6年度決算<br>※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 81,980,833 | 0 | 72,786,969 | 72,786,969 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 39,910,000 | 0 | 46,868,000 | 46,868,000 | 0 |
| | 県支出金 | 10,379,000 | 0 | 8,827,000 | 8,827,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 31,691,833 | 0 | 17,091,969 | 17,091,969 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業④

| 今年度の進捗状況 | | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合 | | 成果指標に対する所見 | 支援が必要と考えられる妊婦に対して、面接や電話連絡だけでなく、妊娠期から家庭訪問し状況把握を行い、出産後に早期に支援が得られるように支援体制を整えた。 |
| | 目標 | 91.0 | % | | |
| | 実績 | 82 | % | | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業④

| 課題 | 全ての妊婦が継続的に面談等を受けることで、市町村やその他の支援機関とつながりを持つポピュレーションアプローチとして妊娠後期面談を実施しているが、状況把握ができない方が約1割という結果となっている。連絡がつかない方で手厚いフォローが必要な妊産婦が一定数存在することから、妊娠期からの家庭訪問や出産直後からサポート可能な仕組み作りが必要であると考える。 |
|---|---|

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☐ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | こども家庭センターネウボラ内にて直営の産後ケア事業を開始すると共に、産後ケアを含む産前・産後サービスの利用促進・助産師・心理師の相談支援の充実 |
| | 令和9年度 | 継続 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。<br>また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルに合った学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 学校教育充実事業 | **担当部署** | 教育委員会 学校教育課・教育支援室 | | |
| **実施方針** | ①学力向上対策推進事業、学園都市化構想連携協力推進事業、学校づくり計画推進事業、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業<br>②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業<br>③地元高校の学力向上のための支援 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 325,182 | 325,182 | 325,182 |
| **事業内容（R7）** | ①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業<br>・「なると学力調査」事業および認知機能強化トレーニング実施事業の実施、鳴門理数塾開講事業、学力向上推進アドバイザー配置事業、学園都市化構想の推進、学力向上推進委員会の開催、Q-Uアンケートの実施、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議の開催<br>②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業<br>・ALT学校派遣、小学校外国語支援員の配置、プロジェクト型学校間連携の推進、教員研修の充実、WeLoveNarutoコンテスト実施、イングリッシュキャンプ実施、オンライン英会話実施、英語検定受験料全額補助事業、中学生国内留学体験事業、校内のICT環境の整備、「AIドリル」導入、教育DX推進「ハイラブルディスカッション」導入、フリースクール等授業料補助事業<br>③地元高校の学力向上のための支援<br>・鳴門市鳴門高校奨学金給付事業、高校生英検受験料全額補助事業 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）<br>国語・算数　※（）の数値は全国平均 | 国語62(67.2)<br>算数57(62.5) | 国語64(67.7)<br>算数61(63.4) | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | % |
| | 全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）<br>国語・数学　※（）の数値は全国平均 | 国語66(69.8)<br>数学46(51) | 国語55(58.1)<br>数学47(52.5) | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | % |
| | 中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合 | 40.7 | 43 | 46.5 | 48.5 | 50 | % |
| | 奨学金給付者 | ー | ー | 10 | 20 | 30 | 名 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 325,182 | 700 | 325,882 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業
・学力向上対策推進においては、同一児童生徒の学力の伸び・変化を継続把握することに適した「なると学力調査」を実施するとともに、学習の土台となっている認知機能の5つの構成要素である記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断を伸ばすコグトレ（認知機能強化トレーニング）を実施した。また、学力向上推進アドバイザー配置事業において、若手教職員を中心に学級経営や授業の指導・助言を行うことで、教育活動の充実を図った。鳴門理数塾開講事業においては、鳴門教育大学の協力により、中学生が定期的に理数分野に特化した教育を受けられる機会を設け、理数学習へのモチベーションを高めるとともに、参加者に数学検定料を助成し、理系分野の力を伸ばす一助とした。学園都市化構想連携協力推進においては、学習支援サポーター及び部活動支援サポーターの派遣を行い、連携・協力を推進した。その他、瀬戸中学校で体験入学を実施するなど、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議を開催した。
②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業
・外国語教育推進事業…小学校外国語支援員を継続配置し、学校間連携の推進、教員研修の充実を図った。また、中学2年生を対象としたオンライン英会話、英語検定受験料全額補助事業、中学生国内留学体験事業を実施し、児童生徒の英語力向上に努めた。
・GIGAスクール構想推進事業…「学校のICT化環境整備3か年計画」に基づき校内のICT環境を整備するとともに、第2期となるタブレット端末の更新を行った。また、「AIドリル」の活用の促進や「ハイラブルディスカッション」を使用した教育DXの推進を図った。
③地元高校の学力向上のための支援
・鳴門市鳴門高校奨学金給付事業においては、奨学生10名に対し毎月2万円を給付し、教員を目指し学業に励む生徒の経済的支援を行うとともに、英検受験料補助事業を行い、鳴門高校の魅力化・特色化、地域活性化を図った。

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均 | 国語64(67.7)<br>算数61(63.4) | 国語65(66.8)<br>算数58(58) | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 未達成 | － | － | － | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均 | 国語55(58.1)<br>数学47(52.5) | 国語52(54.3)<br>数学46(48.3) | 全国平均以上 | 全国平均以上 | 全国平均以上 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 未達成 | － | － | － | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合 | 42.5 | 37.5 | 46.5 | 48.5 | 50 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 80.6 | － | － | － | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 奨学金給付者 | － | 10 | 20 | 30 | 30 | 名 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | － | － | － | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 79,893,491 | 0 | 310,961,596 | 310,961,596 | 326,558,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 109,034,000 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 11,200,000 | 11,200,000 | 214,900,000 |
| | その他 | 3,100,000 | 0 | 1,987,400 | 1,987,400 | 0 |
| | 一般財源 | 76,793,491 | 0 | 297,774,196 | 297,774,196 | 2,624,000 |

◎評価（CHECK）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 今年度の進捗状況 | | 未達成 | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
| | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均 | | 成果指標に対する所見 | 「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。 |
| | | 目標 | 全国平均以上 | % | | |
| | | 実績 | 国語65(66.8)算数58(58) | % | | |
| | | 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | | | |
| | | 指標名 | 全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均 | | | 「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。 |
| | | 目標 | 全国平均以上 | % | | |
| | | 実績 | 国語52(54.3)数学46(48.3) | % | | |
| | | 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | | | |
| | | 指標名 | 中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合 | | | 英語検定受験料全額補助事業等の取り組みにより、これまで英検3級相当の実力を持ちながら英検を取得していなかった生徒の数が可視化された。 |
| | | 目標 | 47 | % | | |
| | | 実績 | 38 | % | | |
| | | 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | | | |
| | | 指標名 | 奨学金給付者 | | | 奨学生10名に対し毎月2万円を給付し、教員を目指し学業に励む生徒の経済的支援を行うとともに、鳴門高校の魅力化・特色化、地域活性化を図った。 |
| | | 目標 | 10 | 名 | | |
| | | 実績 | 10 | 名 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | C:あまり目標を達成できなかった | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | ①鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。<br>・コミュニティ・スクール「鳴門モデル」推進に向けて継続的な支援を行う体制が必要である。<br>・甚大な自然災害をはじめ、子どもたちの安全を脅かす事案は、いつ・どこでも起こり得るため、子どもの命を守ることを最優先にフェーズフリーなどの浸透をはかり、困難を乗り越える防災力を育成する必要がある。<br>・鳴門教育大学との様々な連携を行いながら、教育・保育現場を支援する学生・院生によるボランティアを、就学前教育・保育、学力向上、課外活動、特別支援教育等様々な教育分野において、今後も継続していく。<br>②授業改善のための助言など英語力向上に向けた多角的な支援を進める。また、ICT活用は全校で進んでいるが、教員が受け持つ授業やクラスによってICT活用の頻度や程度に差ができていることが懸念されている。今後、教員間のICT格差をなくしていくことに加え、AIドリルの活用を含め取得した知識を効果的に授業に反映できるよう支援していく必要がある。<br>③鳴門市鳴門高校奨学金給付事業においては、今後も継続して、教員を目指し学業に励む生徒の経済的支援を行うとともに、鳴門高校の魅力化・特色化、地域活性化を図っていく必要がある。 | | | | |
| | 今後の方向性 | □ 1.廃止 | ☑ 2.要改善 | □ 3.現状維持 | □ 4.拡充 | |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | キャリア教育の充実等を図り、学びに向かう力を高めるとともに、授業改善を進め、子どもたちの学力の確実な定着に取り組む。その際、ICTを積極的に活用する。また、学力向上施策「なるとうずっ子 学力向上パッケージ」を実施し、その成果と課題を検証する。 | | | |
| | | 令和9年度 | 継続実施 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。<br>また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルに合った学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 生涯学習推進事業 | **担当部署** | 教育委員会 社会教育人権室 | | |
| **実施方針** | ①各種学級、公民館短期講座の充実<br>②公民館活用の推進<br>③放課後子供教室の実施<br>④読書環境の充実 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 46,100 | 46,100 | 46,100 |
| **事業内容（R7）** | ①各種学級、公民館短期講座の充実<br>・女性学級、成人学級、高齢者学級、公民館短期講座の実施<br>②公民館活用の推進<br>・地域の特色を活かした運営体制づくり<br>・学級運営の充実と適切な施設管理による利活用の促進<br>・蛍光灯からLED化の設計を実施し、施設の長寿命化を図る<br>③放課後子供教室の実施<br>・放課後子供教室の活動内容の充実と指導者・活動場所の確保<br>④読書環境の充実<br>・鳴門まちなか絵本図書館の充実 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公民館利用人数 | 61,520 | 60,000 | 70,000 | 78,300 | 78,300 | 人 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 46,100 | 60,800 | 106,900 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①女性学級7、成人学級5、高齢者学級9の計21学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習のサポートに努めた。また、公民館短期講座では、ライフスタイル講座、歴史文化講座、スマートフォン講座の3学級を開設した。
②管理業務の一部を地域団体に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行うとともに、公民館短期講座の継続実施（社会教育指導員及び館長と連携した学級運営）や快適な利用ができるよう必要な施設修繕等を実施した。また、公民館の蛍光灯をLED化するための工事の準備を進めた。
③市内8小学校区で放課後子供教室を開設し、延べ439日実施、11,082人の子どもが利用した。また、放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後子供教室、放課後児童クラブ等の指導者を対象とした合同研修会を開催した。
④年度内に、新しく3カ所に設置し、計57カ所となった。また、絵本回収BOXで読まなくなった絵本・児童書を回収し、リサイクルに努めた。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 公民館利用人数 | 60,402 | 73,150 | 78,300 | 78,300 | 78,300 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 104.5 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 36,725,031 | 0 | 105,311,370 | 105,311,370 | 42,200,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 3,671,000 | 0 | 3,511,000 | 3,511,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 20,500,000 | 20,500,000 | 37,900,000 |
| | その他 | 660,544 | 0 | 662,512 | 662,512 | 0 |
| | 一般財源 | 32,393,487 | 0 | 80,637,858 | 80,637,858 | 4,300,000 |

◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | 成果指標に対する所見 |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 公民館利用人数 | | 各種学級や講座、公民館でのイベント等も積極的に開催されたことから6年度と比較し利用者数は大幅に増加したが、コロナ禍以前の水準には届かない状況である。 |
| 目標 | 70,000 | 人 | |
| 実績 | 73,150 | 人 | |
| 評価 | A:目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。また、高齢化等により学級を閉鎖する地域もあり、学級を主導するリーダーの育成や講座の構成、内容、周知方法の見直しを常に行うことが大切である。公民館については地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、利用者の固定化や高齢化による減少、若い世代の利用が少ないなど、偏りが見られるのが課題である。さまざまな年齢や性別の方が気軽に利用できるよう、市教委、館長及び地域が一体となって、公民館の利用を促進する必要がある。施設の老朽化もあることから計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備の構築が求められる。

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | |
|---|---|
| 令和8年度 | 各種学級の講座の構成や内容について、学級長等の意見を聞きながら見直しを行い、受講生のニーズに沿った学級の開設をめざすとともに、公民館短期講座を継続的に実施し、生涯学習の機会確保に努める。公民館については、利用者の利便性や施設の長寿命化を図る目的から蛍光灯のLED化を進めるとともに、館長や地域団体に公民館の利用促進に関し積極的に連携を図っていただくように依頼する。 |
| 令和9年度 | 令和8年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | スポーツの推進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 子どもには健やかな心身の育成と体力の向上を、大人には自らの健康づくりを目的として、子どもから高齢者までみんなで元気に楽しむスポーツのまちをめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | スポーツ活動推進事業 | **担当部署** | 産業振興部 スポーツ推進課、企業局　ボートレース企画課・ボートレース事業課 | | |
| **実施方針** | ①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備<br>②スポーツ活動の支援と活性化の推進<br>③新スポーツ施設の整備<br>④ボートレース鳴門周辺の活性化の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 350,807 | 30,707 | 30,707 |
| **事業内容（R7）** | ①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備<br>・NARUTOスポーツデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントの開催<br>・中学・高校運動部活動の競技力強化や就学前児童及び高齢者の運動能力向上支援を目的としたKOBA式体幹バランストレーニングの実施<br>・訪問型マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業<br>・参加型マルチスポーツ推進事業<br>②スポーツ活動の支援と活性化の推進<br>・全国大会等出場激励制度<br>・スポーツ少年団活性化事業<br>③新スポーツ施設整備事業<br>④ボートレース鳴門周辺活性化<br>・ボートレース鳴門、ウズホール、ウズパークなどの各施設において、様々なイベントを開催<br>・ウズパークの拡張など、スポーツ・レクリエーション機能の向上に向けた整備 | | | | |

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| NARUTOスポーツデーへの参加人数 | － | 829 | 900 | 1,000 | 1,100 | 人 |
| 成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和11年度） | － | 41.4 | － | － | － | % |
| KOBA式体幹☆バランストレーニング、マルチスポーツ・障がい者スポーツ（訪問型・参加型）への参加人数 | 3,186 | 3,399 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 人 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 350,807 | 8,000 | 358,807 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

・スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備としては、NARUTOスポーツデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントを開催したほか、KOBA式体幹バランストレーニングや幼児向けのマルチスポーツの実施、障がい者スポーツへの理解促進及び普及啓発などに取り組んだ。また、新スポーツ施設建設に向けて建設予定地の検討を行った。
スポーツ活動の支援と活性化の推進については、前年度に引き続き、全国大会に出場する選手へ鳴門市スポーツ競技全国大会等出場激励金の交付を行ったほか、スポーツ少年団の活動を支援するため、各単位団の紹介パンフレットの作成や資格取得助成などに取り組んだ。
・ウズパークにおいて、スケートボード場とバスケットボール場の拡張、および人工芝のフットサルコート新設を含む大規模な拡張・改修工事を行った。

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| NARUTOスポーツデーへの参加人数 | 829 | 782 | 800 | 850 | 900 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 86.9 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和11年度） | 41.4 | － | － | － | － | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | － | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| KOBA式体幹☆バランストレーニング、マルチスポーツ・障がい者スポーツ（訪問型・参加型）への参加人数 | 3,470 | 3,001 | 3,000 | 3,300 | 3,600 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 83.4 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 10,712,670 | 7,269,900 | 239,928,404 | 247,198,304 | 33,000,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 4,000,000 | 0 | 5,540,000 | 5,540,000 | 0 |
| | 一般財源 | 6,712,670 | 7,269,900 | 234,388,404 | 241,658,304 | 33,000,000 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | NARUTOスポーツデーへの参加人数 | |
| 目標 | 900 | 人 |
| 実績 | 782 | 人 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和11年度） | |
| 目標 | 65.0 | % |
| 実績 | 41.4 | % |
| 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | |

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | KOBA式体幹☆バランストレーニング、マルチスポーツ・障がい者スポーツ（訪問型・参加型）への参加人数 | |
| 目標 | 3,600 | 人 |
| 実績 | 3,001 | 人 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

市内スポーツ団体、地域団体等の協力のもと、お子さまからご高齢の方まで、幅広い世代の方にお楽しみいただける体験メニューを用意したほか、今後の運動のきっかけづくりとなるよう、体力測定会を開催し、多くの市民の皆さまにご参加いただいたことから、概ね目標を達成できた。

5年に1回の実施であるため、直近の令和6年度の数値を記載。今後、参加機会の拡充や環境の整備等を通して実施率を上げることができるよう取り組む。

体幹バランストレーニングは、市民等の基礎体力向上や競技力向上に繋がった。また、マルチスポーツ・障がい者スポーツは、多様なスポーツ体験機会の提供や、障がい者スポーツへの理解を深めることに繋がった。これらの取り組みが幅広い層の参加を促し、概ね目標を達成することができた。

計

| 総合評価 | B:概ね目標を達成できた |
|---|---|

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | ・チャレンジデーから市民に根付いた運動習慣を継続していくため、「NARUTOスポーツデー」を実施した。体力測定をはじめ様々なプログラムを提供し、幅広い世代の方に参加いただき大変好評であった。今後も各団体と連携し、誰でも気軽にスポーツへ参加できる体験メニューを通して、市民の皆様の運動習慣の継続や心身のリフレッシュ、健康増進につながるようスポーツに親しむ機会の創出に努めていく。また、激励金制度についても継続し、スポーツ競技の普及及び振興を図るとともに、対象となる選手への漏れがないよう引き続き周知に取り組む必要がある。<br>また、KOBAトレ、マルチ・障がい者スポーツについては、引き続き希望校等のニーズ調査を行い、対象に合わせたきめ細やかな指導や体験プログラムの提供を行う。<br>・ウズパークの大規模リニューアルによる施設拡充を経て、若者やファミリー層を中心とした新たな客層の誘致や、場内全体のイメージ刷新に大きく寄与した。今後は、この集客力をボートレース事業の活性化や周辺地域への経済波及へとつなげることが必要である。 | | | | |
| | 今後の方向性 | | ☐1.廃止 | ☐2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | ☐ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | ・チャレンジデー事業により地域に根付いた運動習慣を継続してもらうため、令和6年度より新たに実施した「NARUTOスポーツデー」を継続して実施し、引き続き気軽に運動参加できる環境を整えるなど、スポーツへの参加機会の拡充を図る。<br>激励金制度については、広報誌でのPRを通じてより一層の周知を図り、スポーツ競技の普及および振興を図る。<br>KOBAトレ、マルチ・障がい者スポーツについても引き続き指導及びプログラム提供を実施する。<br>新スポーツ施設の整備については、地質調査や基本計画の策定を進める。<br>・スケートボードイベント、ボルダリング大会開催やスポーツ選手招聘イベント等を行い、ボートレース鳴門周辺の活性化を図る。 | | | |
| | | 令和9年度 | 今年度の実施状況により次年度以降検討する。 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 4 | 芸術・文化の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 「なると第九」ブランド化推進事業 | **担当部署** | 市民環境部 文化交流推進課<br>教育委員会 学校教育課 | | |
| **実施方針** | ①「なると第九」ブランドの発信<br>②「なると第九」の文化や歴史を学ぶ第九学習の推進<br>③「第九」アジア初演の歴史を後世に引き継ぐ取組みの推進<br>④教育旅行誘致の取組みの推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 8,459 | 8,459 | 4,641 |
| **事業内容（R7）** | ①第４１回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を開催する。<br>②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習を実施する。<br>③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行誘致の取り組みを進める。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 「なると第九」ブランド化推進事業参加者 | 2,113 | 2,174 | 2,200 | 2,200 | 3,000 | 人 |
| | 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | 80.4 | — | — | 81 | — | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 8,459 | 12 | 8,471 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

| 事業実施内容（R7） | ①第41回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を開催<br>②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習を実施<br>③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行誘致の取組みを進めた |
|---|---|

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 「なると第九」ブランド化推進事業参加者 | 2,174 | 2,171 | 2,200 | 2,500 | 2,500 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 98.7 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | ― | ― | 81 | ― | ― | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 8,848,870 | 0 | 8,260,369 | 8,260,369 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1,625,000 | 0 | 927,000 | 927,000 | 0 |
| | 一般財源 | 7,223,870 | 0 | 7,333,369 | 7,333,369 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 「なると第九」ブランド化推進事業参加者 | |
| 目標 | 2,200 | 人 |
| 実績 | 2,171 | 人 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |
| 指標名 | 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | |
| 目標 | ― | % |
| 実績 | ― | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

概ね目標を達成できたが、今後、目標を達成していくためにも、イベント内容や対象者に合わせて広報媒体を選択し、効果的に「なると第九」ブランドの認知度を向上させていく。

4年に一度実施する市民意識調査をもって成果指標の測定を行う方式を採用しているため、今年度における目標値及び実績値は「－」（該当なし）とする。ただし、事業内容①～⑤に掲げる施策を遂行し、引き続きプロモーション活動の推進に注力したことから、目標は概ね達成されたものと評価する。

計　総合評価：B:概ね目標を達成できた

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

「なると第九」ブランドの情報発信や次世代育成、教育旅行誘致を効果的、効率的に継続していく必要がある。
令和9年6月にリニューアルオープンする文化会館において、8年ぶりに開催する第42回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会に向けた準備を進める必要がある。

| 今後の方向性 | □1.廃止 | □2.要改善 | ☑3.現状維持 | □4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | |
|---|---|
| 令和8年度 | ①市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施<br>②つなぐ～みんなにとどける「第九」イベントの実施<br>③令和9年度文化会館リニューアルオープンに向けた演奏会等の検討・準備<br>④「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致 |
| 令和9年度 | ①ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会の開催<br>②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施<br>③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 4 | 芸術・文化の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 文化財保存活用事業 | **担当部署** | 市民環境部 文化交流推進課 | | |
| **実施方針** | ①国指定重要文化財「福永家住宅」・国指定史跡「鳴門板野古墳群」・国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用<br>②市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用<br>③その他指定文化財等の保存管理と普及活用 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 4,926 | 4,926 | 4,926 |
| **事業内容（R7）** | ①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。<br>②「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討作業を進める。<br>③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。<br>④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。<br>⑤指定文化財の説明板を整備する。 | | | | |

| | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 文化財公開事業への参加者数 | 672 | 712 | 800 | 900 | 1,000 | 人 |
| | 鳴門市観光入込客数 | 322 | 320 | 340 | 340 | 350 | 万人 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 4,926 | 0 | 4,926 |

## ◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①重要文化財「福永家住宅」について、保存活用計画に基づき、必要な施設修繕や、一般公開などの活用事業を行った。
②国指定史跡「鳴門板野古墳群」の一般公開や古墳ウォーキングを実施した。
③国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた委員会を開催したほか、史跡の解説冊子及び市指定「大麻山の大杉」、「極楽寺の阿弥陀如来石仏」の周知啓発冊子を発行した。
④市指定「鬼骨寺のイブキ」の文化財説明板を制作設置し、地域文化財の周知活用を進めた。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化財公開事業への参加者数 | 712 | 781 | 800 | 800 | 800 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 97.6 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 鳴門市観光入込客数 | 345 | 376 | 375 | 380 | 390 | 万人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 110.6 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 4,605,431 | 0 | 4,341,104 | 4,341,104 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 33,000 | 0 | 33,000 | 33,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 4,572,431 | 0 | 4,308,104 | 4,308,104 | 0 |

## ◎評価（CHECK）

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 文化財公開事業への参加者数 | | 成果指標に対する所見 |
| | 目標 | 800 | 人 | 近年SNSなどでの情報発信などにも力を入れつつあり、公開事業への参加者数も前年度比でプラス10%近くの増加となり、一定の成果を上げることができた。 |
| | 実績 | 781 | 人 | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |
| | 指標名 | 鳴門市観光入込客数 | | |
| | 目標 | 340 | 万人 | 計画どおり実施することができ、目標を達成することができた。 |
| | 実績 | 376 | 万人 | |
| | 評価 | A:目標を達成できた | | |

| 計 | 総合評価 | B:概ね目標を達成できた |
|---|---|---|

## ◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けて取り組みを継続するとともに、環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続していく必要がある。

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | ①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。<br>②「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。<br>③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。<br>④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。 |
| | 令和9年度 | ①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。<br>②「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。<br>③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。<br>④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 1 | 豊かな人を育むまちづくり |
| **実施計画名** | 5 | 国際・国内交流の推進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 姉妹都市や友好都市との交流をより充実させることにより、国際理解を深めることや、交流人口の増加、文化や産業の振興につなげていきます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 国際・国内交流事業 | **担当部署** | 市民環境部 文化交流推進課 | | |
| **実施方針** | ①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る<br>②国外友好都市等との交流を図る<br>③国内親善都市等との交流を図る<br>④その他国外・国内交流を推進する | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 5,456 | 8,416 | 5,456 |
| **事業内容（R7）** | ①第24回リューネブルク市親善使節団（一般、青少年）を受け入れ、両市民の交流の場を創出し、次世代を担う人材育成を図る。<br>②張家界市をはじめとする国外友好都市等からの訪問団を受け入れるなど、交流事業を推進し、友好親善を図る。<br>③会津まつりや桐生市物産まつり等へ訪問し、交流親善を図る。<br>④その他国外・国内交流を推進する。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国際交流員等活用事業への参加者数 | 3,267 | 3,228 | 3,300 | 3,400 | 3,500 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 5,490 | −1,098 | 4,392 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

| 事業実施内容（R7） | ①第24回リューネブルク市親善使節団（一般、青少年）を受け入れ、両市民の交流の場を創出し、次世代を担う人材育成を図った。<br>②会津まつりや桐生市物産まつり等へ訪問し、地場産品などの販売や交流親善を図った。<br>③その他国外・国内交流を推進した。 |
|---|---|

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国際交流員等活用事業への参加者数 | 3,716 | 3422 | 3,300 | 3,300 | 3,300 | 人 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 103.7 | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 11,875,391 | 0 | 3,232,710 | 3,232,710 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 11,875,391 | 0 | 3,232,710 | 3,232,710 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 国際交流員等活用事業への参加者数 | | 成果指標に対する所見：国際交流員等が積極的に様々な市内イベント等において活動するとともに、ターゲットに合わせた広報媒体を活用して情報発信を行うことにより、多くの方々にご参加いただくことができた。 |
| | 目標 | 3,300 | 人 | |
| | 実績 | 3,422 | 人 | |
| | 評価 | A:目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

| 課題 | 鳴門市姉妹都市親善使節団派遣事業をはじめとした国際交流事業について、訪問団の相互派遣や、オンライン通信等を活用し、若い世代も取り込んで積極的に国際交流の推進を図る必要がある。 |
|---|---|

| 今後の方向性 | □1.廃止 | □2.要改善 | ☑3.現状維持 | □4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | ①第25回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣し、交流の促進を目指す。<br>②第25回鳴門市姉妹都市親善青少年使節団を派遣し、次世代を担う人材育成を図る。<br>③国内外のその他友好都市との連携を深め、交流の促進を目指す。 |
| | 令和9年度 | ①第25回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出する。<br>②第25回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。<br>③国内外のその他友好都市との連携を深め、交流の促進を目指す。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 計画的な土地利用と都市拠点整備の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 本市の将来の発展動向を踏まえ、自然環境との調和のもと、鳴門中心部ではコンパクトにまとまった都市機能の立地を促すとともに、安全で安心できる居住地形成を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 民間活力活用事業 | **担当部署** | 未来戦略局 未来デザイン総室、総務部 公共施設マネジメント課、都市建設部　まちづくり課 | | |
| **実施方針** | ①民間提案制度の活用<br>②リノベーションまちづくりの推進<br>③公民連携の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 5,900 | － | － |
| **事業内容（R7）** | ①遊休市有地等を有効活用し、質の高い行政サービスの提供や地域経済の活性化等を図るため、民間事業者から提案を求め、審査・選定し事業化を図る。<br><br>②空き家や空き地などの今ある地域資源を活用し、民間主導で飲食・物販などの新たなコンテンツの造成、創業やコミュニティの活性化などを図る、「リノベーションまちづくり」の実施可能性調査を行う。<br><br>③公民連携実証実験フィールドにおいて実施する、マルシェをはじめとした、様々な公民連携イベントに対し、備品の貸し出しや補助金の交付など、行政も積極的なサポート・コーディネートを行うことで、取組を加速させ、持続的な賑わい創出、エリア価値の創造を図る。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 民間提案制度を活用した事業化件数 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 件 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 5,900 | −311 | 5,589 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①民間提案制度については旧黒崎集会所、UZUビル（旧教育委員会棟1階・2階）、旧鳴門東小学校・幼稚園の3施設について公募を行い、うち2施設（3件）について事業化を開始した。

②「リノベーションまちづくり」の実施可能性調査を実施し、対象エリア及び物件の候補の抽出を行った。また、具体的な事業プランの企画を行う「リノベーションスクール」の開催に向け、スクール生の候補を発掘するため、講演会やトークイベントを実施した。

③公民連携エリアリノベーション応援事業については、備品貸出や補助金交付に加え、企画段階から「目的」「実施方法」等を主催者とともに整理し、伴走支援を積極的に実施した結果、新庁舎周辺エリアを活用したマルシェや鳴門日曜市など、公民連携イベントを全12回実施し、継続的で多様な賑わい創出に繋がった。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 民間提案制度を活用した事業化件数 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 300.0 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 0 | 0 | 5,525,870 | 5,525,870 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 2,496,835 | 2,496,835 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 0 | 0 | 3,029,035 | 3,029,035 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | 成果指標に対する所見 |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 民間提案制度を活用した事業化件数 | | 各事業について計画どおりに実施することができ、目標を達成することができた。 |
| 目標 | 1 | 件 | |
| 実績 | 3 | 件 | |
| 評価 | A:目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

①民間提案については、地元調整を含む候補地の確保、事業化に当たっての収益性の確保などが課題となっている。

②「リノベーションスクール」の開催に向け、講演会などに参加した方の「リノベーションスクール」への参加を後押しするとともに、今後、リノベーションスクールを通じて生まれる事業プランの実現に向けた、サポートをしていくことが必要である。

③多様な賑わい創出とエリア価値向上に向けては、備品・補助等の支援に加え、市も一緒に関わっていく伴走型の積極的なサポート体制を維持・強化することで、本市が民間団体等から継続的に選ばれるエリアとして認知されていく必要がある。

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | ☐ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | ①公共施設等の有効活用に向け、民間提案の活用可能性について、地元の意見を踏まえた課題の整理を行うとともに、地元との調整が整ったものから順次、公募実施に向けた検討を進める。<br><br>②「リノベーションスクール」を開催し、空き家を活用した事業プランの検討を行う。<br><br>③公民連携実証実験フィールドにおいて実施する、マルシェをはじめとした、様々な公民連携イベントに対し、備品の貸し出しや補助金の交付など、行政も積極的なサポート・コーディネートを行うことで、取組を加速させ、持続的な賑わい創出、エリア価値の創造を図る。 |
| | 令和9年度 | ①令和8年度に実施した公募結果を踏まえ、事業化に向けた必要な手続き及び施設改修等について整理・調整を行う。<br><br>②「リノベーションスクール」を開催し、空き家を活用した事業プランの検討を行う。<br><br>③公民連携実証実験フィールドにおいて実施する、マルシェをはじめとした、様々な公民連携イベントに対し、備品の貸し出しや補助金の交付など、行政も積極的なサポート・コーディネートを行うことで、取組を加速させ、持続的な賑わい創出、エリア価値の創造を図る。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 持続可能な公共交通網の実現 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 地域公共交通計画に基づき、多様化する利用者ニーズに適応した公共交通サービスを提供するとともに、持続可能な公共交通ネットワークの実現に努める。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 公共交通対策事業 | **担当部署** | 未来戦略局 地域交通推進課 | | |
| **実施方針** | 地域公共交通計画に基づき、路線バスなどの既存の公共交通手段を活用するとともに、新たな移動手段の導入などに努めます。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 151,258 | 151,258 | 151,258 |

**事業内容（R7）**

①地域バス・路線バス
利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容の見直し等を行う。

②新たな移動手段の導入検討
NPO法人ふれあい福祉の会やまびこへるぷが実施する移動支援事業について、実証運行から本格運行へ移行する。
矢倉地区や島田地区の移動支援事業等を他の地域に展開するとともに、新たな移動手段の導入を検討する。

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公共交通カバー人口比率の引き上げ<br>（次回調査令和8年度） | 79.4 | ー | ー | 85.0 | ー | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 151,258 | 11,861 | 162,626 |

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

・地域バスにおいて二次元コード決済（PayPay）、路線バスにおいてICOCA を導入し、利便性の向上を図った。

・公共交通空白地域である「島田地区」において、令和6年10月から実証運行を開始したNPO法人ふれあい福祉の会山びこへるぷによる、島田島から最寄りのバス停までの移動支援を本格運行へ移行した。

・「大麻町」において、令和7年12月から社会福祉法人大麻福祉の町、社会福祉法人しあわせの里福祉会及び暮らしのサポートセンター縁どころの協力のもと、大麻町から指定した乗降場所までの移動支援を目的とした実証運行を実施した。

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 公共交通カバー人口比率の引き上げ（次回調査令和8年度） | | ー | 85.0 | ー | ー | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ー | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 156,697,411 | 0 | 156,462,846 | 156,462,846 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 47,000 | 47,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1,009,463 | 0 | 890,290 | 890,290 | 0 |
| | 一般財源 | 155,687,948 | 0 | 155,525,556 | 155,525,556 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 公共交通カバー人口比率の引き上げ（次回調査令和8年度） | | 成果指標に対する所見 |
| 目標 | ー | % | 地域公共交通計画において、中間見直し時（令和8年度）に目標値（85%）を定めていることから、目標・実績値は「ー」とした。一方、計画に基づき、矢倉地区や島田地区、大麻町における移動支援事業を実施し、公共交通空白地域の解消等に寄与したことから、「概ね目標を達成できた」と評価する。 |
| 実績 | ー | % | |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

交通事業者の運転者不足に加え、今後の高齢化の進展により、移動困難者の増加が予測されることから、地域公共交通計画に基づき、新たな移動手段の導入を検討するなど、多様化する移動ニーズや地域特性に対応した持続可能な公共交通ネットワークの実現に努める必要がある。

| 今後の方向性 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | |
|---|---|
| 令和8年度 | 公共交通空白地域等における移動課題を解消するため、地域の実情に応じた最適な交通手段の導入に向けた調査業務を実施する。 |
| 令和9年度 | 調査結果に基づき、事業を実施する。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 快適で暮らしやすい都市環境の整備 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 住環境整備事業 | **担当部署** | 都市建設部 まちづくり課 | | |
| **実施方針** | ①公営住宅の計画的な改善等の推進<br>②木造住宅の耐震化促進<br>③住環境向上・良好な住宅ストック形成の促進<br>④老朽化し危険な空き家の除却促進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 139,188 | 139,188 | 139,188 |
| **事業内容（R7）** | ①公営住宅改善事業<br>・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施<br>②木造住宅耐震化促進事業<br>・耐震診断・耐震改修等への支援<br>③住宅安心リフォーム支援事業<br>・住宅リフォームへの支援<br>④老朽危険空き家除却支援事業<br>・老朽危険空き家の除却支援 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの） | 33 | 30 | 35 | 35 | 35 | 戸 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 139,188 | 28,282 | 167,470 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容(R7)**

①公営住宅改善事業
・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施
②木造住宅耐震化促進事業
・耐震診断・耐震改修等への支援
③住宅安心リフォーム支援事業
・住宅リフォームへの支援
④老朽危険空き家等除却支援事業
・老朽危険空き家の除却支援

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 空き家除却実施戸数(補助・減免によるもの) | 32 | 21 | 35 | 35 | 35 | 戸 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 60.0 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 99,188,004 | 15,014,400 | 96,726,240 | 111,740,640 | 48,128,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 33,568,000 | 6,217,000 | 28,823,000 | 35,040,000 | 23,079,000 |
| | 県支出金 | 13,687,050 | 4,398,600 | 11,380,150 | 15,778,750 | 2,272,000 |
| | 地方債 | 25,100,000 | 0 | 33,300,000 | 33,300,000 | 20,000,000 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 26,832,954 | 4,398,800 | 23,223,090 | 27,621,890 | 2,777,000 |

◎評価(CHECK)

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 空き家除却実施戸数(補助・減免によるもの) | |
|---|---|---|
| 目標 | 35 | 戸 |
| 実績 | 21 | 戸 |
| 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | |

**成果指標に対する所見**

実績数値の低下は、補助金を利用しない空き家除却戸数が例年より少なかったことが要因となっている。
一方、補助金の予算執行額は例年より高く、総合的には概ね目標を達成できたと考える。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

・公営住宅改善事業については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、段階的に適切な改修等を検討していく必要がある。
・各支援制度は、継続的な需要があるため、より多くの方に事業を活用いただけるよう周知するとともに、制度拡充も検討していく必要がある。

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☐ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・公営住宅改善事業については、矢倉第2団地A・B棟手摺改修を実施する。<br>・各支援制度を引き続き実施しつつ、制度のさらなる周知を図る。また、国・県制度の動向を注視しながら、ニーズに合わせた制度拡充を検討していく。 |
| 令和9年度 | ・R8年度に生じた課題に対し、改善を行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 快適で暮らしやすい都市環境の整備 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 道路・河川整備事業 | **担当部署** | 都市建設部 土木課 | |
| **実施方針** | ①道路舗装修繕計画に基づき、主要な市道の舗装補修を実施<br>②地域住民の要望に基づき、緊急性の高いものを中心に河川整備を実施。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 159,000 | 195,000 | 195,000 |
| **事業内容（R7）** | ①トリプルR事業（計画に基づく舗装補修）にて、新規に指定された「第2次緊急輸送道路」の舗装補修を実施する。<br>・舗装設計を実施する路線・・・「南浜吉永線」<br>・舗装工事を実施する路線・・・「小桑島大桑島線」「立岩区画西6号線」「中山黒崎線」「立岩南浜線」<br><br>②地域住民の要望を精査し、以下の地区を中心に全１１箇所の河川改良・補修工事に着手予定。<br>・島田地区・明神地区・川崎地区・南浜地区・立岩地区・木津地区・高島地区　他 | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 道路網および河川の整備率 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 159,000 | 40,000 | 199,000 |

◎実施結果(DO)

【実績ベース】

事業②

**事業実施内容(R7)**

①トリプルR事業(計画に基づく舗装補修)にて、新規に指定された「第2次緊急輸送道路」の舗装補修を実施した。
・舗装設計を実施する路線・・・「南浜吉永線」
・舗装工事を実施する路線・・・「小桑島大桑島線」「立岩区画西6号線」「中山黒崎線」「立岩南浜線」

②地域住民の要望を精査し、市内全域で河川改良・補修工事を実施した。
・川崎地区排水路改良工事・明神小学校水路改良工事・高島地区排水路改良工事・木津地区排水路改良工事・吉永地区排水路改良工事・堂浦地区排水路改良工事・弐軒家地区排水路改良工事・陰ヶ谷川護岸改良工事・立岩地区排水路改良工事・島田地区護岸改良工事

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 道路網および河川の整備率 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 169,703,422 | 39,690,200 | 109,995,600 | 149,685,800 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 7,393,000 | 0 | 8,166,000 | 8,166,000 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 64,100,000 | 0 | 74,700,000 | 74,700,000 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 98,210,422 | 39,690,200 | 27,129,600 | 66,819,800 | 0 |

◎評価(CHECK)

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 道路網および河川の整備率 | |
|---|---|---|
| 目標 | 100 | % |
| 実績 | 100 | % |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

計画どおりに整備ができた

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修において、活用している社会資本整備総合交付金の内示率が今後も低い場合、交付金の内示額相当の発注となるため、事業の進捗に遅れに遅れが生じる可能性がある。

②地域住民から、未整備水路の整備や老朽化した水路の改修などの要望が多く寄せられている。このため、地域の現状などを検討し計画的に整備を進めたい。

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | ☐ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。<br>②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。 |
| 令和9年度 | ①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。<br>②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 快適で暮らしやすい都市環境の整備 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業③**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 公園活用推進事業 | **担当部署** | 都市建設部 公園緑地課 | | |
| **実施方針** | ①子どもを対象とした事業の実施<br>②公園利用者を拡大する事業の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 3,731 | 3,731 | 3,731 |
| **事業内容（R7）** | ①子どもを対象とした事業の実施<br>・U－10フットサル大会<br>・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント　夏・冬パーク<br>②公園利用者を拡大する事業の実施<br>・風鈴・七夕まつり、パークセンターギャラリー | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 活動（イベント）への参加人数 | 9,761 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 3,731 | 0 | 3,731 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業③

| 事業実施内容(R7) | |
|---|---|
| | ①U-10フットサル大会は中止となったが、鳴門ウチノ海総合公園季節イベントは夏の猛暑も考慮して、夏パークからわくわく秋パークに変更して10月に実施、また12月にはわくわく冬パークを実施。<br>②風鈴・七夕まつり、パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携して実施。<br>③公民連携の取組推進による民間と連携した各種マルシェ等のイベントを開催。 |

| 成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 活動(イベント)への参加人数 | 8,548 | 62,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 人 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 620.0 | ー | ー | ー | % |

| 事業費推移(円) | 年度 | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 3,803,574 | 0 | 3,607,955 | 3,607,955 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 3,803,574 | 0 | 3,607,955 | 3,607,955 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

◎評価(CHECK)

事業③

| 今年度の進捗状況 | | ほぼ計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 活動(イベント)への参加人数 | | 成果指標に対する所見 | 大型イベントの実施により目標達成ができた。今後も子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していくとともに、公民連携の取り組み推進による民間と連携したイベントを開催していく。 |
| | 目標 | 10,000 | 人 | | |
| | 実績 | 62,000 | 人 | | |
| | 評価 | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業③

| 課題 | 鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していく必要がある。<br>また、イベントを開催するにあたっては、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。 |
|---|---|

| 今後の方向性 | 1.廃止 | 2.要改善 | 3.現状維持 | 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|
| | ☐ | ☐ | ☑ | ☐ |

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 鳴門市の各種部門や地域との連携はもとより、公民連携の取組推進により民間と連携した各種イベントの開催など公園という公共空間を有効活用した持続的な賑わい創出を積極的に進めることで、公園の利便性向上や魅力度アップに繋げる。 |
| | 令和9年度 | 鳴門市の各種部門や地域との連携はもとより、公民連携の取組推進により民間と連携した各種イベントの開催など公園という公共空間を有効活用した持続的な賑わい創出を積極的に進めることで、公園の利便性向上や魅力度アップに繋げる。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 快適で暮らしやすい都市環境の整備 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業④**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業 | **担当部署** | 企業局 水道企画課・水道事業課 | |
| **実施方針** | 水道事業の根幹となる浄水場を、南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから、下記の方針のもと整備を実施<br>① 鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新<br>② 老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同で実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：1,708,267 | 令和8年度：1,442,550 / 令和9年度：－ |
| **事業内容（R7）** | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施<br>① 整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）<br>主な整備内容は、機械・電気設備工事、場内整備工事ほか、共同浄水場の試運転<br>② 整備事業の施工監理業務<br>※ 物価上昇等に伴う債務負担行為限度額（追加分）として12億円（令和7年度～令和8年度）を設定 | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 浄水場の更新 | 建設工事等の実施 | 建設工事等の実施 | 建設工事等の実施 | 建設工事等の実施 | － | |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 1,708,267 | 2,065,620 | 3,773,887 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業④

| | |
|---|---|
| 事業実施内容(R7) | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施<br>① 整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)<br>主な整備内容は、浄水処理棟・管理棟等の機械・電気設備工事、場内配管など<br>② 整備事業の施工監理業務<br>※ 国庫補助金の関係により、令和7年度3月補正予算にR8事業費の一部前倒し計上(2,065,620千円) |

| 成果指標(対象にどのような効果があったか示す指標) | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 浄水場の更新 | 建設工事等の実施 | 建設工事等の実施 | 建設工事等の実施 | － | － | |
| | 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移(円) | 年度 | 令和6年度決算(※令和5年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 3,457,776,300 | 0 | 1,708,267,000 | 1,708,267,000 | 2,065,620,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 861,472,000 | 0 | 358,626,000 | 358,626,000 | 245,031,000 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 876,300,000 | 0 | 447,000,000 | 447,000,000 | 455,400,000 |
| | その他 | 1,719,586,400 | 0 | 902,461,600 | 902,461,600 | 1,353,156,000 |
| | 一般財源 | 417,900 | 0 | 179,400 | 179,400 | 12,033,000 |

◎評価(CHECK)

事業④

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | 成果指標に対する所見 | |
|---|---|---|---|---|
| 指標名 | 浄水場の更新 | | | 建設工事を当初の計画どおりに推移 |
| 目標 | 建設工事等の実施 | | | |
| 実績 | 建設工事等の実施 | | | |
| 評価 | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業④

| | |
|---|---|
| 課題 | 現施設を稼働しながら新施設を建設(複雑な工程、限られた敷地活用)<br>工期の遵守(施工時期の制限など)<br>令和8年度当初に供用開始及び通水式を開催(新浄水場への円滑な移行など)<br>共同浄水場の安定的かつ効率的な維持管理方法の検討(北島町と共同で運転管理) |

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施<br>①整備事業の工事等(設計・施行一括発注方式)<br>○ R8.4に通水式(供用開始)<br>○ 既存施設の撤去工事、天日乾燥床の築造工事と機械電気設備工事、場内配管・場内整備工事<br>②整備事業の施工監理業務<br>③安定的かつ効率的な維持管理に向け北島町との協議を実施 |
| | 令和9年度 | 共同浄水場の安定的かつ効率的な運転・維持管理 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 快適で暮らしやすい都市環境の整備 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業⑤**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業 | **担当部署** | 都市建設部 市街地整備課 | |
| **実施方針** | 公共下水道整備（汚水）<br>①下水道管渠整備の推進<br>公共下水道整備（雨水）<br>②災害の未然防止に向けた施設の耐震・耐津波化<br>③ストックマネジメント計画に基づいた適正な維持管理<br>合併処理浄化槽普及促進事業<br>④合併処理浄化槽への転換促進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 536,806 | 536,806 | 536,806 |
| **事業内容（R7）** | 公共下水道整備（汚水）<br>①下水道管渠整備の推進<br>・第3期事業計画区域の整備の推進<br>・供用開始区域拡大による下水道普及率の向上<br>公共下水道整備（雨水）<br>②施設の耐震・耐津波化<br>・ポンプ場施設の耐震・耐津波化対策事業の実施<br>③ストックマネジメント計画による維持管理<br>・ストックマネジメント計画に基づくポンプ場および管渠の長寿命化対策の実施<br>合併処理浄化槽普及促進事業<br>④合併処理浄化槽への転換促進<br>・合併処理浄化槽への転換補助の実施 | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 下水道普及率 | 11.8 | 12.6 | 13.1 | 13.7 | 14.3 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 536,806 | 353,640 | 890,446 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業⑤

**事業実施内容(R7)**

【1】汚水下水道事業
①国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用し、第3期事業区域の管渠整備に取り組んだ。
【2】雨水下水道事業
②国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用し、ストックマネジメント計画に基づく管渠及びポンプ場の老朽化対策に取り組んだ
【3】合併処理浄化槽普及促進事業
③合併処理浄化槽への転換補助制度を実施した。

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 下水道普及率 | 12.1 | 12.5 | 13.7 | 14.3 | 14.9 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 95.4 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 457,764,599 | 352,481,700 | 201,345,366 | 553,827,066 | 335,588,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 180,950,200 | 155,972,950 | 57,257,750 | 213,230,700 | 144,398,000 |
| | 県支出金 | 6,334,000 | 0 | 6,460,000 | 6,460,000 | 0 |
| | 地方債 | 142,600,000 | 109,000,000 | 49,670,176 | 158,670,176 | 159,300,000 |
| | その他 | 17,550,500 | 0 | 9,259,100 | 9,259,100 | 0 |
| | 一般財源 | 110,329,899 | 87,508,750 | 78,698,340 | 166,207,090 | 31,890,000 |

◎評価(CHECK)

事業⑤

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 下水道普及率 | |
|---|---|---|
| 目標 | 13.1 | % |
| 実績 | 12.5 | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

汚水下水道事業は、一部事業が繰越したほか、物価や人件費の高騰が下水道普及の上昇に影響したが、達成状況からB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

事業⑤

**課題**

【1】汚水下水道事業
　物価高騰は事業進捗に影響するため、設計・施工などの整備手法の効率化を促進する必要がある。
【2】雨水下水道事業
　昨年度実施された全国特別重点調査の結果への迅速な対応と、従来から計画しているストックマネジメント計画との両立を確実に実施していく必要がある。
【3】合併処理浄化槽普及促進事業
　補助制度の拡充を速やかな転換へつなげられるよう周知・啓発を実施する必要がある。

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 【1】汚水下水道事業<br>　第3期事業区域の整備を進めるとともに、第4期事業の設計を行う。<br>【2】雨水下水道事業<br>　変化する社会情勢を念頭に年次単位で事業スケジュールを立てるとともに、状況を見ながら柔軟な対応も行うなど、着実な事業進捗を図る。<br>【3】合併処理浄化槽普及促進事業<br>　より訴求効果の高い周知・啓発方法を検討、実施を図る。 |
| 令和9年度 | 【1】汚水下水道事業<br>　事業計画や国庫補助の内示額を基準とし、第3期事業区域の整備を進めるとともに、第4期事業区域の設計を進め施工開始を目指す。<br>【2】雨水下水道事業<br>　ストックマネジメント計画を着実に推進するとともに、災害の未然防止や施設の適正な維持管理を行う。<br>【3】合併処理浄化槽普及促進事業<br>　水環境改善や転換補助の普及啓発活動を実施していく。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 4 | 移住・定住の促進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 令和7（2025）年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。<br>さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | 移住交流促進事業 | **担当部署** | 産業振興部 商工政策課、未来戦略局 企画政策課 |
| **実施方針** | ①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施<br>②ウェブメディアの積極的な活用による若年層に向けた情報発信<br>③「半農半X」「移住起業」の推進など、移住交流促進に向けたブランディング<br>④「移住交流PR大使」との連携<br>⑤バーチャル鳴門市役所の運用 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：12,716<br>令和8年度：12,716<br>令和9年度：12,716 |
| **事業内容（R7）** | ①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施<br>・移住希望者に対してワンストップ窓口により、暮らしの情報や各種支援制度などを案内<br>・徳島県等が主催する移住相談会に参加<br>②ウェブメディアの積極的な活用による若年層に向けた情報発信<br>・「移住交流PR大使」との連携<br>・移住系大手民間サイト等とのメディアミックスなど、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」での情報発信<br>③「半農半X」「移住起業」の推進など、移住交流促進に向けたブランディング<br>・2週間程度の農業アルバイトを体験する「半農半X」推進シェアハウス事業を年間を通して実施<br>・移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」の実施<br>④「おてつたび」との連携<br>・UIJインターンシップの実施など、「半農半X」だけでなく観光業をはじめその他の業種でも「おてつたび」の受け入れを拡大<br>⑤バーチャル鳴門市役所の運用<br>・メタバース空間上に、若年層の市政関与や意見交換の場を創出することなどを目的としてコミュニティの場を設置し、市の観光名所や地場産品を紹介することで、交流人口や関係人口の拡大を図る。 | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 移住者数（転入者アンケート集計数） | 453 | 460 | 470 | 480 | 490 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 12,716 | 0 | 12,716 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

・「移住交流支援センター」において、暮らしの情報や各種支援制度の案内など、移住希望者の相談業務を実施した。
・「おいでや！いなか暮らし移住フェア2025」をはじめ、各種移住相談会に参加した。
・全国から参加者を募集し、2週間の農業体験を行う「半農半X」推進シェアハウス事業について、これまでの「鳴門らっきょ編」「なると金時編」「いちご編」に加え、「青首だいこん編」を実施した。
・（株）おてつたび」と連携し、UIJインターンシップとして新たに医療・介護・保育の福祉関連事務所および和菓子製造・食品製造・水産加工の事業所で受け入れを実施した。
・オンライン講座や本市での短期合宿を行う移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP 2025」を開催した。
・「移住交流PR大使」である里崎智也氏と連携し、インキュベーション施設のオープンにあわせて、トークショーを開催した。
・移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」をはじめ、WEBメディアを積極的に活用し、情報発信を行った。
・バーチャル市役所について、東京の私立大学である青山学院大学及び早稲田大学と連携し、鳴門市の課題に対する解決策の意見を出し合う「渦潮ハッカソン」を開催した。メタバース空間でのイベントは、居住地に関わらず多くの方が参加いただけるほか、市長も参加するイベントということで、一定の注目度を得ることができた。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 移住者数（転入者アンケート集計数） | 703 | 809 | 720 | 730 | 740 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 172.1 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 5,530,721 | 0 | 11,582,348 | 11,582,348 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 450,000 | 0 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 149,000 | 0 | 1,173,000 | 1,173,000 | 0 |
| | 一般財源 | 4,931,721 | 0 | 8,909,348 | 8,909,348 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | | 成果指標に対する所見 |
|---|---|---|---|---|
| 指標名 | 移住者数（転入者アンケート集計数） | | | 「半農半X」の推進によるブランディングがすすむとともに、WEBメディアを積極的に活用した情報発信により、目標を達成できた。 |
| 目標 | 470 | 人 | | |
| 実績 | 809 | 人 | | |
| 評価 | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

移住のメインターゲットとなる20代～30代の若年層へのアプローチには、WEBメディアを活用した情報発信が有効であり、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」の更なる認知拡大が重要である。
「半農半X」推進シェアハウス事業は、参加者・受け入れ農家ともに満足度の高い事業となっており、今後も幅広い業種で受け入れを拡大するとともに、国が創設に取り組む「ふるさと住民登録制度」のモデル事業への取り組みを契機に、移住交流の促進・関係人口創出と合わせて、市内事業所の人手不足解消につなげる必要がある。
バーチャルイベントは多くの参加者があったところ、参加者からの評価も高く成功したが、イベント以外での利用者促進が課題である。

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☐ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | ・「移住交流支援センター」における移住相談業務の実施、徳島県等が主催する移住相談会への参加<br>・「移住交流PR大使」との連携や移住系大手民間サイト等とのメディアミックスなど、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」での積極的な情報発信<br>・「半農半X」推進シェアハウス事業及び移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」の実施<br>・「(株)おてつたび」と連携したUIJインターンシップ事業の実施<br>・「ふるさと住民登録制度」モデル事業への取り組み<br>・バーチャル市役所上で婚活事業を行うにあたり、イベントの広報をウェブ広告など様々な形で行うこととし、また、プレイベントなどを開催することでイベントの絶対数を増加させることにより、認知度の向上を図る。 |
| | 令和9年度 | ・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定<br>・令和8年度に実施するバーチャルイベントを精査し、より効率的かつ効果的なイベント等を実施し、さらなる利用者の獲得に努める。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 4 | 移住・定住の促進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 令和7（2025）年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。<br>さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（再掲） | **担当部署** | こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課・こども家庭センター未来戦略局 企画政策課、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、産業振興部 商工政策課、教育委員会 教育総務課・学校教育課 |
| **実施方針** | 令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートしています。<br>本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：383,062<br>令和8年度：<br>令和9年度： |

**事業内容（R7）**

**①住宅取得** ・なると定住促進住宅取得補助金
**②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産**
・地域婚活支援事業補助金 ・地域婚活支援重点事業 ・なると結婚新生活スタート支援補助金 ・なると新婚世帯家賃補助金
・一期一縁プロジェクト ・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト） ・子育て世代のライフプランニング応援事業
・新生児出産祝い金事業 ・不育症治療支援事業 ・多胎妊婦健康診査支援事業
・妊娠判定受診費用助成事業 ・不妊治療費助成事業 ・葉酸摂取サポート事業
**③就学前・小学生・中学生・高校生など**
・保育料無償化事業 ・保育士等人材確保推進事業（奨学金返還助成事業） ・おむつ粉ミルク等無償宅配事業 ・乳幼児ねんねケア事業
・就学前の障がい児発達支援無償化事業 ・病児・病後児保育広域利用助成事業 ・ファミリーサポートセンター利用料助成事業
・新1年生ランドセル無償化事業 ・小中学校等入学祝い金事業 ・市内企業おしごと体験事業 ・インフルエンザ予防接種費助成事業
・中学3年生応援給食費無償化事業 ・高校生等医療費助成事業 ・高校生授業料助成事業 ・鳴門市奨学金制度
**④子育て中** ・ママのための学び舎事業"ママビヤ"

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出生児童数 | 199 | 220 | 240 | 240 | 240 | 人 |
| なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | 99 | 100 | 100 | 100 | 100 | 世帯 |
| ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | 0 | 5 | 5 | 5 | 5 | 人 |
| 市内企業おしごと体験参加人数 | 95 | 92 | 90 | 90 | 90 | 人 |
| 婚姻件数 | 154 | 160 | 170 | 170 | 170 | 件 |
| 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | 95.8 | 95.0 | 95.2 | 95.4 | 95.6 | % |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | 34.1 | － | － | － | － | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 383,062 | 61,341 | 444,403 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金(82世帯)
②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産
・地域婚活支援事業補助金（2件・32名参加）・地域婚活支援重点事業（1件・14名参加）　・なると結婚新生活スタート支援補助金（27世帯）・なると新婚世帯家賃補助金（54世帯）・一期一縁プロジェクト（10件・163名参加）・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）（3回・296名参加）・子育て世代のライフプランニング応援事業（2回・187名参加）・新生児出産祝い金事業（給付率100%・197名）・不育症治療支援事業（2名）・多胎妊婦健康診査支援事業（0）・妊娠判定受診費用助成事業（のべ4名）・不妊治療費助成事業（のべ80名）・葉酸摂取サポート事業（99名）
③就学前・小学生・中学生・高校生など
・保育料無償化事業（のべ3176月）・保育士等人材確保推進事業（奨学金返還助成事業）（14名）・おむつ・粉ミルク等無償宅配事業（給付率98.0%・対象349名のうち342名）・乳幼児ねんねケア事業（のべ11名）・就学前の障がい児発達支援無償化事業（36名）・病児・病後児保育広域利用助成事業（のべ23名）・ファミリーサポートセンター利用料助成事業（373名）・新1年生ランドセル無償化事業（配布率92.5%・対象308名のうち285名）・小中学校等入学祝い金事業（給付率98.9%・対象791名のうち782名）・市内企業おしごと体験事業（100名）・インフルエンザ予防接種費助成事業（350名）・給食費無償化事業（のべ21730名）・高校生等医療費助成事業（0）・高校生授業料助成事業（0）・鳴門市奨学金制度（46名）
④子育て中　・ママのための学び舎事業”ママビヤ”（21名参加）

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出生児童数 | 213 | 215 | 220 | 240 | 250 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 89.6 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | 79 | 82 | 100 | 100 | 100 | 世帯 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 82.0 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 80.0 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 市内企業おしごと体験参加人数 | 92 | 94 | 90 | 90 | 90 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 104.4 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 婚姻件数 | 147 | 132 | 170 | 170 | 170 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 77.6 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | 95.6% | 98.7% | 97.0% | 97.0% | 97.0% | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 103.7 | ― | ― | ― | % |
| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| 子育てに不安や負担を感じる人の割合<br>（次回調査　令和10年度） | ― | ― | ― | ― | 30.0% | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 321,664,443 | 0 | 349,352,355 | 349,352,355 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 3,883,000 | 0 | 93,661,226 | 93,661,226 | 0 |
| | 県支出金 | 1,348,000 | 0 | 29,305,000 | 29,305,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 49,034,310 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 267,399,133 | 0 | 226,386,129 | 226,386,129 | 0 |

◎評価（CHECK）

| | 今年度の進捗状況 | | ほぼ計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業② | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 出生児童数 | | 成果指標に対する所見 | 目標値には達しなかったものの、全国的な少子化・晩婚化等による出生数の減少を食い止め、昨年度実績数（213名）より増加した。各施策の実施により直接的・間接的な経済的負担をカバーすることで、子育て世帯から高い評価を得ている。 |
| | | 目標 | 240 | 人 | | |
| | | 実績 | 215 | 人 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | なると定住促進住宅取得補助金を活用し、市内で住宅を建築又は購入した世帯数 | | | 目標値には達しなかったものの、若年世代の経済的負担の軽減、住宅取得による市への移住・定住の促進を図った。さらに補助金に加算額を設けることで、子どもの増加、市内業者での住宅の建築、市への転入、親世帯または祖父母世帯との近居なども促進できた。 |
| | | 目標 | 100 | 世帯 | | |
| | | 実績 | 82 | 世帯 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | ITスキル講座等の受講による女性在宅ワーカー・就業者数 | | | 子育て中のママが子育てだけでなく講座受講によりキャリアアップを図るとともに、隙間時間を活用した在宅ワークによる就業へと繋げ、多様な働き方を推進した。 |
| | | 目標 | 5 | 人 | | |
| | | 実績 | 4 | 人 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 市内企業おしごと体験参加人数 | | | 職業体験を通じ、小中学生の将来像や勤労観・職業観を深めることで将来の地元就職やキャリア形成のきっかけとなった。また、市内企業への関心を高めるとともに、市への愛着が深まった。 |
| | | 目標 | 90 | 人 | | |
| | | 実績 | 94 | 人 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 婚姻件数 | | | 多様な楽しみや単身生活の便利さが増大するほか、結婚や家族に対する価値観が変化していることなどを要因に全国的にも婚姻数は減少傾向にあるとはいえ、あまり目標を達成できていない。各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。 |
| | | 目標 | 170 | 件 | | |
| | | 実績 | 132 | 件 | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 鳴門市で子育てをしたい人の割合 | | | 健診時アンケート調査結果によると、子育て世帯からは各施策の評価をいただいている。市内だけでなく市外やその他ターゲット層へ的確に情報が届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。 |
| | | 目標 | 95.2 | % | | |
| | | 実績 | 98.7 | % | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 子育てに不安や負担を感じる人の割合（次回調査　令和10年度） | | | 5年ごとの調査であるため目標・実績が「－」となる。「なると まるごと 子育て応援パッケージ」は子育て世代を包括的にサポートする事業であることから、子育てに不安や負担を感じる人はより少なくあってほしいという期待を込めた評価である。 |
| | | 目標 | － | % | | |
| | | 実績 | ー | % | | |
| | | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | B:概ね目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業② | 課題 | 給付金事業は9割を超える高い給付率を達成しているほか、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ており市民満足度の向上がみられる。しかし、依然として続く若者の転出超過等による人口減少や未婚・晩婚化の進展等による出生数減少などの重要な課題を解決するため、対象者のニーズを把握し、各施策の効果検証及び見直し・改善等を図る必要がある。また、ターゲット層へ的確に届くよう、周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫にも注力する必要がある。 | | | |
| | 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | □ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | 令和8年度事業として追加・拡充<br>【追加】<br>①男性の育児休業取得支援奨励金②修学旅行無償化③就学援助制度（準用保護者の基準を拡大）<br>【拡充】<br>①不妊治療費助成事業（仕事と不妊治療の両立支援）②給食費無償化（中学3年生を就学前からへ） | | |
| | | 令和9年度 | これまで続けてきた切れ目のない子育て支援施策を継続するとともに、長期的な視点のもと、各事業の効果検証等を図り、庁内関係部署と連携しながら、現状の課題に即した施策展開を図る。 | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 5 | 環境にやさしいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 環境保全推進事業 | **担当部署** | 市民環境部 環境政策課・クリーンセンター廃棄物対策課 | | |
| **実施方針** | ①水質浄化対策<br>②環境保全意識の醸成<br>③地球温暖化対策の推進<br>④特定外来生物の防除<br>⑤公害や環境に関する苦情に関する対応 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 25,524 | 25,524 | 25,524 |
| **事業内容（R7）** | ①水質浄化対策<br>・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施<br>②環境保全意識の醸成<br>・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催<br>③地球温暖化対策の推進<br>・地球温暖化対策実行計画に基づく取組の実施<br>④特定外来生物の防除<br>・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除<br>⑤公害や環境に関する苦情に関する対応<br>・電話対応や現地訪問による指導等 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量） | 17,059 | 15,819 | 14,999 | 14,210 | 13,452 | t |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 25,524 | −10,000 | 15,524 |

## ◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①水質浄化対策
・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施
②環境保全意識の醸成
・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催
③地方公共団体実行計画（区域施策編）に沿った取組
・再生可能エネルギー設備等普及促進事業補助金事業を実施
④特定外来生物の防除
・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除
⑤公害や環境に関する苦情に関する対応
・電話対応や現地訪問による指導等

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量） | 17,529 | 16399 | 14,210 | 13,452 | 12,813 | t |
| 目標達成率(実績/目標) | | 109.3 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 22,484,127 | 0 | 9,457,584 | 9,457,584 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1,709,000 | 0 | 3,663,000 | 3,663,000 | 0 |
| | 一般財源 | 20,775,127 | 0 | 5,794,584 | 5,794,584 | 0 |

## ◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量） | |
|---|---|---|
| 目標 | 14,999 | t |
| 実績 | 16,399 | t |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

温室効果ガス排出量を昨年度より6．4%削減できたが目標値以下に抑えることはできなかった。

## ◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

①水質浄化対策
・事業による効果測定が困難である。
②環境保全意識の醸成
・コロナ禍で減少した参加者の増加を図る必要がある。
③地方公共団体実行計画（区域施策編）に沿った取組
・温室効果ガス排出量の抑制に向けた効果的な取組の検討が必要である。
④特定外来生物の防除
・一度侵入されると根絶は困難である。

**今後の方向性**

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

**↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。**

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ①水質浄化対策：取り組みを実施する地区増加に向けた働きかけや周知啓発を推進する。<br>②環境保全意識の醸成：新規講座実施や内容の見直しを検討し、参加者の増加を図る。<br>③地方公共団体実行計画（区域施策編）の推進：再生可能エネルギー設備等普及促進事業補助金事業を実施し、再生可能エネルギー導入目標の達成に向けて取り組む。<br>④特定外来生物の防除：生息範囲が広がらないよう防除活動に努める。 |
| 令和9年度 | 継続実施 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 2 | 持続発展可能なまちづくり |
| **実施計画名** | 5 | 環境にやさしいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | ごみ対策事業 | **担当部署** | 市民環境部 環境政策課 | | |
| **実施方針** | ①ごみの減量や再資源化を図る<br>②ごみの発生抑制や減量、再利用、再資源化について啓発を行う | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 89,003 | 89,003 | 89,003 |
| **事業内容（R7）** | ①ごみ減量対策<br>・資源ごみ回収団体の支援、回収量に応じた報奨金交付<br>・雑がみ回収を推進するため資源ごみ回収団体に雑がみ回収用紙袋を配布<br>・EMボカシの無料交付<br>・コンポストの斡旋<br>・電気式生ごみ処理機の購入補助<br>・指定ごみ袋制度の実施<br>②啓発<br>・小学4年生向けに社会科副読本「くらしとごみ」を作成<br>・ごみ減量スローガンコンクールを実施<br>・オリジナルマイバック作成事業をPR | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く） | 16,890 | 16,729 | 16,420 | 16,092 | 15,776 | t |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 89,003 | 28,521 | 117,524 |

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業②

**事業実施内容(R7)**

・資源ごみの回収促進を図るため、資源ごみ回収団体に対して雑がみ回収専用の手提げ袋と缶類を回収するためのビニール袋を提供するとともに、指定品目(新聞・雑誌・段ボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類)の回収量に応じた報奨金(1kgあたり5円)を交付した。
・EMボカシ113個の無料交付、コンポスト28個の斡旋、電気式生ごみ処理機31基の購入補助及び15基の貸出しを実施し、生ごみ減量を推進した。
・市のごみ処理の現状やごみ減量などについてまとめた社会科副読本「くらしとごみ」を、市内の小学4年生に配布するとともに、ごみ減量スローガンコンクールを実施し、児童がごみに関する諸問題に関心を持ち、知識を身につける機会とした。
・外国人住民に対してごみの分別や排出マナーを周知するため、「英語版ごみ分別ガイドブック」を作成し、市公式ウェブサイトへの掲載等を行った。
・民間事業者と連携し、ペットボトルの水平リサイクルの実施や不要品のリユースや再資源化に向けた啓発に取り組んだ。

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く) | 16,269 | 16,039 | 16,092 | 15,776 | 15,665 | t |
| 目標達成率(実績/目標) | | 102.4 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 72,088,690 | 0 | 72,253,061 | 72,253,061 | 28,521,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 28,521,000 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 72,088,690 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 0 | 0 | 72,253,061 | 72,253,061 | 0 |

◎評価(CHECK)

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く) | |
|---|---|---|
| 目標 | 16,420 | t |
| 実績 | 16,039 | t |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

継続したごみ減量施策の実施と啓発により、ごみ排出量を目標値以下に抑えるとともに、資源の有効活用につなげることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

資源ごみの回収について、集団回収団体の高齢化・少子化等による活動の縮小化や、小売店による店頭回収の終了等の影響も踏まえ、総回収量が減少する見込みであるため、対策を講じる必要がある。

**今後の方向性**

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 今後も継続して4Rの推進・啓発の実施によるごみの減量に取り組むとともに、資源ごみ回収に向けた施策についての検討を進める。 |
| 令和9年度 | 継続実施 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 3 | 安全安心のまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 災害などに強いまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。<br>また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて、地域全体の強靭化を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 災害対策事業 | **担当部署** | 危機管理局・教育委員会 教育総務課 | | |
| **実施方針** | ①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発<br>②自主防災活動の活性化<br>③防災用資機材・備蓄物等の整備<br>④平常時・非常時ともに快適に利用できる学校施設の整備 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 224,235 | 218,784 | 215,943 |

**事業内容（R7）**

①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発
- ・地域・関係機関等と連携した実践的な訓練等（研修含む）の実施
- ・出前講座等を通じた防災学習の推進

②自主防災活動の活性化
- ・地域防災リーダー（防災士）養成講座の実施
- ・備蓄物資・資機材の点検、更新等
- ・自主防災組織活動推進事業助成金の効果的活用の促進

③防災用資機材・備蓄物等の整備
- ・ローリングストックの考えに基づく備蓄品の更新等にかかる周知・啓発
- ・災害発生時の水問題対策となる資機材等の整備

④平常時・非常時ともに快適に利用できる学校施設の整備
- ・中学校屋内運動場における空調設備の整備
  （大麻中学校：工事、瀬戸中学校：設計）

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 防災訓練参加者数 | 890 | 1,000 | 1,100 | 1,200 | 1,300 | 人 |
| 空調設備設置学校数（累計） | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 校 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 232,035 | 30,000 | 262,035 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①市民等を対象に防災講演会を開催したほか、まちづくり出前講座や学校での防災授業を実施することにより、防災意識の高揚を図った。また、自主防災会を中心に各地域において防災訓練を実施したほか、内閣府及び県の災害ケースマネジメント実施体制整備事業に採択され、災害発生時に被災者の状況をアウトリーチし、官民の多様な関係者と連携した継続的な支援を行う体制づくりを進めながら、市および関係機関の発災時の連携強化を図った。
②組織運営や資器材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、「自主防災会連絡協議会」では、地域防災活動の充実強化につなげるため、災害情報の周知・啓発を図った。
③県・市の備蓄目標や役割分担を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、整備している食糧・保存水・粉ミルクなどについて、賞味期限が近い物資から更新を行った。賞味期限が近づいたアルファ化米、保存水などの備蓄物資は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用した。災害時の水問題の対策として災害時協力井戸の登録を促進し、10件増加した。マンホールトイレは第一中学校とうずしおふれあい公園に整備し、トイレ問題の解決を図った。
④平常時・非常時ともに快適に利用できる学校施設の整備
災害時に多くの避難者が想定される中学校の体育館に、停電時においても稼働可能なガスヒートポンプ式エアコンの設置を計画的に進めており、令和7年度においては、大麻中学校への設置を完了するとともに、瀬戸中学校の設計業務を行った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 防災訓練参加者数 | 1,246 | 2,229 | 2,400 | 2,500 | 2,600 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 202.6 | ー | ー | ー | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 空調設備設置学校数（累計） | ー | 2 | 3 | 5 | 5 | 校 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 13,998,390 | 0 | 219,393,537 | 219,393,537 | 26,475,900 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 7,537,915 | 7,537,915 | 13,237,950 |
| | 県支出金 | 936,000 | 0 | 2,034,000 | 2,034,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 183,400,000 | 183,400,000 | 11,200,000 |
| | その他 | 4,284,000 | 0 | 2,000,000 | 2,000,000 | 1,953,000 |
| | 一般財源 | 8,778,390 | 0 | 24,421,622 | 24,421,622 | 84,950 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 防災訓練参加者数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 1,100 | 人 |
| 実績 | 2,229 | 人 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

| 指標名 | 空調設備設置学校数（累計） | |
|---|---|---|
| 目標 | 2 | 校 |
| 実績 | 2 | 校 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

鳴門市防災フェアを開催するなど、市から継続的に防災に関する情報提供を行うことで、市民の防災意識の高揚と災害対策の普及啓発を図った。

平常時・非常時ともに快適に利用できる学校施設の整備については、避難所機能の強化と教育環境の充実に向けて計画どおり進捗しており、目標達成に向けて着実に成果が現れている

計

| 総合評価 | A:目標を達成できた |
|---|---|

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | 自主防災会連絡協議会を通じて、各地域の活動内容等の情報交換・共有を図り、さらなる地域の防災力の向上に繋げていく。また、自主防災会の活動低下につながらないよう啓発と支援を続け、防災リーダーの創出と市民の主体的な活動を後押しする必要があるとともに、地域全体の防災意識の高揚を図るために、若年層や女性の視点に立ったアプローチの強化に努める。その他、「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に準じた備蓄物資の配備を行う。<br>さらに、南海トラフ地震の被害想定の見直しにより、本市では避難所生活者数が2万9千人を超える見込みであることから、避難所生活の質（QOL）の向上が急務である。特に地球温暖化に伴う酷暑対策のほか、ペット同行避難への対応、ならびに車中泊避難者への対応など、多様な避難形態を前提とした避難所運営の具体的な検討が必要である。 | | | | |
| | 今後の方向性 | □1.廃止 | □2.要改善 | □3.現状維持 | ☑ 4.拡充 | |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | 自主防災組織の活動に係る助成金の交付を行うとともに、組織活動の推進を図る。また、避難所である小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。その他、自助・共助（近助）を原則として、地域防災力を高める活動が期待される防災士の養成者数を増やすとともに、防災士取得者と連携した防災訓練などを実施する。　さらに、避難所生活の質（QOL）の向上を目的に、酷暑対策に係る備品の確保を進めるとともに、ペット同行避難や車中泊避難者への対応を含めたマニュアルの整備および訓練の実施について検討を進める。 | | | |
| | | 令和9年度 | 自主防災組織の活動に係る助成金の交付を行うとともに、組織活動の推進を図る。また、避難所である小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。その他、自助・共助（近助）を原則として、地域防災力を高める活動が期待される防災士の養成者数を増やすとともに、防災士取得者と連携した防災訓練などを実施する。　さらに、避難所生活の質（QOL）の向上を目的に、酷暑対策に係る備品の確保を進めるとともに、ペット同行避難や車中泊避難者への対応を含めたマニュアルの整備および訓練の実施について検討を進める。 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 3 | 安全安心のまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 災害などに強いまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。<br>また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて、地域全体の強靭化を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | 排水機場・樋門整備事業 | **担当部署** | 都市建設部 土木課 |
| **実施方針** | ①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施<br>②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：420,000<br>令和8年度：550,000<br>令和9年度：550,000 |
| **事業内容（R7）** | ①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施<br>・明神第二排水機場長寿命化工事<br>・辻岩排水機場長寿命化工事<br>・黒崎排水機場長寿命化工事<br><br>②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施<br>・立岩区画排水機場土木改良工事<br>・立岩区画排水機場機械改良工事 | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 新設・改良・更新基数 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 420,000 | 24,950 | 444,950 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容(R7)**

①排水機場長寿命化計画に沿って、計画的な維持管理の実施
・明神第二排水機場長寿命化工事　発電設備製作・据付　N=1基
・辻岩排水機場長寿命化工事　　水中ポンプ(φ500)製作・据付　N=1基
・黒崎排水機場長寿命化工事　　ポンプピット　N=1式

②立岩区画排水機場の長期的な改修計画の実施
・立岩区画排水機場土木改良工事　吸水槽N=1式、導水路　L=5.9m
・立岩区画排水機場改良関連工事　公衆トイレ解体撤去　床面積29.12㎡

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新設・改良・更新基数 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 355,368,400 | 23,885,400 | 213,800,800 | 237,686,200 | 205,500,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 322,600,000 | 21,400,000 | 198,800,000 | 220,200,000 | 203,100,000 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 32,768,400 | 2,485,400 | 15,000,800 | 17,486,200 | 2,400,000 |

◎評価(CHECK)

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 新設・改良・更新基数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 100 | % |
| 実績 | 100 | % |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

計画通り事業は実施できている。今後も引き続き、計画的に事業を推進していく。

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

排水機場整備には大きな予算が必要となっている。
このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業の採択を模索しながら事業を推進していく必要がある。

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 排水機場長寿命化計画を基に事業を実施する。<br>また、立岩区画排水機場の長期的な改良工事を実施する。 |
| 令和9年度 | 排水機場長寿命化計画を基に事業を実施する。<br>また、立岩区画排水機場の長期的な改良工事を実施する。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 3 | 安全安心のまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 災害などに強いまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。<br>また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて地域全体の強靭化を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業③**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 耐震化・施設整備等推進事業 | **担当部署** | 都市建設部 特定事業推進課、市民環境部 市民協働推進課・ 文化交流推進課 | | |
| **実施方針** | ＜新庁舎整備事業＞<br>「鳴門市新庁舎建設基本計画」に掲げた5つの基本方針の実現に向け、新庁舎の整備を推進する。<br>＜文化会館改修事業＞<br>令和3年4月から休館している文化会館について、耐震性能の確保や早期の再開を目指した整備を推進する。<br>＜（仮称）大麻町総合防災センター＞<br>「（仮称）大麻町総合防災センター整備基本計画」に掲げた5つの基本方針の実現に向け、整備を推進する。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | ＜新庁舎整備事業＞<br>171,500<br>＜文化会館改修事業＞<br>2,456,930<br>＜（仮称）大麻町総合防災センター＞<br>1,200 | ＜文化会館改修事業＞<br>－<br>＜（仮称）大麻町総合防災センター＞<br>－ | ＜文化会館改修事業＞<br>－<br>＜（仮称）大麻町総合防災センター＞<br>－ |
| **事業内容（R7）** | ＜新庁舎整備事業＞<br>1-1_新庁舎整備事業2期付帯工事のうち付帯工事監理等業務<br>1-2_旧庁舎解体工事等に伴う近隣家屋等事後調査<br>1-3_新庁舎整備事業2期外構工事のうち付帯工事（建築）<br>1-4_新庁舎整備事業2期外構工事のうち付帯工事（電気）<br>1-5_新庁舎整備事業2期外構工事のうち付帯工事（管）<br><br>＜文化会館改修事業＞<br>2-1_文化会館耐震改修事業監修業務<br>2-2_文化会館耐震改修工事実施設計CM業務<br>2-3_文化会館耐震改修事業施工CM業務<br>2-4_文化会館等外構設計業務<br>2-5_文化会館耐震改修事業 | | ＜（仮称）大麻町総合防災センター＞<br>3-1_基本設計業務<br>実施設計業務・建築工事（予定） | | |

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新庁舎の建設 | 新庁舎完成 | 旧庁舎等解体<br>外構工事の着手 | 外構工事完了 | | | |
| 文化会館の改修 | 基本設計の策定 | 実施設計の着手 | 実施設計の策定<br>耐震改修工事の着手 | 外構工事の着手<br>耐震改修工事完了 | 外構工事完了 | |
| （仮称）大麻町総合防災センター | 基本計画策定 | 基本設計着手 | 基本設計完了<br>実施設計・建設工事の着手 | 実施設計<br>建設工事 | 建設工事完了 | |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 2,629,630 | 補正予算額<br>-940<br>繰越明許額<br>205,250<br>逓次繰越額<br>93,820 | 2,927,760 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業③

**事業実施内容(R7)**

【新庁舎の建設】
令和6年6月より開始した旧庁舎解体及び2期外構工事が令和7年4月に竣工し、5月より来庁者用駐車場の使用を開始した。これにより予定した新庁舎整備事業に係る主な工事が完了した。

【文化会館の改修】
令和6年11月より開始した実施設計を令和7年12月に策定した。実施設計と並行して令和7年5月より撤去工事を開始し、その後、計画通り改修工事に滞りなく移行し事業を進めている。

【(仮称)大麻町総合防災センター】
基本設計の策定が完了した。
デザインビルド方式での事業者選定を行い、福井組・井上建設・歩デザイン特定建設工事共同企業体と令和7年12月に契約し、実施設計に着手した。

**成果指標**(対象にどのような効果があったか示す指標)

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新庁舎の建設 | 旧庁舎等解体、外構工事の着手 | 外構工事完了 | | | | |
| 目標達成率(実績/目標) | | － | － | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算(※令和5年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 759,528,285 | 169,717,000 | 142,979,600 | 312,696,600 | 5,400,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 40,587,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 212,600,000 | 152,400,000 | 128,600,000 | 281,000,000 | 0 |
| | その他 | 77,611,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 428,730,285 | 17,317,000 | 14,379,600 | 31,696,600 | 5,400,000 |

**成果指標**(対象にどのような効果があったか示す指標)

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 文化会館の改修 | 実施設計の着手 | 実施設計の策定 耐震改修工事の着手 | 工事完了 | リニューアルオープン | | |
| 目標達成率(実績/目標) | | － | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算(※令和4年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 110,180,702 | 99,920,000 | 623,699,300 | 723,619,300 | 1,824,720,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 81,200,000 | 93,800,000 | 591,000,000 | 684,800,000 | 1,818,000,000 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 28,980,702 | 6,120,000 | 32,699,300 | 38,819,300 | 6,720,000 |

**成果指標**(対象にどのような効果があったか示す指標)

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (仮称)大麻町総合防災センター | 基本設計の着手 | 基本設計の策定、実施設計の着手 | 実施設計 建築工事 | 工事完了 開業 | | |
| 目標達成率(実績/目標) | | － | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算(※令和4年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 1,909,052 | 18,150,000 | 987,800 | 19,137,800 | 27,060,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27,000,000 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 1,909,052 | 18,150,000 | 987,800 | 19,137,800 | 60,000 |

◎評価（CHECK）

| | 今年度の進捗状況 | | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業③ | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 新庁舎の建設 | | 成果指標に対する所見 | 計画どおり外構工事が完了し、令和7年5月から駐車場の使用を開始した。 |
| | | 目標 | 外構工事完了 | | | |
| | | 実績 | 外構工事完了 | | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 文化会館の改修 | | | 計画どおり実施設計策定及び耐震改修工事に着手した。 |
| | | 目標 | 実施設計の策定耐震改修工事の着手 | | | |
| | | 実績 | 実施設計の策定耐震改修工事の着手 | | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | （仮称）大麻町総合防災センター | | | 基本設計の策定が完了し、令和7年12月より実施設計に着手した。 |
| | | 目標 | 基本設計完了実施設計・建設工事の着手 | | | |
| | | 実績 | 基本設計の策定、実施設計の着手 | | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業③ | 課題 | 【文化会館の改修】<br>特になし<br><br>【（仮称）大麻町総合防災センター】<br>特になし | | | | |
| | 今後の方向性 | | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | 【文化会館の改修】<br>引き続き、滞りの無いよう関係者等と調整しながら改修工事を進め、令和9年2月竣工を目指す。<br><br>【（仮称）大麻町総合防災センター】<br>実施設計を進め、建設工事に着手する。 | | | |
| | | 令和9年度 | 【文化会館の改修】<br>改修工事竣工後、開館準備を確実に進め、令和9年6月のリニューアルオープンを迎える。<br><br>【（仮称）大麻町総合防災センター】<br>引き続き建設工事を進め、令和10年1月の竣工を目指す。 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 3 | 安全安心のまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 消防・救急体制の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 火災や自然災害などから市民の生命と財産を守る消防体制の充実を図るとともに、緊急時に迅速かつ的確に対応できる救急救命・救助体制の充実を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 消防・救急体制強化事業 | **担当部署** | 消防本部 消防総務課・警防課 | | |
| **実施方針** | ①消防本部（団）車両・資機材整備等を計画的に更新し消防力強化を図る<br>②消防団安全装備品を計画的に整備し消防団員の安全確保を図る<br>③新規救急救命士の養成を図る | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 6,355 | 141,866 | 57,010 |
| **事業内容（R7）** | ①消防本部（団）車両・資機材等整備事業<br>・【警防課】令和8年度：救助工作車Ⅱ型・令和9年度：高規格救急車を更新予定<br>・【消防総務課】令和9年度：消防分団配備の消防ポンプ車及び小型ポンプ付積載車を更新予定（2台）<br>②消防団安全装備品整備事業<br>・【消防総務課】令和7年度：救命胴衣の配備（現在**441**着配備済、残り**457**着を配備）・令和8年度：防火コート配備予定（現在**16**分団配備済　残り**26**分団へ配備）※各分団へ6着ずつ<br>③新規救急救命士養成事業<br>・【警防課】救急救命九州研修所及び就業前病院研修への出向 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 新規救急救命士数 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 6,355 | 157,437 | 163,792 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①消防本部（団）車両・資器材等整備事業
令和6年事業であった災害対応特殊屈折はしご付き消防自動車の調達が、能登半島地震の影響により令和7年度に繰り越しとなっていたが、5月に納車、6月運用を開始となった。
②消防団安全装備品整備事業
・消防団員が水害等災害対応に従事する際に着用する救命胴衣を457着配布した。（事業完了）
③新規救急救命士養成事業
1名は救急救命九州研修所に入校し国家資格所得。また新規採用職員1名が救急救命士有資格者であったため、2名に対し就業前研修を実施し、運用を開始した。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 新規救急救命士数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 9,664,936 | 156,360,260 | 6,005,709 | 162,365,969 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 156,200,000 | 0 | 156,200,000 | 0 |
| | その他 | 7,095,550 | 0 | 3,267,000 | 3,267,000 | 0 |
| | 一般財源 | 2,569,386 | 160,260 | 2,738,709 | 2,898,969 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 新規救急救命士数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 2 | 人 |
| 実績 | 2 | 人 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**：今後も継続して救急救命士育成を行う

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

①消防本部（団）車両・資器材等整備事業
　法整備の多様化によるシャシメーカーの生産遅延から単年度事業が困難になることが考えられるため、関係機関とより緊密な協議が必要となる。また物価上等等により価格高騰も懸念され、補助金や有利な債の確保が必要である。
　消防団員が多様化する災害に対して安全・的確・迅速な対応が実施できるようにエンジンカッター等必要な資器材の整備が必要である。
③新規救急救命士養成事業
　今後、救急救命士常時2名乗車体制の構築に向け、救急救命士の育成は必須であるため本部内での訓練等を充実させ、各種災害対応に対応できるよう、多種な研修等に参加し救急活動の質の向上に努める必要がある。

| 今後の方向性 | □1.廃止 | □2.要改善 | □3.現状維持 | ☑4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ①消防本部（団）車両・資器材等整備事業<br>救助工作車の早期導入と運用。<br>消防団に対するエンジンカッター等資器材整備<br>③新規救急救命士養成事業<br>救急救命士の養成を計画的に実施するとともに、各種研修等に積極的に参加し、救急活動の質の向上を図る。 |
| 令和9年度 | ①消防本部（団）車両・資器材等整備事業<br>高規格救急車の早期導入と運用。<br>消防団小型ポンプ付き積載車2台・エンジンカッター等資器材整備<br>③新規救急救命士養成事業<br>救急救命士の養成を計画的に実施するとともに、各種研修等に積極的に参加し、救急活動の質の向上を図る。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 3 | 安全安心のまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 市民安全対策の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 交通事故を防ぐため、交通安全の啓発活動や交通安全施設の計画的な整備に努めます。<br>また、複雑・多様化する消費者トラブルなどを防ぐため、情報発信や相談体制の強化に努めます。<br>身近な生活の不安を感じることなく、市民が安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら対策に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 市民安全対策事業 | **担当部署** | 市民環境部 市民協働推進課 | | |
| **実施方針** | ①交通安全、防犯活動の推進<br>②消費生活センターの充実<br>③消費者教育の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 20,700 | 20,700 | 20,700 |
| **事業内容（R7）** | ①交通安全、防犯活動の推進<br>・幅広い世代への交通安全教室の実施<br>・警察や関係団体等と連携した交通安全、防犯活動の実施<br>②消費生活センターの充実<br>・啓発グッズ作成等による消費生活センターの周知<br>・全国消費者情報ネットワークシステムや国民生活センター教育研修事業を活用した相談員の資質向上<br>③消費者教育の推進<br>・啓発グッズやフードポスト等を通じたエシカル消費の周知啓発 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市内における交通死亡事故件数 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 件 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 20,700 | −210 | 20,490 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

(1)交通安全、防犯活動の推進
①交通安全講習を市内の幼小中学校で実施したほか、市内企業等にも出向いて実施した。また、道路交通法のR6年度改正をうけ、自転車運転者に対する罰則規程強化等についても同講習にて周知した。（実施回数92回、参加人数3,880人）
②春と秋の交通安全運動のほか、鳴門警察署の交通・防犯キャンペーンに参加するなど、各関係団体との連携を深めた。
(2)消費生活センターの充実
①消費者行政強化交付金を活用し、消費生活センターの周知及び消費者被害防止を目的とした啓発グッズを作成・配布した。
②鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク構成団体や生活協力団体等に周知協力を依頼し、効果的なPR活動を実施した。
③消費生活相談員の相談力向上のため、国民生活センター等主催の研修に積極的に参加した。（計13回）
(3)消費者教育の推進
①食品ロス削減用ジッパーバッグの作成・配布のほか、出張フードポストの実施など積極的に食品ロス削減の推進に努めた。（食材の年間提供点数1,406点）

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 市内における交通死亡事故件数 | 1 | 3 | － | － | | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 0.0 | － | － | － | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 18,675,223 | 0 | 19,297,440 | 19,297,440 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 1,335,000 | 0 | 1,171,000 | 1,171,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 17,340,223 | 0 | 18,126,440 | 18,126,440 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 市内における交通死亡事故件数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 0 | 件 |
| 実績 | 3 | 件 |
| 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | |

**成果指標に対する所見**：関係機関・団体等と連携し、交通安全啓発と意識の高揚に努める。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**：
・市内での交通死亡事故ゼロを目指し、関係機関と連携して効果的な交通安全啓発・周知に努めるとともに、道路交通法の改正等を注視し、適正な施策を実施する必要がある。
・複雑・高度化する消費者トラブルに対応するべく、、研修等への参加を通じて相談員のレベルアップを図る必要がある。
・消費者トラブルを未然に防止するため、市消費生活センターと見守りネットワーク関連団体等との連携を強化する必要がある。
・消費者教育の推進を図るため、地域での出前講座を推進するほか、ウェブサイト等世代に応じたメディアを活用した広報を展開する必要がある。

**今後の方向性**：☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・市内の交通死亡事故ゼロを達成するため、関係機関と連携し、交通安全講習やキャンペーン等を継続するほか、交通事故の現状の把握に努め、効果的な対策を講じていく。<br>・見守りネットワークに参画している消費生活協力団体とのネットワークを生かし、特に高齢者を対象とした消費者被害防止のための啓発活動及び消費生活センターの周知をより一層強化する。<br>・消費者相談員のレベルアップを図るとともに、市民に対しても出前講座等を通じて消費者教育を推進する。 |
| 令和9年度 | 令和8年度と同様。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 健康づくりの推進と医療体制の確保 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 特定健診・特定保健指導事業 | **担当部署** | 健康福祉部 保険課 | | |
| **実施方針** | ①特定健康診査・特定保健指導の実施<br>②ナッジ理論を活用した受診勧奨の実施<br>③みなし健診（特定健康診査情報提供事業）の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 52,234 | 52,234 | 52,234 |
| **事業内容（R7）** | ①特定健康診査・特定保健指導の実施<br>対象者に受診券を送付する。また、受診者でメタボリックシンドロームに該当する又はその予備群の者に対して、特定保健指導を行う。<br>②ナッジ理論を活用した受診勧奨の実施<br>行動経済学（ナッジ理論）の観点から、未受診者の特性に合わせて、特定健康診査への興味や受診意欲を持ってもらえるような案内文書を送付し、受診勧奨を行う。<br>③みなし健診（特定健康診査情報提供事業）の実施<br>生活習慣病などにより治療中の特定健診未受診者に対し、本人同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用する。また、みなし健診に協力した被保険者に対して、インセンティブとしてQuoカードを配布することで、利用者の拡大を図る。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 特定健康診査受診率 | 38.8 | 45.0 | 50.0 | 55.0 | 60.0 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 52,234 | 0 | 52,234 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

・対象者に特定健康診査受診券を送付した。また、受診者でメタボリックシンドロームに該当する又はその予備群の者に対して、特定保健指導を行った。
・行動経済学の観点から健康意識分類を行い、未受診者の特性に合わせて7つのグループに分類し、受診勧奨通知を2回送付した。
・みなし健診事業について、対象者の抽出を行い勧奨通知を送付（1,221通）し、みなし健診の実績は163名となった。また、みなし健診の協力者に対してインセンティブとしてQuoカード（500円分）を進呈した。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 特定健康診査受診率 | 40.4 | 43.2 | 55.0 | 60.0 | 60.0 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 86.4 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 39,620,945 | 0 | 40,114,490 | 40,114,490 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 21,751,000 | 0 | 17,282,000 | 17,282,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 17,869,945 | 0 | 22,832,490 | 22,832,490 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 特定健康診査受診率 | |
|---|---|---|
| 目標 | 50 | % |
| 実績 | 43 | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

受診率は、増加傾向にあるが目標値には届いていない状況である。みなし健診の周知を引き続き行うとともに、より効果的な方策を今後も検討する。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

特定健診の実施は、各医療保険者には義務付けられているが、被保険者にとって受診は任意である。生活習慣病は初期では自覚症状がないことや、すでに生活習慣病治療中であっても健診対象となることから、受診の必要性が理解されにくい。
今後も引き続き、健診対象者の過去の受診歴や通院状況に応じたより効果的なアプローチを行い、健康意識の醸成や健診受診に向けた行動変容を促していく必要がある。
治療中の方に対するみなし健診事業は、鳴門市医師会との連携のもと、引き続き制度周知に努める。

**今後の方向性**

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 令和7年度に実施した行動経済学を活用した受診勧奨を引き続き行いながら、今後の受診勧奨の手法について検討する。また、みなし健診の実施については、引き続き制度周知に努める。<br>健康づくりに向けた取組として、特定健診の受診者やみなし健診への協力者に健康ポイント「なるポ」を付与し、健康意識の醸成に努める。 |
| 令和9年度 | これまで実施した受診勧奨の手法、みなし健診の周知や実施方法について、引き続き効果検証を行い、受診率の向上に繋げる。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 健康づくりの推進と医療体制の確保 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 市民の健康づくり対策事業 | **担当部署** | 健康福祉部 健康増進課 | | |
| **実施方針** | 「健康なると21（第三次）」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 33,176 | 33,176 | 33,176 |
| **事業内容（R7）** | 健康に対する各意識レベルに応じた事業内容や、ライフコースやライフイベントへのアプローチを踏まえた健康づくりに重点を置き、「健康なると21（第三次）」計画の取組を推進。<br>かかりつけ医や関係機関と連携したがん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や継続受診のない方への受診勧奨等を継続。<br>健康意識の向上を目的とした体組成測定機器等のツール活用や健康教室・健診結果説明会の実施。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出） | 男性79.6<br>女性83.4 | 男性80.0<br>女性85.0 | 男性80.0<br>女性85.0 | 男性80.0<br>女性85.0 | 男性80.0<br>女性85.0 | 歳 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 33,176 | −890 | 32,286 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②

| | |
|---|---|
| 事業実施内容（R7） | ①健康教育、健康相談、栄養改善事業等の各保健事業を通して「健康なると21（第三次）」の取組を行った。特に、健康に対する無関心層への取り組みとして、健康測定の機会について長寿介護課と連携し、市指定ごみ袋配布時や期日前投票などのイベント時に拡大して実施した。<br>②かかりつけ医や関係機関と連携し、リーフレットの配布など、がん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や一定の年齢の方への検診票の送付やメディアとタイアップした受診勧奨等を継続して行った。また、鳴門病院と連携し「鳴門病院祭り」で検診受付ブースを設置し、受診の呼びかけを行った。<br>③自殺予防週間や対策強化月間にあわせた市民対象キャンペーンや心の健康づくりを目的に企業の協力のもと、多世代が交流できる「健康マージャン教室」を開催した。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出） | 男性79.7<br>女性83.6 | 男性79.8<br>女性83.6 | 男性80.0<br>女性84.0 | 男性80.0<br>女性84.0 | 男性80.0<br>女性84.0 | 歳 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 29,178,495 | 0 | 29,377,653 | 29,377,653 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 870,000 | 0 | 847,000 | 847,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 192,500 | 0 | 539,000 | 539,000 | 0 |
| | 一般財源 | 28,115,995 | 0 | 27,991,653 | 27,991,653 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 平均自立期間（要介護2以上になった年齢）（国保データベースより抽出） | 成果指標に対する所見 | 男女ともに目標に届かなかったものの、前年度を上回る数値となった |
| | 目標 | 男性80.0女性85.0　歳 | | |
| | 実績 | 男性79.8女性83.6　歳 | | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

| | |
|---|---|
| 課題 | 若い世代への情報発信や働きかけができる機会の確保に向けて、イベントや職域との連携など、いろいろな場を活用しながら、若い時からの健康に対する意識の醸成が必要である。 |

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☐ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | ・引き続き、庁内・関係団体・民間企業等との連携のもと、「健康なると21（第3次）」を推進する。<br>・がん検診受診勧奨通知や歯周病検診の対象者を拡充し、働く世代を中心に情報発信や働きかけを行う。<br>・鳴門市健康ポイント事業「日に日になるポ」を活用し、健康づくり事業への参加の促進を図る。 |
| | 令和9年度 | 令和8年度に同じ |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 健康づくりの推進と医療体制の確保 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業③**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 地域医療確保事業 | **担当部署** | 健康福祉部 健康増進課 | |
| **実施方針** | 「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」の推進により、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 56,702 | 16,702 | 16,702 |
| **事業内容（R7）** | ①夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保のため、鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業の継続実施<br>②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発の継続実施<br>③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催・運営<br>④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会の開催<br>⑤徳島県鳴門病院との連携（鳴門病院との連携事業、鳴門市地域医療人材確保事業補助金） | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 電話救急相談利用件数 | 1,155 | 800 | 800 | 800 | 800 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 56,702 | 38,320 | 95,022 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③

**事業実施内容（R7）**

①夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保のため、鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業を継続実施した
②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発について継続実施した
③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催・運営。
④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会を開催し、夜間休日当番の現状について共有し、体制の継続に向けて協議を行った。また、将来にわたって市民が安心して医療を受けることができる体制の確保に向けて、庁内で部局横断的にプロジェクトチームを設置し、地域医療の現状や課題について情報共有や整理を行った。
⑤徳島県鳴門病院との連携（鳴門病院との連携事業の実施、鳴門市地域医療人材確保事業補助金の運用）を図った

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 電話救急相談利用件数 | 1,108 | 1250 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 156.3 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 58,588,828 | 0 | 62,531,758 | 62,531,758 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 35,360,000 | 0 | 34,440,000 | 34,440,000 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 9,244,000 | 0 | 11,662,000 | 11,662,000 | 0 |
| | 一般財源 | 13,984,828 | 0 | 16,429,758 | 16,429,758 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業③

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 電話救急相談利用件数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 800 | 件 |
| 実績 | 1,250 | 件 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**：昨年度を上回る利用件数であり、引き続き周知啓発を図る。

◎今後の方向性(ACTION)

事業③

**課題**：市民の安全・安心を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化や診療科目の偏在等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。

**今後の方向性**：☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・夜間休日当番医制度の維持および二次救急をはじめとする地域医療提供体制を確保するため、市医師会等と連携のもと各事業を継続して実施するとともに、適正受診に関する周知啓発を推進する。<br>・将来的な地域医療提供体制の確保に向けて、国や県の支援制度等の状況や新たな地域医療構想の検討状況等を注視しつつ、本市における支援の在り方について検討を進める。 |
| 令和9年度 | 令和8年度に同じ |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 地域福祉の充実 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 誰もがいつまでも安心して快適に暮らせる地域づくりを確立するため、隣近所の助け合い、支え合いなどの地域における住民活動を基盤とし、安心して暮らせる環境を住民みんなの力で築き上げ、地域共生社会の実現を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 包括的な支援体制整備事業 | **担当部署** | 健康福祉部 社会福祉課 | | |
| **実施方針** | ①庁内横断的な相談会議の継続<br>②重層的支援体制整備事業の検討<br>③第2期鳴門市地域福祉計画の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 77 | 77 | 3,200 |

**事業内容（R7）**

①庁内横断的な相談会議の継続
・誰ひとり取り残さない相談支援を実施するため、属性、世代、相談内容に関わらず、庁内関係部署間等の横断的な情報共有の会議を前年に引き続き実施する。
②重層的支援体制整備事業の検討
・制度化から3年が経過し、重層事業を実施する自治体においても、課題が多くみられる。こうした中、本市としては既存の事業を十分に活用し、ネットワークを強化することによる包括的支援体制を推進することにより、実質的な重層支援の実現につなげることを目標とする。
③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理）
・令和5年度からスタートした「第2期鳴門市地域福祉計画」に基づき、地域住民・団体等からなる評価委員会において進捗を図る。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 庁内横断的な相談会議参加団体数 | 26 | 34 | 34 | 34 | 34 | 団体 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 77 | 0 | 77 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

| | |
|---|---|
| 事業実施内容（R7） | ①庁内横断的な相談会議の設置<br>・誰ひとり取り残さない相談支援体制を整備するため、属性、世代、相談内容に関わらず、庁内関係部署間等の横断的な情報共有の会議を開催し、関係部署における事例等を紹介しながら、庁内関係部署間での連携強化が図れるよう各役割や個人情報の取り扱い等についての確認を行った。<br>②重層的支援体制整備事業の検討<br>・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、国が創設している「重層的支援体制整備事業」について、研究や調査等を行った。<br>③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理）<br>・「第2期鳴門市地域福祉計画」の評価会議を開催し、現状の取り組みについて報告を行い、地域住民・団体からなる評価員等から意見等を聴取し、評価指標について確認を行った。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 庁内横断的な相談会議参加団体数 | 28 | 27 | 32 | 32 | 32 | 団体 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 79.4 | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 計 | 15,000 | 0 | 25,000 | 25,000 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 15,000 | 0 | 25,000 | 25,000 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 庁内横断的な相談会議参加団体数 | 成果指標に対する所見 | 誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを作ることにより、連携体制の基礎を作ることができた。 |
| | 目標 | 34 団体 | | |
| | 実績 | 27 団体 | | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

| | |
|---|---|
| 課題 | 各相談支援ネットワークの調整機能の強化などを通して、高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者という縦割りの分野を超えて、様々な相談を包括的に受け止め、関係部署や関係機関が一体となって必要な支援を行うことが出来るよう、関係部署の役割の再確認や各ケース事の個人情報等の取り扱いについて、支援体制の整備を進める必要がある。 |

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | ☐ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を定期開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを深め、連携を深めつつ相談支援にあたる。 |
| | 令和9年度 | 継続実施 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 高齢者が暮らしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 高齢者が住み慣れた地域で、みんなで支え合いながら健康で安全安心な暮らしを自分らしくいきいきと尊厳をもって送ることができるまちづくりを推進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業） | **担当部署** | 健康福祉部 長寿介護課 | | |
| **実施方針** | ①介護予防・生活支援サービス事業を推進する<br>②効果的な介護予防事業を展開する | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 238,779 | 238,779 | 238,779 |
| **事業内容（R7）** | ①介護予防・生活支援サービス事業の推進<br>多職種による訪問介護・生活支援サービスを推進する。<br><br>②効果的な介護予防事業の展開<br>・住民主体の通いの場である「いきいきサロン」の開設及び活動の活性化を支援する。<br>・データ分析に基づく介護予防推進事業を実施するなど、効果的な介護予防事業の充実を図る。<br><br>③鳴門市版フレイル予防の推進<br>フレイルサポーターの活用を図るとともに、フレイルチェックや体成分分析装置による筋肉・栄養状態の分析、個別指導を行い、フレイル予防の推進を図る。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護（要支援）認定率を20%以内にする | 19.2 | 19.2 | 19.5 | 19.5 | 19.5 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 238,779 | 252 | 239,031 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①介護予防・生活支援サービス事業の推進
　徳島県作業療法士会をはじめ、多職種と連携して介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図った。
②効果的な介護予防事業の展開
　令和7年度に1か所のいきいきサロンを開設し、令和7年度末で60か所となり、これらいきいきサロンに対し、専門職等の派遣や体力測定の実施、InBody測定の実施などを行うことにより、各いきいきサロンの活動支援を行った。
　また、運動系の各種介護予防教室の開催に加え、新たに運転寿命延伸を目的とした「シニア向けセーフティドライバー教室」や市内事業者と連携し、趣味系介護予防教室として「男の珈琲教室」や「かんたんスマホ写真講座」を開催するなど、介護予防事業の充実を図った。
　さらに、日々の運動や脳トレ、食事チェックなどを行うことによりポイントが貯まり、貯まったポイントを「うずとく商品券」に交換できる「健康ポイント事業」を実施し、市民の運動習慣の定着と健康意識向上を図った。
③鳴門市版フレイル予防の推進
　各サロンにおけるInBody測定、体力測定などの実施から、フレイルの兆候が見られる方への個別指導を行った。また、いきいきサロン等でフレイルチェック等を行うフレイルサポーターの養成講座を実施した。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 要介護（要支援）認定率を20%以内にする | 19.8 | 20.2 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 96.4 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 215,380,086 | 0 | 213,284,500 | 213,284,500 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 73,396,839 | 0 | 73,127,738 | 73,127,738 | 0 |
| | 県支出金 | 26,801,149 | 0 | 25,903,586 | 25,903,586 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 56,375,733 | 0 | 58,422,623 | 58,422,623 | 0 |
| | 一般財源 | 58,806,365 | 0 | 55,830,553 | 55,830,553 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 要介護（要支援）認定率を20%以内にする | |
|---|---|---|
| 目標 | 19.5 | % |
| 実績 | 20.2 | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

目標達成には至らなかったが、様々な視点から高齢者にアプローチする介護予防事業に取り組み、認定率上昇の抑制につなげた。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

　医療保険・介護保険・介護予防事業等のデータ分析・活用により、本市高齢者の特性や課題などの分析結果やエビデンスに基づき、介護予防事業の効果検証を行い、事業効果の向上を図る必要がある。
　また、健康に関心がある層だけでなく、無関心層にもアプローチできるよう、新たな視点から介護予防事業に取り組み、要介護認定率の低位安定や新規介護認定の平均年齢の引き上げに繋げる必要がある。

**今後の方向性**

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 引き続き「いきいきサロン」の支援を継続するとともに、趣味系の介護予防教室を拡充するなど、様々なアプローチの介護予防事業を展開する。<br>また、健康ポイント事業においては、若年層から健康意識の向上を図ることを目的に、40歳以上へ対象者を広げるなど、幅広い層へのアプローチを行い、健康寿命の延伸や要介護認定率の低位安定、新規介護認定の平均年齢の引き上げを目指す。 |
| 令和9年度 | 引き続き、介護予防事業の推進に取り組む。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 4 | 障がい者が暮らしやすいまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 障がい者が住み慣れた地域で、安心して社会生活を営むことができるよう、相談体制の充実や障害福祉サービス等の提供、就労支援、障がい児支援の充実を図ります。また、生活しやすい環境づくりや支え合う体制づくりを推進することで、障がい者の社会参加を促進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 地域生活支援事業 | **担当部署** | 健康福祉部 社会福祉課 | | |
| **実施方針** | ①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。<br>②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 96,956 | 96,956 | 96,956 |
| **事業内容（R7）** | ①必須事業<br>相談支援事業（基幹相談支援センター）、障がい者相談支援事業（委託相談支援等）、移動支援事業、理解促進研修・啓発事業、社会活動支援事業、成年後見制度利用支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業<br><br>②任意事業<br>日中一時支援、福祉ホーム利用費助成、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行　等 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数 | 12,242 | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 96,956 | 2,137 | 99,093 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

| 事業実施内容（R7） | |
|---|---|
| | ①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。<br><br>②任意事業・・・日中一時支援,、福祉ホーム事業、声の広報制作事業等。<br><br>③その他・・・鳴門市地域共生センターの開館にあわせ、基幹相談支援センターを地域共生センター内に移転し、相談支援事業等の拠点の集約化を図った。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数 | 12,491 | 12,148 | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 件 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 93.4 | ー | ー | ー | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | **91,362,903** | **0** | **92,476,158** | **92,476,158** | **0** |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 13,389,000 | 0 | 13,573,000 | 13,573,000 | 0 |
| | 県支出金 | 6,678,000 | 0 | 6,770,000 | 6,770,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 71,295,903 | 0 | 72,133,158 | 72,133,158 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数 | 成果指標に対する所見 | 相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。複雑な事案についても、基幹相談支援センターを中心に対応できており、目標は概ね達成している。 |
| | 目標 | 13,000 件 | | |
| | 実績 | 12,148 件 | | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

| 課題 | |
|---|---|
| | ○共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。<br>○困難事例も含めた多様な相談に対応できる相談支援体制の強化が必要。<br>○基幹相談支援センターを中心とした 地域生活支援拠点の機能の強化が必要。<br>○障がい者等の権利擁護及び意思決定支援の推進が必要 |

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に、支援者向けの研修等の実施による障がい者への相談支援体制の強化や、障がい者への理解促進に向けた啓発活動について検討・実施していく。 |
| | 令和9年度 | 継続実施 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 4 | 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
| **実施計画名** | 5 | 社会保障の確保 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 国民健康保険など各種社会保険制度の安定的な運営に努めるとともに、国民年金制度の周知・啓発にも取り組んでいきます。また、生活保護受給世帯や生活困窮世帯など、経済的に困窮している方々が安定した生活を送ることができるように、自立に向けて適切な支援を行っていきます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 生活困窮者自立支援事業 | **担当部署** | 健康福祉部 社会福祉課 | | |
| **実施方針** | ①自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施<br>②住居確保給付金の支給<br>③子どもの学習・生活支援事業の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 30,087 | 30,087 | 30,087 |
| **事業内容（R7）** | ①必須事業である自立相談支援事業（鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」）に加え、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施<br>②離職等により住居を失った又はその恐れがある者、家計改善のための家賃の低廉な住宅への転居のための住居確保給付金の支給事業の実施<br>③子どもの学習・生活支援事業の実施<br>【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者<br>1．生活保護受給世帯　2．自立相談支援センターへの相談者が属する世帯　3．ひとり親世帯のうち非課税世帯<br>4．児童養護施設入所者世帯　5．児童扶養手当受給世帯　6．就学援助受給世帯　7．その他市長が認める世帯 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 「よりそい」における新規相談件数 | 136 | 180 | 180 | 180 | 180 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| 事業費推移（千円） | 30,087 | 0 | 30,087 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①必須事業である自立相談支援事業（鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」）に加え、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施
・自立相談支援事業を軸に、相談者の課題に応じ就労準備支援事業（長期無職）家計改善支援事業（家計の収支バランスが悪い等）を一体的に実施することで、より効果的な相談支援を行うとともに、ハローワーク・生活保護制度・障がいサービス相談機関等への繋ぎ、協働による支援を実施。さらに外出が困難な相談者には、訪問支援や加えて複雑・複合化した課題を抱える相談者には、支援プランを策定。また、関係機関との強化・連携を図るため、個別支援調整会議を月1回開催。
・その他の取り組みとして、食糧支援活動（フードバンク）や無料弁護士相談を実施。
②離職等により住居を失った又はその恐れがある者への住居確保給付金の支給
・制度活用の相談支援は「よりそい」で実施し、計6件の相談があったが、いずれも支給要件を満たさず申請に至らなかった。
③子どもの学習・生活支援事業の実施
・週1回、市内5か所において、子どもに対する、学校の勉強の復習、宿題の習慣づけに加え、保護者にも家庭における学習環境を整えるための助言等の支援を実施。
・R7年度は36名の生徒利用があり、中学卒業者の進路実績（進学率）は前年度同様100%を達成。また、生活支援として食事交流会（調理実施含む）を実施し、22名の利用があった。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 「よりそい」における新規相談件数 | 176 | 156 | 156 | 156 | 156 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 86.7 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 28,454,185 | 0 | 29,243,000 | 29,243,000 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 18,587,500 | 0 | 19,129,500 | 19,129,500 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 9,866,685 | 0 | 10,113,500 | 10,113,500 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 「よりそい」における新規相談件数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 180 | 件 |
| 実績 | 156 | 件 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

成果指標の新規相談件数は目標を達成できなかったが、国が示すKPI（月13件、年間156件）は、達成していることや、新規相談者以外の継続支援者における包括的な支援は実施されていることから、総合的に判断して概ね目標は達成できている。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

生活困窮者の相談は特に中高年層が多く、複合的な課題を抱えるケースが目立っており、昨今の物価高騰や複雑・多様化した社会問題、孤立や生活不安などが背景に潜んでいる。課題解決には長期間にわたる伴走型支援の継続、アウトリーチ支援の体制が重要である。また、自立相談支援事業に加え、就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しているものの、障がいや疾病により医療や福祉サービスの活用が同時に必要となる場合もあることから、他機関との連携により課題解決を図る体制整備も必要である。
また、市民や庁内外関係機関に対して継続的に「よりそい」の活動を周知し、生活困窮者の自立に向けた丁寧な支援を積み重ねることが必要である。

**今後の方向性**

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 現在の実施している各事業を継続実施していくとともに、国・県が実施する研修への積極的な参加により専門性を高めるほか、支援調整会議等を通じて他機関との連携を強化するなど、複雑化・多様化した生活困窮者が抱える諸課題に対応できる相談支援体制を構築していく。 |
| 令和9年度 | 令和8年度の実施状況に応じて明らかになる課題に対し、専門性の強化や他機関連携により、より強固な相談支援体制を構築していく。<br>また必要に応じ、国の補助事業を最大限に活用しつつ、新たな支援事業の導入を研究していく。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 活力ある商工業の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。<br>サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 地域産業活性化推進事業 | **担当部署** | 未来戦略局 企画政策課、産業振興部　商工政策課 | | |
| **実施方針** | ＜ふるさと納税の推進＞<br>①道の駅「くるくる なると」管理運営事業者との連携<br>②商品開発による記念品拡充と地場産品のPR推進<br>③ポータルサイト等での情報発信の強化<br>＜地元中小企業の支援＞<br>④エコノミックガーデニングの推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 530,348 | 595,699 | 661,050 |

**事業内容（R7）**

①道の駅との業務連携
・道の駅と連携し、地場産品を活用した商品開発を推進する。
・ふるさと納税業務の委託による業務円滑化や寄附者対応の柔軟性向上により、効率的な事業体制を構築する。
②記念品の拡充による鳴門の地場産品PRの推進
・市内事業者等への新規掲載提案を行う。
・地場産品を用いた新規商品ブランドの開発および展開に注力する。
③ポータルサイト等での情報発信の強化
・サイト内プロモーションやキャンペーン等による、市全体のシティプロモーションや地場産品のPRを行う。
④寄附金の事業化の推進
・ふるさと納税3.0などのクラウドファンディング事業の活用を図り、寄附者の意向に基づく適正な事業化を推進する。
⑤エコノミックガーデニングの推進
・企業訪問を実施するとともに、がんばる中小企業応援パッケージにより、市内事業者を支援する。

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ふるさと納税寄附金額 | 730,640 | 730,000 | 800,000 | 900,000 | 1,000,000 | 千円 |
| | がんばる中小企業応援パッケージ補助件数 | 12 | 10 | 10 | 10 | 10 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 530,348 | 2,774 | 533,122 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①道の駅（地域商社）と連携し、道の駅の売れ筋品をふるさと納税返礼品として取り扱った。
②継続的に事業者からの提案を受け入れ、記念品の拡充を行うことで、鳴門の地場産品PRの推進を図った。
③ポータルサイト内の情報発信力強化を目的としたSEO対策、サムネイル改善を継続して実施したり、
　利用可能なポータルサイトを拡充したりするなど、幅広い寄附者層の獲得に取り組んだ。
④5件のクラウドファンディング型ふるさと納税事業を採択し、寄附金の事業化を行った。
⑤市内企業訪問を実施し、市内事業所の現状や課題を把握し、国・県・市の支援制度の情報提供等を行った。
　中小企業振興施策検討委員会を開催し、産学公民金の有識者から多様な意見を聴取し、効果的な施策の推進を検討した。
　がんばる中小企業応援パッケージ事業により、市内事業者の事業拡大・創業促進・販路開拓・知財取得にかかる支援を行った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ふるさと納税寄附金額 | 714,130 | 642,032 | 800,000 | 900,000 | 1,000,000 | 千円 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 80.3 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| がんばる中小企業応援パッケージ補助件数 | 12 | 11 | 10 | 10 | 10 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 110.0 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 439,073,099 | 0 | 383,526,278 | 383,526,278 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 439,073,099 | 0 | 377,484,599 | 377,484,599 | 0 |
| | 一般財源 | 0 | 0 | 6,041,679 | 6,041,679 | 0 |

◎評価（CHECK）

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

事業①

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | ふるさと納税寄附金額 | |
|---|---|---|
| 目標 | 800,000 | 千円 |
| 実績 | 642,032 | 千円 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

| 指標名 | がんばる中小企業応援パッケージ補助件数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 10 | 件 |
| 実績 | 11 | 件 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

ふるさと納税の制度改正により仲介サイトによるポイント付与が全面禁止となり、寄附額は目標額より下回った。寄附金額増加に向けた取り組みへの見直し・改善等を図る必要がある。

がんばる中小企業応援パッケージ事業を通じて、地元事業者が実施する事業拡大や創業促進、販路開拓事業等を支援し、目標を超える成果に結びつけることができた。

計　**総合評価**：B:概ね目標を達成できた

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | ＜ふるさと納税の推進＞<br>寄附金の実績に関して、県内では上位に位置するものの全国的に見ると高い水準とは言えないので、<br>今後も魅力ある商品の開発や情報発信の強化などに継続して取り組む必要がある。<br>＜地元中小企業の支援＞<br>企業訪問を通じて市内事業者の実態把握やニーズの掘り起こしを行い、新たな取り組みの支援や企業間連携の促進などにより、地元企業の成長につなげていく必要がある。 | | | | |
| | 今後の方向性 | | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☐ 3.現状維持 | ☑ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | ＜ふるさと納税の推進＞<br>・ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。<br>＜地元中小企業の支援＞<br>・市内企業訪問の実施<br>・中小企業振興施策検討委員会の開催<br>・がんばる中小企業応援パッケージ事業による事業者支援 | | | |
| | | 令和9年度 | ＜ふるさと納税の推進＞<br>・ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。<br>＜地元中小企業の支援＞<br>・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定。 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 活力ある商工業の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。<br>サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **事業名** | 企業誘致推進事業 | **担当部署** | 産業振興部 商工政策課 |
| **実施方針** | ①企業誘致活動の実施<br>②企業立地候補地のリスト化・条件整備<br>③サテライトオフィス誘致<br>④立地企業への支援 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度：8,683<br>令和8年度：8,683<br>令和9年度：8,683 |
| **事業内容（R7）** | ①企業誘致活動の実施<br>・徳島県や金融機関、デベロッパー等との連携、県内・市内企業訪問の実施<br>・製造業だけでなく、情報通信関連産業、地域活性化につながる商業施設など、幅広く誘致活動を展開<br>②企業立地候補地のリスト化・条件整備<br>・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意向確認を進めるなど、進出検討企業に提案できる条件整備を推進<br>・旧大麻学校給食センターなど公共施設の有効活用<br>・製造系人材派遣会社等の教育・研修施設誘致<br>③サテライトオフィス誘致<br>・地方進出に興味・関心のある都市部企業とのマッチングイベントに参加<br>・都市部企業と地元企業のマッチングにより新たなビジネスを創出<br>・地元企業紹介等、企業誘致専用WEBサイト「NARUTO.biz」による情報発信<br>④立地企業への支援<br>・企業立地奨励条例による税制支援・補助金交付<br>・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金の交付<br>⑤スタートアップ誘致<br>・「NARUTO CONNECT」の開催など、スタートアップ企業の実証実験の場として本市での事業活動を支援<br>・鳴門市応援スタートアップ制度「なるスタ」の運用 | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 企業誘致件数（サテライトオフィス含む） | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 件 |
| | 市内で活動するスタートアップ企業数 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 8,683 | 0 | 8,683 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

| | | |
|---|---|---|
| 事業② | 事業実施内容（R7） | ・徳島県や金融機関等と連携し、さまざまな業種の立地検討企業へ情報提供・相談対応を行うなど、幅広く誘致活動を展開した。<br>・製造業の企業立地に向け、製造系人材派遣サービス企業の教育・研修施設を誘致し、連携して誘致活動を実施した。<br>・若い世代や女性を中心とした雇用創出を図るため、情報通信関連産業の企業誘致を行った。<br>・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意向確認など、進出検討企業に候補地を提案できるよう条件整備を行った。<br>・サテライトオフィス誘致に向け、マッチングイベントに参加し、立地促進を図った。<br>・スタートアップの本市進出に向け、市内での事業活動を検討してもらうプログラム「NARUTO CONNECT」を開催した。<br>・鳴門市応援スタートアップ制度「なるスタ」の運用により、本市へ進出したスタートアップの定着を支援した。<br>・立地企業等への支援として、4社にサテライトオフィス等誘致支援事業補助金を交付した。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 企業誘致件数（サテライトオフィス含む） | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 件 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ― | ― | ― | % |
| | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| | 市内で活動するスタートアップ企業数 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 件 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 9,437,204 | 0 | 5,625,662 | 5,625,662 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 3,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 6,437,204 | 0 | 5,625,662 | 5,625,662 | 0 |

◎評価（CHECK）

| | 今年度の進捗状況 | | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業② | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 企業誘致件数（サテライトオフィス含む） | | 成果指標に対する所見 | 製造系人材派遣会社の事務所兼教育研修施設、主にコールセンター事業を展開する企業の2社を旧教育委員会棟へ誘致し、目標を達成できた。 |
| | | 目標 | 2 | 件 | | |
| | | 実績 | 2 | 件 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 市内で活動するスタートアップ企業数 | | | マッチングイベントの開催、スタートアップの集積拠点としてインキュベーション施設を運営するなど、積極的にスタートアップの誘致に取り組むことで、目標を達成できた。 |
| | | 目標 | 2 | 件 | | |
| | | 実績 | 2 | 件 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業② | 課題 | 本市に2箇所ある産業団地は全区画分譲済であり、新たに企業立地が可能な候補地についてリストアップをすすめるとともに、土地利用にかかる所有者の意向確認をはじめ、検討企業に提案できる条件整備を行っていく必要がある。 | | | |
| | 今後の方向性 | □1.廃止 | □2.要改善 | □3.現状維持 | ☑4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | ・徳島県や金融機関等と連携し、製造業や商業施設、情報通信関連産業など幅広く誘致活動を展開<br>・協定を締結した製造系人材派遣サービス企業と連携し、製造業の企業誘致を推進<br>・宅建協会と連携し、立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意思確認を実施<br>・マッチングイベントへの参加やオンライン商談・視察受入れなど、サテライトオフィスを誘致<br>・企業立地奨励条例・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金による税制支援・補助金の交付<br>・スタートアップ誘致に向け、インキュベーション施設を運営するとともに、マッチングイベントを開催 | | |
| | | 令和9年度 | ・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定 | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 魅力ある農林水産業の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。<br>また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 鳴門ブランド強化事業（農業） | **担当部署** | 産業振興部 農林水産課 | | |
| **実施方針** | ①地域農業の担い手の育成・確保<br>②農産物のブランド化の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 73,805 | 70,805 | 70,805 |
| **事業内容（R7）** | ①地域農業の担い手の育成・確保<br>・認定農業者の育成・確保、新規就農者への支援<br><br>②農産物のブランド化の推進<br>・鳴門ブランドの推進<br>・農産物の六次産業化への支援<br>・コウノトリブランド認証制度の推進 | | | | |

| | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 担い手確保（認定農業者数） | 427 | 429 | 434 | 439 | 444 | 件 |
| | 農漁業六次産業化推進事業の取組（毎年度） | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 73,805 | 25,641 | 99,446 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

①地域農業の担い手の育成・確保
・市内各JA・県・農業支援センターと連携し、認定農業者の認定更新の推進を行い、また、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。
・国の補助制度を活用しながら、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。
②農産物のブランド化の推進
・鳴門ブランド農産品を確立、ブランド産地の生産振興を図るため、「れんこん食害対策」への取組や「鳴門市ブランド産地振興補助金」による、かんしょ・れんこん・梨の栽培農家への支援を行った。また、「鳴門市経営基盤強化支援事業補助金」により、JAや担い手への支援を実施した。
・「農漁業六次産業化推進支援事業補助金」により、農産物の加工品への開発支援を行った。また、関西方面への市場や量販店でのフェアを実施した。
・コウノトリブランド認証制度の周辺対策事業として協議会と連携し、巣周辺の点検・見回りを行った。また、本庁舎で特別展示を行い、パネルや住民票に加えてコウノトリの剥製の展示を行った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 担い手確保（認定農業者数） | 420 | 424 | 439 | 444 | 449 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 97.7 | ー | ー | ー | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 農漁業六次産業化推進事業の取組（毎年度） | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 31,390,540 | 15,292,000 | 72,680,435 | 87,972,435 | 16,126,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 15,292,000 | 31,465,000 | 46,757,000 | 12,085,000 |
| | 県支出金 | 19,500,000 | 0 | 24,600,000 | 24,600,000 | 4,041,000 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1,851,655 | 0 | 14,106,914 | 14,106,914 | 0 |
| | 一般財源 | 10,038,885 | 0 | 2,508,521 | 2,508,521 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 未達成 | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 担い手確保（認定農業者数） | |
| 目標 | 434 | 件 |
| 実績 | 424 | 件 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 農漁業六次産業化推進事業の取組（毎年度） | |
| 目標 | 1 | 件 |
| 実績 | 1 | 件 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

目標を到達することができなかったが、今後も各JA・県・農業支援センターと連携しながら、認定農業者数の増加に向けた取組を進めていく

目標到達することはできたが、引き続き六次産業化の推進に向け、広く周知を図っていく

計　総合評価：B:概ね目標を達成できた

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

本市農業の課題である、「地域農業の担い手の育成・確保」に向け、市内JAや県、支援センターと連携し、引き続き取組を進めていく必要がある。また、「農産物のブランド化の推進」についても、課題解決に向け、引き続き対策を進めていく必要がある。

**今後の方向性**

☐1.廃止　☐2.要改善　☑3.現状維持　☐4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | 令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。 |
| 令和9年度 | 令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | 魅力ある農林水産業の振興 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。<br>また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 鳴門ブランド強化事業（水産） | **担当部署** | 産業振興部 水産振興室 | | |
| **実施方針** | ①担い手の育成・確保<br>②水産資源の保全<br>③漁業経営の安定化とブランド化の推進<br>④漁業生産基盤の整備 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 38,506 | 19,476 | 19,476 |
| **事業内容（R7）** | ①担い手の育成確保<br>・鳴門市うずしお漁業者青年部の活動支援<br>②水産資源の保全<br>・掃海事業の実施<br>・海岸漂着ごみ対策<br>・種苗放流等への支援<br>③漁業経営の安定化とブランド化の推進<br>・ブランド化の推進<br>・地産地消の推進<br>④漁業生産基盤の整備<br>・漁業施設の維持管理<br>・漁協への支援 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等） | 190 | 178 | 178 | 178 | 178 | 件 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 38,506 | 30,550 | 69,056 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①担い手の育成確保
・「鳴門市若手漁業者人材育成事業」として、市内の若手漁業者で組織する「鳴門市うずしお漁業者青年部」の活動支援を行った。
（経営改善に係るセミナーを実施）
②水産資源の保全
・掃海事業を実施し、漁業者による日々の持ち帰りごみの処理に対する支援を行った。
・水産多面的機能発揮対策事業として、海岸漂着ごみの清掃作業に対する支援を行った。
・徳島県漁業協同組合連合会や市内漁協が実施する種苗放流事業に対し、支援を行った。
③漁業経営の安定化とブランド化の推進
・国内親善都市である群馬県桐生市において、鳴門わかめのPRを行った。
・鳴門市地産地消推進補助金によるイベントの開催支援を行うことにより、地産地消の推進を図った。
④漁業生産基盤の整備
・市内漁協が実施する共同利用施設の整備に対し支援を行った。
⑤海業の推進
・「鳴門の海業」推進交付金により、漁協における活動への支援を行った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等） | 178 | 169 | 169 | 169 | 169 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 94.9 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 15,215,015 | 4,759,000 | 43,454,512 | 48,213,512 | 11,400,000 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 4,759,000 | 0 | 4,759,000 | 6,400,000 |
| | 県支出金 | 1,379,000 | 0 | 2,150,000 | 2,150,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 18,700,000 | 18,700,000 | 0 |
| | その他 | 2,633,960 | 0 | 8,755,010 | 8,755,010 | 0 |
| | 一般財源 | 11,202,055 | 0 | 13,849,502 | 13,849,502 | 5,000,000 |

◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | 成果指標に対する所見 |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等） | | 漁業者の高齢化による経営体数の減少は進んでいるが、各種施策の推進により、経営体数の維持を図ることができた。 |
| 目標 | 178 | 件 | |
| 実績 | 169 | 件 | |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

市内水産業における課題である、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」に対し、市内漁協や徳島県、徳島県漁業協同組合連合会とも連携し、引き続き対策を進める必要がある。
また、国において新たに推進されている「海業」についても、市内漁協における取組の活性化を図る必要がある。

| 今後の方向性 | ☐ 1.廃止 | ☐ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | ☐ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | |
|---|---|
| 令和8年度 | 令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。<br>また、国において新たに推進されている「海業」についても、市内漁協における取組の推進に向けた支援を行う。 |
| 令和9年度 | 令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。<br>また、国において新たに推進されている「海業」についても、市内漁協における取組の推進に向けた支援を行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 地域資源を活かした観光のまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。<br>また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 観光振興事業 | **担当部署** | 産業振興部 観光振興課・スポーツ推進課、未来戦略局 企画政策課 | | |
| **実施方針** | ①滞在型観光の推進<br>②情報発信強化<br>③国内外観光客の受入環境整備<br>④四国内外からの交流人口の増加・市内の賑わい創出<br>⑤スポーツによる交流人口の増加と地域間交流の創出 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 38,423 | 28,923 | 27,603 |

**事業内容（R7）**

⑴滞在型観光の推進
　①ナイトタイムコンテンツ造成推進事業
　②二次交通の充実に向けた施策（レンタカー、シェアカー等）
　③世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業
　④なると満喫アクティビティ事業（市内アクティビティのプロモーション整備、イベント開催　等）
⑵情報発信強化
　①公式観光サイト等による国内外への情報発信
⑶国内外観光客の受入環境整備
　①観光客受入環境整備推進事業
⑷四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業
　①交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備や改修、本プロジェクトを推進するために実施されるイベント等に対し補助金を交付する
⑸スポーツによる交流人口の増加と地域間交流の創出
　①スポーツ大会・合宿誘致開催事業
　②プロスポーツ連携事業

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鳴門市観光入込客数 | 322 | 320 | 340 | 340 | 350 | 万人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 38,423 | −1,171 | 37,252 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

**事業実施内容（R7）**

(1)滞在型観光の推進
・夜及び早朝の観光コンテンツを造成した事業者に対する補助事業を実施した。
・市内二次交通の充実や市内での宿泊を促すため、レンタカー利用者への宿泊費助成事業を実施した。
・鳴門市内におけるシェアカーの導入を推進した。
・南あわじ市及び両市の事業者等と共同で「食」を通じた誘客事業を実施し、「うずの幸グルメ」、「カップイングルメ」のプロモーション、地域の食を語る人材育成を行った。
・アクティビティフェスの開催やパンフレット制作など、市内のアクティビティコンテンツのPRやパッケージ化を図った。
(2)情報発信強化
・市公式観光サイトによる観光コンテンツの情報発信、訪日最大級メディアを通じた記事投稿を行った。
(3)国内外観光客の受入環境整備
・観光関連事業者の観光客受入環境整備や誘客事業に活用できる補助事業を実施した。
(4)四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業
・本プロジェクトを推進するため、中央ゲートに位置付けている観光情報センターにおいて、賑わい創出を図るためのイルミネーションイベントや大鳴門橋自転車道完成のPRを行う鳴門市観光コンベンション㈱へ補助金を交付した。
(5)スポーツによる交流人口の増加と地域間交流の創出
・NARUTOスポーツコミッションと連携し、戦略的な誘致活動を展開した。関西圏の旅行代理店への訪問営業や、ウェブ、パンフレットでの情報発信を行った。新たに大会・合宿向けの助成金を創設したほか、観光PRも組み合わせることでスポーツツーリズムを推進し、誘致力を強化した。
・幼児・小学生を対象に、運動の楽しさを伝え、基礎的な運動能力の向上と健全な心身の育成を目的として、徳島ヴォルティス巡回指導教室を開催。プロのコーチによる指導・交流で運動習慣の定着を促すとともに、観戦招待等により来訪・消費の拡大とシビックプライド醸成につなげる地域活性化を推進した。このほか、市民デー等の開催などを通じて機運醸成に努めた。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 鳴門市観光入込客数 | 345 | 376 | 375 | 380 | 390 | 万人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 110.6 | － | － | － | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 9,281,086 | 0 | 33,243,236 | 33,243,236 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 1,350,000 | 0 | 11,105,000 | 11,105,000 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 2,314,000 | 0 | 1,417,000 | 1,417,000 | 0 |
| | 一般財源 | 5,617,086 | 0 | 20,721,236 | 20,721,236 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | | 成果指標に対する所見 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 指標名 | 鳴門市観光入込客数 | | | 各事業については計画どおり実施することができ、目標を達成することができた。 |
| | 目標 | 340 | 万人 | | |
| | 実績 | 376 | 万人 | | |
| | 評価 | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

<table>
<tr><td rowspan="4">事業①</td><td>課題</td><td colspan="4">(1)滞在型観光の推進<br>　大鳴門橋自転車道開通を見据え、南あわじ市との広域観光ブランディング事業など、その取り組みを加速させる必要がある。<br>(2)情報発信強化<br>・市内における観光コンテンツについて、ウェブメディアを通じた積極的な記事投稿を行う。<br>(3)国内外観光客の受入環境整備<br>・施策の効果を最大化するため、複数の観光関連事業者が連携して誘客や受入環境整備に取り組む環境整備が必要である。<br>(4)四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業<br>　・事業効果を高められるよう、制度の活用にあたっては引き続き交流拠点施設（ゲート）を運営する事業者等と十分に協議を行い、事業計画段階からの支援に努める。<br>(5)スポーツによる交流人口の増加と地域間交流の創出<br>　①スポーツ大会・合宿誘致開催事業<br>　スポーツ施設や宿泊施設が不足している状況にある。<br>　②プロスポーツ連携事業<br>　徳島ヴォルティス、徳島インディゴソックス、徳島ガンバロウズと、本市で試合が開催されるプロチームが3チームあるため、今後チームとのさらなる連携が必要である。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>☐1.廃止</td><td>☐2.要改善</td><td>☑3.現状維持</td><td>☐4.拡充</td></tr>
<tr><td colspan="5">↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td>令和8年度</td><td colspan="3">(1)滞在型観光の推進<br>　・世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業<br>　・なると満喫アクティビティ事業<br>(2)情報発信強化<br>　・市公式観光サイト、SNS等を活用した国内外への情報発信<br>(3)国内外観光客の受入環境整備<br>　・複数の観光関連事業者が連携して取り組む誘客や受入環境整備を支援<br>(4)四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業<br>　・交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備や改修、本プロジェクトを推進するために実施されるイベント等に対し補助金を交付する<br>(5)スポーツによる交流人口の増加と地域間交流の創出<br>　①スポーツ大会・合宿誘致開催事業<br>　引き続き、ウェブサイトでの大会・合宿誘致のPRをはじめ、ポスターやパンフレット等を作成し、周知を行う。<br>　②プロスポーツ連携事業<br>　各チームと連携して応援機運醸成を図り、地域がより一層にぎわうよう取り組む。</td></tr>
<tr><td></td><td>令和9年度</td><td colspan="3">前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。</td></tr>
</table>

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 5 | 活力あふれるまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 地域資源を活かした観光のまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。<br>また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | サイクリング推進事業 | **担当部署** | 産業振興部 スポーツ推進課 | | |
| **実施方針** | 2027年度完成予定の大鳴門橋自転車道を見据え、サイクリストの裾野拡大や機運醸成、受入環境整備などに取り組みます。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 11,729 | 11,729 | 11,729 |

**事業内容（R7）**

①サイクリストの裾野拡大や機運醸成
・SNS等を活用したサイクリング情報の周知
・サイクリスト、企業等団体の活動への支援
・「なるとサイクリングの日」、「なるとサイクリング月間」関連イベントなどの実施
・「Naruto Cycle Ambassador」と連携した情報発信 等

②受入環境整備
・シェアザロードの周知啓発
・サイクリスト受入環境整備補助金の活用
・大鳴門橋自転車道を起点とするサイクリングコースの検討
・自転車活用推進計画の見直し

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 関連イベントへの参加者数 | 1,613 | 1,300 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 人 |
| サイクリスト受入環境整備補助金活用件数 | ー | 4 | 4 | 4 | 4 | 件 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 11,729 | 0 | 11,729 |

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

・公式インスタグラム等によりイベント情報の告知や市内のサイクリングスポットを紹介した。
・自転車の活用推進に向けた取組みを実施する団体に対し、「ASAサイクリングツーリズム推進事業補助金」を交付した。
・11月の「なるとサイクリング月間」において、11月3日の「なるとサイクリングの日」にサイクリングイベントを開催し、「株式会社メリダジャパン」と連携したイベントも実施した。
・シェアザロードに関して、イベントや交通安全週間に合わせて周知・啓発活動を行った。
・令和6年度よりサイクリスト受入環境整備補助金を創設し、サイクリストの受入環境の整備を行う事業者を支援した。
・サイクルアンバサダーと連携し、オリジナルサイクリングコース作成に向けて、市内のスポット等を調査した。

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 関連イベントへの参加者数 | 1,414 | 1,405 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 70.3 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| サイクリスト受入環境整備補助金活用件数 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 50.0 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算 ※令和5年度からの繰越額を含む | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| 計 | | 7,751,768 | 0 | 6,895,480 | 6,895,480 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 6,091,690 | 0 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 |
| | 一般財源 | 1,660,078 | 0 | 5,895,480 | 5,895,480 | 0 |

◎評価（CHECK）

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 関連イベントへの参加者数 | |
| 目標 | 2,000 | 人 |
| 実績 | 1,405 | 人 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |
| 指標名 | サイクリスト受入環境整備補助金活用件数 | |
| 目標 | 4 | 件 |
| 実績 | 2 | 件 |
| 評価 | C:あまり目標を達成できなかった | |

**成果指標に対する所見**

関係機関や団体等と連携し、サイクリングイベントの周知に努める。

より多くの事業者に活用いただけるよう、制度の周知に努める。

計

| 総合評価 | B:概ね目標を達成できた |
|---|---|

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業② | 課題 | 大鳴門橋自転車道の完成を見据え、徳島県・兵庫県・南あわじ市をはじめとする関係機関との連携を強化しながら、サイクリストの受入環境の整備や、自転車マナーの向上に向けた啓発活動、効果的な広報、サイクリングイベントの開催等を通じて、「自転車フレンドリーなまちづくり」の実現に向けた各種施策を推進していく必要がある。 | | | | |
| | 今後の方向性 | | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑3.現状維持 | □ 4.拡充 |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | ・サイクリング情報の発信やイベントの開催などを通じて、サイクリストの裾野拡大や地域全体の機運醸成に向けた取り組みを継続して実施する。<br>・2027年度の大鳴門橋自転車道完成に向けて、徳島県や南あわじ市などの関係機関と連携を図りつつ、受入環境の整備を推進する。 | | | |
| | | 令和9年度 | 継続 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 市民協働のまちづくり推進事業 | **担当部署** | 市民環境部 市民協働推進課 | | |
| **実施方針** | ①地域コミュニティ活動の活性化<br>②協働・参画への意識醸成 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 19,982 | 19,832 | 19,832 |

**事業内容（R7）**

①地域コミュニティ活動の活性化
- 「地域づくり事業活性化補助金」を活用した地域づくり事業の支援
- 地区自治振興会会長会等の開催による地域との連携強化
- パンフレット作成や「地域づくり強化イベント活性化補助金」を活用した自治会等加入促進事業の支援
- 市民活動団体への支援

②協働・参画への意識醸成
- 市民協働推進本部会議の開催と市民との協働によるまちづくり研修の実施
- 一日鳴門市長体験やコラボ市長室等、市民向け自治基本条例周知啓発事業の実施
- 広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等による情報発信
- 音響機器、テント、車両等の無償貸し出し

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民等との協働事業数 | 161 | 160 | 160 | 160 | 160 | 件 |
| 自治会等への加入率<br>（参考：令和4年度実績　55.6%） | ― | ― | ― | ― | 51.0<br>（令和12年度） | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 19,982 | 0 | 19,982 |

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業①

**事業実施内容（R7）**

①地域コミュニティ活動の活性化
・「地域づくり事業活性化補助金」を活用した各地区の地域づくり事業を支援した。
・地区自治振興会会長会等を開催し、地域との連携強化・情報共有を行うとともに、鳴門のまつりを子どものまちフェスティバルと同時開催。
・新たな住民交流イベントに対し「地域づくり強化イベント活性化補助金」を交付し、自治会等への加入促進及び地域の顔の見える関係づくりを支援した。
・市内小学生、中学生へ町内会加入促進チラシを配布し、町内会等への未加入が多い若い世代への周知に努めた。
②協働・参画への意識醸成
・子ども（小学6年生）向け自治基本条例パンフレットを市内小学校に提供、また市内在住・在学の小学6年生を対象に一日鳴門市長体験を実施し、今後のまちづくりの担い手となる子どもたちの理解を深めた。
・広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等を活用し、市民団体の活動予定や状況などの周知を行い、団体活動のサポートを行うなど、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。
・市民の地域活動を支援するため、公用車、音響機器、テントの備品を貸し出した。
・「一緒にわきあいあいコラボ市長室」を実施し、市内で活動する団体（1団体）と一緒に活動し、意見交換を行った。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民等との協働事業数 | 174 | 181 | 160 | 160 | 160 | 件 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 113.1 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自治会等への加入率<br>（参考：令和4年度実績　55.6%） | ― | 55.6<br>（令和4年度実績） | ― | ― | 51.0<br>（令和12年度） | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 19,118,731 | 0 | 19,699,900 | 19,699,900 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 2,300,000 | 0 | 3,800,000 | 3,800,000 | 0 |
| | 一般財源 | 16,818,731 | 0 | 15,899,900 | 15,899,900 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業①

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 市民等との協働事業数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 160 | 件 |
| 実績 | 181 | 件 |
| 評価 | A:目標を達成できた | |

| 指標名 | 自治会等への加入率（参考：令和4年度実績　55.6%） | |
|---|---|---|
| 目標 | ― | % |
| 実績 | 55.6（令和4年度実績） | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。

R7年度から設定した新しい指標であり、目標設定はR12年度の加入率としたため、目標値は-となっている。加入率調査は行っていないため、R7年度の加入率は不明だが、市内小学生、中学生に町内会加入促進パンフレットを配布するなど、今まで周知できていなかった若い世代にも周知することができたため、B評価とした。

計

| 総合評価 | A:目標を達成できた |
|---|---|

◎今後の方向性(ACTION)

<table>
<tr><td rowspan="5">事業①</td><td>課題</td><td colspan="4">地区自治振興会や町内会・自治会では、役員の高齢化等による担い手不足や、アパート・マンションの増加、ライフスタイルやコミュニケーションツールの変化等による若い世代の町内会・自治会への未加入やコミュニティ活動への参加率の低下などが大きな課題となっている。<br>地区自治振興会会長会などを通じて地域と連携し、担い手育成や地域活動への参加促進を図るための効果的な支援や周知、施策等を検討していく必要がある。</td></tr>
<tr><td colspan="2">今後の方向性</td><td>☐ 1.廃止</td><td>☐ 2.要改善</td><td>☑ 3.現状維持</td><td>☐ 4.拡充</td></tr>
<tr><td colspan="5">↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>令和8年度</td><td colspan="3">・「地域づくり強化イベント活性化補助金」を活用し、新たな住民交流イベントに対して助成を行う。<br>・「町内会加入促進パンフレット」の配布や町内会への取り次ぎを行うなど、加入や地域活動への参加促進に努める。<br>・広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を継続していく。<br>・子どもの参画機会拡大のため、小学6年生を対象に一日鳴門市長体験の開催や自治基本条例パンフレットの活用を進める。<br>・NPO団体等の活動への支援として、備品貸出や市公式ウェブサイト等への情報発信、コラボ市長室の開催などを行う。</td></tr>
<tr><td>令和9年度</td><td colspan="3">令和8年度と同様</td></tr>
</table>

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 1 | 地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 広報戦略推進事業 | **担当部署** | 未来戦略局 未来デザイン総室 | | |
| **実施方針** | ①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施<br>②イメージキャラクター「にゃるひげ」を活用したにゃるひげグッズの展開<br>③写真動画コンテスト実施やイメージアップ冊子制作による更なる市イメージアップの推進<br>④市公式ウェブサイトリニューアルによる利便性の向上<br>⑤インナープロモーションの推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 42,667 | 42,667 | 42,667 |

**事業内容（R7）**

①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施
・広報紙・テレビ広報の構成やレイアウトの工夫
・X、YouTubeなどのSNSを活用した、市内外の若い世代への情報発信を推進するとともに、SNS相互間のミックスメディア、クロスメディアなどの手法を積極的に活用する
②イメージキャラクター「にゃるひげ」を活用したにゃるひげグッズの展開
・市内外の方へ「にゃるひげグッズ」を販売し市のイメージアップ向上を図る
③写真動画コンテスト実施やイメージアップ冊子制作による更なる市イメージアップの推進
・Instagramを活用した参加型プロモーション事業である第10回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の年間を通した実施
・イメージアップ小冊子「鳴門やけん」新刊の発行及び市内外の各施設等への配布、市内の小学校高学年へのダイジェスト版の配布
④市公式ウェブサイトリニューアルによる利便性の向上
・市内部の業務改善を図るとともに、「見やすさ」「親しみやすさ」「利用しやすさ」を重視したウェブサイトの構築
⑤インナープロモーションの推進
市民のシビックプライドの醸成や市の魅力への共感を育み、自ら情報発信源となる活動人口を増やすことなどを目的に、インナープロモーションに取り組む

**成果指標**
対象にどのような効果があったか示す指標

| 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報モニターの肯定的評価<br>（広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値） | 84.7 | 84.9 | 90 | 90 | 90 | % |
| 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | 80.4 | ー | ー | 81 | ー | % |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 42,667 | 0 | 42,667 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容（R7）**

①親しまれるデザインを意識し、広報紙・テレビ広報のレイアウト改善を行った。また、LINE・X（旧Twitter）・YouTube・Instagramなど既存SNSの特性を最大限に活かし、各媒体の強みに応じた効果的な市政情報の発信を行った。
②イメージキャラクター「にゃるひげ」グッズを市内外で販売し、市のイメージアップを図った。
③Instagram参加型企画「Narustagram（第10回）」を年間通して実施するとともに、イメージアップ小冊子「鳴門やけん」vo12及び総集編の新刊を発行・配布し、市の魅力発信を推進した。
④令和8年3月に市公式ウェブサイトをリニューアルした。リニューアルにあたっては、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが手軽に利用できる、見やすく親しみやすいコンテンツが提供できるよう、アクセシビリティに十分配慮した設計を行った。
⑤若者のシビックプライドの醸成と情報発信人口の拡大を目的としたインナープロモーションとして、「0→1 SCHOOL ～ジブン、はじまる。～」と題し、14名の中高生が「鳴門で活躍する大人」というテーマでドキュメンタリー映画の制作に挑戦。脚本から撮影、編集までをすべて中高生の手で行い、最終的に上映イベントを開催し、約150名の観客を動員した。

**成果指標**（対象にどのような効果があったか示す指標）

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報モニターの肯定的評価（広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値） | 80.8 | 78.7 | 90 | 90 | 90 | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | 87.4 | ― | ― | ― | % |

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | ― | ― | 81.0 | ― | ― | % |
| 目標達成率(実績/目標) | | ― | ― | ― | ― | % |

**事業費推移（円）**

| 年度 | | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 23,948,999 | 0 | 39,969,352 | 39,969,352 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 3,968,800 | 3,968,800 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 2,707,913 | 0 | 2,754,650 | 2,754,650 | 0 |
| | 一般財源 | 21,241,086 | 0 | 33,245,902 | 33,245,902 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| | | |
|---|---|---|
| 指標名 | 広報モニターの肯定的評価 | |
| 目標 | 90 | % |
| 実績 | 79 | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |
| 指標名 | 今後も鳴門市に住み続けたいと思う市民の割合 | |
| 目標 | ― | % |
| 実績 | ― | % |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

8割近くの肯定的評価をいただいており、目標は概ね達成とする。今後も既存の広報媒体の特性を最大限に活かした市政情報の発信を行うとともに、新たな情報発信手段の導入についても検討を進め、市民や広報モニターの評価を向上させるように努力する。

4年に一度実施する市民意識調査をもって成果指標の測定を行う方式を採用しているため、今年度における目標値及び実績値は「－」（該当なし）とする。ただし、事業内容①～⑤に掲げる施策を遂行し、引き続きプロモーション活動の推進に注力したことから、目標は概ね達成されたものと評価する。

計　総合評価：B:概ね目標を達成できた

◎今後の方向性(ACTION)

<table>
<tr><td rowspan="5">事業②</td><td>課題</td><td colspan="4">行政情報の発信において、専門的で難解な内容や堅苦しい印象を持たれることが課題となる。そのため、広報紙、テレビ広報、SNSなど、各広報媒体の特性を最大限に活用し、広報の目的とターゲットを明確化したうえで、効果的かつ分かりやすい情報発信が求められる。<br>また、市民が地域の魅力を再認識し、誇りを持てるようなインナープロモーションの取り組みを推進するとともに、市民の方に「まち」の魅力や「施策」の充実度を一層伝えるための情報発信やイメージ戦略が必要である。</td></tr>
<tr><td colspan="2">今後の方向性</td><td>☐ 1.廃止</td><td>☐ 2.要改善</td><td>☑ 3.現状維持</td><td>☐ 4.拡充</td></tr>
<tr><td colspan="5">↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">実施内容</td><td>令和8年度</td><td colspan="3">「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、広報紙やテレビ広報、SNS等、各種広報媒体の特性を最大限に活かした市政情報の発信を行い、効果的かつ分かりやすい情報発信に努める。<br>また、観光・教育・子育てなど鳴門の魅力をより多くの方々に届けるため、アウタープロモーションとインナープロモーションを両立する、鳴門市らしいシティプロモーションの在り方を検討し、「伝える力」の強化を図る。</td></tr>
<tr><td>令和9年度</td><td colspan="3">「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、広報紙やテレビ広報、SNS等、各種広報媒体の特性を最大限に活かした市政情報の発信を行い、効果的かつ分かりやすい情報発信に努める。<br>また、観光・教育・子育てなど鳴門の魅力をより多くの方々に届けるため、アウタープロモーションとインナープロモーションを両立する、鳴門市らしいシティプロモーションの在り方を検討し、「伝える力」の強化を図る。</td></tr>
</table>

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。<br>また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 人権啓発推進事業 | **担当部署** | 健康福祉部 人権推進課・人権福祉センター | | |
| **実施方針** | ①国の人権啓発活動地方委託金を活用した、人権セミナーをはじめとする各種人権啓発事業を実施し、人権意識の高揚や人権課題への理解促進を図る。<br>②鳴門市人権文化祭においては、あらゆる年代層に対し、さらなる人権意識の普及・高揚を図るとともに、特に若年層（学生等）の来館者数を確保し、様々な人権問題についての学習の場となるよう努める。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 2,430 | 2,430 | 2,430 |
| **事業内容（R7）** | ①第32回鳴門市人権セミナー（計2回）<br>②人権の花運動<br>③人権スポーツ事業<br>④人権フェスティバル<br>⑤第52回人権文化祭開催事業 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人権文化祭来場者数 | 2,811 | 2,736 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 2,430 | 0 | 2,430 |

◎実施結果(DO)

【実績ベース】

事業①

**事業実施内容(R7)**

①「インターネット上の部落差別」、「困難な問題を抱える女性への支援」をテーマとした人権セミナーを計2回実施した。
②人権の花運動は、市内小学校3校に人権擁護委員などが訪問、花苗や土、プランターを贈呈し、児童たちと苗植え作業を実施した。
③市内小学校の児童を対象に、総合型地域スポーツクラブと連携して人権スポーツ事業(車椅子バスケットボール等)を実施、スポーツを通じて障がい者のかたと触れ合うことで、幼少期からの人権意識の育成を行った。
④親しみやすく、楽しみながら参加できる人権啓発活動として人権フェスティバルを開催した。今回は、'25ヒューマンライツメッセージなると、鳴門市防災フェア2025との同時開催としたほか、ヒーローショーなどのステージイベント、マルシェやキッチンカーの出店など幅広い年代が立ち寄りやすい要素を取り入れ、多くのひとに人権感覚を養い、触れ合うきっかけとなるように環境を醸成した。
⑤人権文化祭においては、人権啓発取組パネルや作文・書道などの展示、中学生による人権劇や記念講演会の開催などを通して人権教育・啓発活動を行った。

**成果指標**(対象にどのような効果があったか示す指標)

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人権文化祭来場者数 | 2,736 | 2,634 | 3,000 | 3,000 | 3,100 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 87.8 | ー | ー | ー | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算(※令和5年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 1,662,021 | 0 | 1,587,597 | 1,587,597 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 546,000 | 0 | 489,000 | 489,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 1,116,021 | 0 | 1,098,597 | 1,098,597 | 0 |

◎評価(CHECK)

事業①

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | | | 成果指標に対する所見 |
|---|---|---|---|
| 指標名 | 人権文化祭来場者数 | | R7年度の開催時期は、鳴門市長および鳴門市議会選挙の選挙期間直前となってしまい、一般参加者の減少の要因となったと考えられる。<br>今年度は、引き続き一般および学校・行政への周知を図り、見学バスのさらなる活用など来場者数の増加につながる取組を推進する。 |
| 目標 | 3,000 | 人 | |
| 実績 | 2,634 | 人 | |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

**課題**

人権啓発活動事業委託金を活用した人権啓発活動は、他課や各種関係団体等とも連携しながら、幅広い年齢層の市民等が関心を持ちやすい内容を企画することで活動内容の充実を図っていく。また、人権セミナー等来場者が固定しないように、身近なテーマ設定や周知方法に、より効果的な工夫を検討する必要がある。
人権文化祭開催事業については今後も継続して実施し、より一層の人権意識の普及・高揚を図る。

| 今後の方向性 | ☐1.廃止 | ☐2.要改善 | ☑3.現状維持 | ☐4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 引き続き人権啓発活動事業委託金を活用し、現代の風潮やトレンドを盛り込むなど、「自分ごと」として捉えてもらえるような人権問題をテーマとした人権セミナーの開催や、人権フェスティバルにおいては、ステージイベントや飲食物の販売といった興味を惹くような催しを取り入れることで、新たな来場者やリピーターの確保につなげ、幅広い年齢層の市民等が楽しみながら人権感覚を養い、触れ合うきっかけの創出に努める。また人権文化祭開催事業についても、人権に対する気づきや理解の深化等となるよう継続して実施する。 |
| | 令和9年度 | 引き続き人権啓発に関する施策の推進に努める。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。<br>また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 人権教育推進事業 | **担当部署** | 教育委員会 社会教育人権室 | | |
| **実施方針** | ①市主催人権問題研修会等の実施<br>②人権教育推進協議会の活動支援<br>③その他、人権教育啓発活動の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 3,446 | 3,446 | 3,446 |
| **事業内容（R7）** | ①市主催人権問題研修会等の実施<br>・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催<br>・人権教育研究大会（大麻中学校区）の開催<br>②人権教育推進協議会の活動支援<br>・人権教育推進協議会との連携による啓発活動（研修会等）の実施<br>・活動、運営補助<br>③その他、人権教育啓発活動の実施<br>・「広報なると」を活用した人権啓発記事の掲載等<br>・街頭啓発活動の実施 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人権問題研修会等への参加者数 | 757 | 850 | 950 | 1,100 | 1,100 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 3,446 | 0 | 3,446 |

◎実施結果(DO)　　【実績ベース】

事業②

**事業実施内容(R7)**

○ 人権地域フォーラム(8/22)、ヒューマンライツメッセージなると(11/3)を開催した。
○ 人権教育推進協議会・同企業部会の活動を支援するとともに、両会の総会(5/27、6/3)で人権に関する記念講演を行い、人権啓発を協力して行なった。
○ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載を行った。
○ 研修会等に直接参加できない方のために、オンラインによる人権学習を行った。
○ 鳴門市人権教育研究大会(11/19)を開催し、人権教育推進のための公開授業・公開保育や研究討議を行った。
○ 企業部会では、人権フェスティバルに参加し、協力して啓発活動を行うなどで交流研修を行った。

**成果指標**(対象にどのような効果があったか示す指標)

| 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人権問題研修会等への参加者数 | 674 | 796 | 900 | 1,000 | 1,000 | 人 |
| 目標達成率(実績/目標) | | 83.8 | ― | ― | ― | % |

**事業費推移(円)**

| 年度 | | 令和6年度決算(※令和5年度からの繰越額を含む) | 令和7年度決算 前年度からの繰越決算額 | 令和7年度決算 当年度決算額 | 令和7年度決算 決算額計 | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | | 2,148,625 | 0 | 2,563,552 | 2,563,552 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 122,000 | 0 | 127,000 | 127,000 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 2,026,625 | 0 | 2,436,552 | 2,436,552 | 0 |

◎評価(CHECK)

事業②

| 今年度の進捗状況 | ほぼ計画どおり | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|

**成果指標に対する評価**

| 指標名 | 人権問題研修会等への参加者数 | |
|---|---|---|
| 目標 | 950 | 人 |
| 実績 | 796 | 人 |
| 評価 | B:概ね目標を達成できた | |

**成果指標に対する所見**

すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会等がその役割を果たせるよう引き続き取り組んでいるが、参加者の固定化が見られ、新たな参加者を生み出すよう周知・協力を依頼する必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

**課題**

インターネット上やSNSでの人権侵害など人権問題が複雑化・多様化している状況の中、市人権教育推進協議会と連携を強め、人権地域フォーラム、ヒューマンンライツメッセージなると、人権教育研究大会などの人権問題研修会の開催や、広報なるとへの人権啓発記事の掲載、人権フェスティバルとの協働等を実施し、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。
研修会等への参加者が固定化している課題があり、差別を許さない市民運動を広げていくためにも、身近でわかりやすく理解しやすい内容とする、産官学の業務研修等に組み込んでいくなど、啓発手法の工夫と改善に取り組む必要がある。

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □2.要改善 | ☑3.現状維持 | □4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

**実施内容**

| | |
|---|---|
| 令和8年度 | ・さまざまな差別事象の抑止に向け、人権啓発活動に引き続き取り組む。<br>・あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマやオンライン学習を含めた研修方法などの検討を行う。<br>・人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。<br>・より多くの市民の人権学習機会の創出のため、人権推進課における人権フェスティバルと協働する形式でヒューマンンライツメッセージなるとを開催する。 |
| 令和9年度 | 令和8年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 2 | お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。<br>また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業③**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 男女共同参画推進事業 | **担当部署** | 健康福祉部 人権推進課 | | |
| **実施方針** | ①第3次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策の着実な推進を図る。<br>②男女共同参画推進条例や男女行動計画についての周知啓発を行う。<br>③第4次鳴門市男女行動計画の策定を行う。 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 4,702 | 302 | 302 |
| **事業内容（R7）** | ①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策の着実な推進を図り、PDCAサイクルによる進捗状況管理を行う。<br>②男女共同参画推進条例や男女行動計画について、パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し周知啓発を行う。<br>③女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る<br>④第4次鳴門市男女行動計画の策定 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鳴門市女性人材バンクの登録者数 | 22 | 25 | 30 | 35 | 40 | 人 |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 4,702 | −47 | 4,655 |

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③

| 事業実施内容（R7） | |
|---|---|
| | ①第3次鳴門市男女行動計画で定めた数値目標、事業実施内容の達成状況の評価・検証を踏まえ、第4次鳴門市男女行動計画を策定した。<br>②男女共同参画推進条例や男女行動計画について、ウェブサイトへの掲載のほか、各種イベント等での配布を行い、市民等の意識づくりや知識の深化、行動変容など男女共同参画の推進を行った。<br>③鳴門市女性人材バンクについて、チラシの配布、市広報誌や庁内デジタルサイネージへの掲載等さまざまな広報媒体を活用して周知を行った。また、関係各課にあらためて本制度の目的等を共有するとともに、登録者数向上をめざして、候補者となり得る女性の推薦について協力を依頼した。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 鳴門市女性人材バンクの登録者数 | 22 | 28 | 30 | 32 | 34 | 人 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 93.3 | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | | 計 | 887,473 | 0 | 4,327,208 | 4,327,208 | 0 |
| | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 887,473 | 0 | 4,327,208 | 4,327,208 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業③

| 今年度の進捗状況 | | ほぼ計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | ほぼ計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 鳴門市女性人材バンクの登録者数 | | 成果指標に対する所見 | 鳴門市女性人材バンクの登録者数は目標には至らなかったが増加傾向にあり、引き続き新たな人材の育成・確保に繋がる取組を進める必要がある。また、登録者の活用は少数であり、審議会等への女性委員の登用率向上の観点からも、各関係課に積極的な活用を働きかける。 |
| | 目標 | 30 | 人 | | |
| | 実績 | 28 | 人 | | |
| | 評価 | B:概ね目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

事業③

| 課題 | |
|---|---|
| | 鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発や、鳴門市男女行動計画に基づく施策を推進する。また、固定的な性別役割分担意識が、若年層、特に若い女性の地方から都市部への人口流出を加速させる大きな要因となっていると言われており、この課題を解決するため、日常生活や職場において性差なく活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす。<br>また、第4次鳴門市男女行動計画に基づき実施する各種施策について、進捗管理を行いながら、確実な遂行を図る。 |

| 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 第4次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策を推進する。特に、令和8年度からの新規事業である「男性の育児休業取得支援事業」、「アンコンシャス・バイアス解消事業」の着実な実施を図るなど、男女共同参画社会の実現に繋げる。<br>鳴門市女性人材バンクへの登録や活用については、引き続き周知啓発を行いながら、有効な手法を検討する。 |
| | 令和9年度 | 第4次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策を推進する。<br>鳴門市女性人材バンクへの登録や活用については、引き続き周知啓発を行い、審議会等への女性委員の登用率向上を促進する。 |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 効率的・効果的な行財政運営の推進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。<br>また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業①**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業 | **担当部署** | 総務部　総務財政課・デジタル戦略課 | | |
| **実施方針** | ①シン・スーパー改革プランの着実な推進<br>②デジタル技術の活用や新庁舎建設を契機とする「市民サービス改革」の推進<br>③事務事業の抜本的な見直しとデジタル技術の活用による「行政改革」の推進 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | － | － | － |
| **事業内容（R7）** | ①財政健全化に向けて収支不足を補う具体的取組を推進<br>・シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し、取組効果額を確保。<br>②デジタル技術を活用した市民サービスの充実<br>・「書かない窓口」「行かない窓口」の積極的推進。<br>・「デジタルなんでも相談室」の継続開催。<br>③BPR（既存の組織構成から、業務内容や業務プロセスなどを抜本的に見直し、再構築を図る）の取組による業務改革の推進<br>・電子決裁システム等、各種業務のDX化検討。<br>・自治体情報システム標準準拠システム（ガバメントクラウド）へのスムーズな移行。 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | 指標名 | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 普通会計基金残高 | 10,443 | 9,424 | 9,383 | 8,606 | 7,784 | 百万円 |
| | 「デジタルなんでも相談室」開催回数 | 22 | 24 | 24 | 24 | 24 | 回 |

**◎事業費**

| 令和7年度 | 当初予算額 | 補正予算額・繰越額等 | 全体予算額 |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | － | － | － |

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

| | | |
|---|---|---|
| 事業① | 事業実施内容（R7） | ①シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目における取組効果額の令和6年度実績（令和7年度算出）は923百万円であり、目標額の396百万円を上回る結果となった。<br>②「書かない窓口」の導入により市民の利便性が向上するとともに、窓口業務のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進した。また、オンライン申請を利用した電子申請については、利用者、使用申請の種類ともに増加している。さらに、デジタルデバイド対策として令和5年度から開催している「デジタルなんでも相談室」では毎回好評を得ており、今後も引き続き、開催していく。<br>③業務の効率化を目的とした取り組みとして、閉鎖環境での利用が可能で情報漏洩のリスクが低い「LogoAI」を導入し、書類作成時間の削減に努めるなど業務改善を推進した。また、全庁的に押印の廃止を進める中で、従来の押印を伴う起案文書の回覧から電子決裁システムへの移行を図ることで、事務処理の流れの改善に取り組んだ。 |

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 普通会計基金残高 | 9,863 | 14,256 | 9,207 | ー | ー | 百万円 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 151.9 | ー | ー | ー | % |
| | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
| | 「デジタルなんでも相談室」開催回数 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 回 |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 100.0 | ー | ー | ー | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | － | － | － | － | － |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | － | － | － | － | － |
| | 県支出金 | － | － | － | － | － |
| | 地方債 | － | － | － | － | － |
| | その他 | － | － | － | － | － |
| | 一般財源 | － | － | － | － | － |

◎評価（CHECK）

| | 今年度の進捗状況 | | 計画どおり | | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 成果指標に対する評価 | 指標名 | 普通会計基金残高 | | 成果指標に対する所見 | 臨時的要因による基金残高の増加はあるものの、シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目の推進など、取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を達成することができた。 |
| | | 目標 | 9,383 | 百万円 | | |
| | | 実績 | 14,256 | 百万円 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| | | 指標名 | 「デジタルなんでも相談室」開催回数 | | | 参加者341名を対象に実施したアンケート調査の結果「また来たい」との好評をいただいた。このことを踏まえ、デジタル機器およびオンラインサービスの利用に不安を抱える市民の支援に取り組むことで、デジタルデバイド対策が進んでいる。 |
| | | 目標 | 24 | 回 | | |
| | | 実績 | 24 | 回 | | |
| | | 評価 | A:目標を達成できた | | | |
| 計 | 総合評価 | | A:目標を達成できた | | | |

◎今後の方向性(ACTION)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業① | 課題 | ①財政健全化に向け収支不足を補うため、シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を確保する必要がある。<br>②便利で心地よいスマートシティを目指すべく、DX化を推進し、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、生産性向上や経費節減等による歳出抑制につなげていく必要がある。 | | | | |
| | 今後の方向性 | □ 1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 | |
| | ↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。 | | | | | |
| | 実施内容 | 令和8年度 | ①目標値以上の普通会計基金残高達成に向け、引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行により、取組効果額の確保を図る。また、計画最終年度であるため、今後の財政需要等を的確に判断し、財政健全化の取り組みをより推進していくよう次期計画を策定する。<br>②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。<br>③令和8年度に予定されている県セキュリティクラウドの更改に伴う移行作業について、円滑に実施できるよう万全の準備を進める。また、デジタル技術の積極的な活用により、業務効率の改善と生産性向上に向けた取り組みを進める。 | | | |
| | | 令和9年度 | ①令和8年度中に策定する次期行財政改革計画に掲げる目標値以上の普通会計基金残高達成に向け、引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行により、取組効果額の確保を図る。<br>②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。<br>③デジタル技術の積極的な活用により、業務効率の改善と生産性向上に向けた取り組みを進める。 | | | |

*実施計画兼評価シート（令和7年度事業分）*

**【計画ベース】**

**◎基本情報**

| | | |
|---|---|---|
| **基本目標** | 6 | みんなで創る自立したまちづくり |
| **実施計画名** | 3 | 効率的・効果的な行財政運営の推進 |

| | |
|---|---|
| **めざす姿** | 予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。<br>また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。 |

**◎事業概要（PLAN）**

**事業②**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **事業名** | 人材育成推進事業 | **担当部署** | 未来戦略局 人事課 | | |
| **実施方針** | ①研修計画に基づく市主催及び県自治研修センター研修の実施<br>②研修計画に基づく派遣研修の実施 | **事業費推移（千円）** | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 |
| | | | 11,716 | 11,716 | 11,716 |
| **事業内容（R7）** | ①職員研修の実施<br>・各職階に応じて求められるスキルを養う階層別研修<br>・専門的知識を習得する職務別研修<br>・公務員として習得すべき課題別研修<br>・県自治研修センター主催研修の活用<br>②派遣研修の実施<br>・自治大学校や市町村アカデミー、国際文化アカデミー等への派遣 | | | | |

| **成果指標**<br>対象にどのような効果があったか示す指標 | **指標名** | 令和5年度実績 | 令和6年度実績見込 | 令和7年度目標 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合 | 93 | 93 | 95 | 95 | 95 | % |

**◎事業費**

| **令和7年度** | **当初予算額** | **補正予算額・繰越額等** | **全体予算額** |
|---|---|---|---|
| **事業費推移（千円）** | 11,716 | 0 | 11,716 |

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業②

| 事業実施内容（R7） | 第4次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、ハラスメント対策研修をはじめ、接遇研修や政策形成研修など、状況に応じた市独自の研修を実施した。あわせて、県自治研修センターが主催する研修の周知に努め、多くの職員が参加した。<br>また、市主催の研修については、集合型とオンラインの研修を併用することで、研修体制の効率化と効果の向上を図り、職場研修の充実にも努めた。さらに、市町村アカデミー及び自治大学校などの外部研修機関へ職員を派遣し、専門的な知識の習得と能力向上に取り組んだ。 |
|---|---|

| 成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標） | 指標名 | 令和6年度実績 | 令和7年度実績 | 令和8年度目標 | 令和9年度目標 | 令和10年度目標 | 単位 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合 | 94 | 97 | 95 | 95 | 95 | % |
| | 目標達成率(実績/目標) | | 102.1 | ― | ― | ― | % |

| 事業費推移（円） | 年度 | 令和6年度決算（※令和5年度からの繰越額を含む） | 令和7年度決算 | | | 令和8年度への繰越額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前年度からの繰越決算額 | 当年度決算額 | 決算額計 | |
| | 計 | 8,223,860 | 0 | 9,134,690 | 9,134,690 | 0 |
| 財源内訳 | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 292,407 | 0 | 432,296 | 432,296 | 0 |
| | 一般財源 | 7,931,453 | 0 | 8,702,394 | 8,702,394 | 0 |

◎評価（CHECK）

事業②

| 今年度の進捗状況 | 計画どおり | 事業全体の進捗状況 | 計画どおり |
|---|---|---|---|

| 成果指標に対する評価 | 指標名 | 受講者アンケートで研修内容が「役立つ」または「やや役立つ」と回答した割合 | |
|---|---|---|---|
| | 目標 | 95 | % |
| | 実績 | 97 | % |
| | 評価 | A:目標を達成できた | |

| 成果指標に対する所見 | 目標を達成することができているため、今後も引き続き職員の研修ニーズ把握に努め、必要と思われる研修を効果的かつ効率的に実施していく。 |
|---|---|

◎今後の方向性(ACTION)

事業②

| 課題 | 令和7年度に実施した研修内容についての職員満足度が高い結果であるため、今後も引き続き職員ニーズの把握に努め、職員のスキルアップにつながる効果的な研修実施に努める。<br>また、研修により職員が身につけた専門知識やスキルを職場で共有し、業務改善や市民サービスの向上へつなげることができるよう、より一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画し、実施していく必要がある。 |
|---|---|

| 今後の方向性 | □1.廃止 | □ 2.要改善 | ☑ 3.現状維持 | □ 4.拡充 |
|---|---|---|---|---|

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

| 実施内容 | | |
|---|---|---|
| | 令和8年度 | 第4次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣研修を行う。<br>また、研修内容の充実を図るとともに、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を行い、職員が研修で学んだことを業務に役立てることができるよう効果的かつ効率的な研修となるよう今後も検討していく。 |
| | 令和9年度 | 引き続き取り組みを継続する。 |